

「第4次狭山市総合計画後期基本計画」策定に向けた

狭山市民意識調査

報告書

令和2年3月

狭山市

目 次

1. 市民意識調査の実施内容.....	1
(1) 調査の目的.....	3
(2) 調査の概要.....	3
(3) 調査結果の留意点.....	4
(4) 標本誤差について.....	4
(5) 属性別クロス集計について.....	5
2. 市民意識調査結果の要旨.....	7
3. 市民意識調査結果.....	25
I 回答者属性について.....	27
II 居住意向について.....	33
III 市の取組に対する評価と今後への期待について.....	43
IV 協働によるまちづくりについて.....	61
V 子育て支援について.....	73
VI 老後の生活について.....	79
VII 安全・安心なまちづくりについて.....	83
VIII 行財政改革について.....	87
IX 市政の方向性について.....	93
X 狭山市のまちづくりに関するご意見について.....	97
4. 調 査 票.....	111

1. 市民意識調査の実施内容

(1) 調査の目的

狭山市のまちづくりを進めていく上での市民の意識を把握し、「第4次狭山市総合計画後期基本計画」の策定に向けた検討を行う際の基礎資料として活用することを目的とする。

(2) 調査の概要

調査の概要は以下のとおりである。

調査地域	狭山市全域
調査対象	満18歳以上の狭山市民 (令和元年9月1日現在)
調査方法	郵送配布、郵送回収。WEBによる回答も可※とした。
対象者数(配布数)	3,000人
抽出方法	住民基本台帳に基づく無作為抽出 (性別、地区、年代で区分し、人口割合及び5年前に実施した調査の回答率により按分して抽出)
総回答数	1,364件(不正回答は除く。うち4件は自由意見のみ反映)
有効回答数	1,360件(うちWEB回答208件)
有効回答率	45.3%(うちWEB回答15.3%)
実施期間	令和元年9月24日(火)～10月8日(火)

※回答票(紙)に固有コードを印字し、インターネットでの回答時に入力を求めることで、不正回答を除外した。(パソコンのみならず、スマートフォンやタブレットによる入力も可能とした。)

なお、不正回答の内訳は次のとおりである。

- ①回答票(紙)との重複(4件):二重回答となるため、web回答を削除。
- ②同一コードによる複数web回答(19件):二重回答となるため、任意の1件のみ集計。
- ③発行したコード外によるweb回答(3件):不正な回答であるため削除。

また、調査票における「地区」については、次のとおり分類している。

地区	各地区に包含する丁字
入間川地区	沢、狭山、入間川、入間川1～4丁目、鶯ノ木、稻荷山1・2丁目、祇園、中央1～4丁目、富士見1・2丁目
入曽地区	北入曽、南入曽、水野
堀兼地区	堀兼、上赤坂、中新田、青柳、加佐志、東三ツ木
奥富地区	上奥富、下奥富、柏原新田
柏原地区	柏原
水富地区	上広瀬、広瀬台1～3丁目、下広瀬、広瀬1～3丁目、広瀬東1～4丁目、つつじ野、根岸、根岸1・2丁目、笹井、笹井1～3丁目
新狭山地区	新狭山1～3丁目
狭山台地区	狭山台1～4丁目

(3) 調査結果の留意点

回答の割合は、選択肢ごとに小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合がある。複数回答可の設問の場合、すべての回答割合を合計すると100%を超える場合がある。

また、特に断りがない場合、各回答・属性において最も回答の割合が高い項目を黒色で着色している。

(4) 標本誤差について

この調査の標本誤差は次の式によって得られる。(ただし、信頼度を95%とする。)

$$\pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N:母集団の大きさ (128,998 人 (選挙人名簿定時登録者数 (令和元年10月9日現在))

n:調査対象数 (基数、サンプル数)

p:回答比率

これによると、本調査の標本誤差の早見表は次のとおりとなる。

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,360	±1.62%	±2.16%	±2.47%	±2.64%	±2.7%
1,300	±1.66%	±2.21%	±2.53%	±2.7%	±2.76%
1,200	±1.72%	±2.3%	±2.63%	±2.82%	±2.87%
1,000	±1.89%	±2.52%	±2.89%	±3.09%	±3.15%
800	±2.11%	±2.82%	±3.23%	±3.45%	±3.52%
600	±2.44%	±3.26%	±3.73%	±3.99%	±4.07%
400	±3%	±3.99%	±4.58%	±4.89%	±4.99%
300	±3.46%	±4.61%	±5.29%	±5.65%	±5.77%
200	±4.24%	±5.65%	±6.48%	±6.92%	±7.07%
100	±6%	±8%	±9.16%	±9.79%	±10%

* この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数が1,360人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最大(信頼度は95%以上)でも±2.64%以内(57.36%～62.64%)である」とみることができる。

(5) 属性別クロス集計について

各設問については、単純集計とともに、下記の考え方の下で有意義な分析が期待される属性についてクロス集計を行う。

■属性別クロス集計の考え方

集計項目		クロス集計の考え方
II	居住意向	・個人属性としての「性別」、「年齢」、「世帯構成」、「職業」、居住環境としての「居住地区」や「居住形態」に左右されると考えられ、属性ごとに検討した対策の実施にあたっての優先順位や効果等を検討する上で役立つ。
III	満足度・充実希望度	
IV	協働によるまちづくり	・個人属性の他、通勤時間や地域とのつながりの程度によって左右されると考えられることから、「勤務先・通学先」についても分析する。
V	子育て支援	・個人属性の他、「居住地区」における子育て支援施設や学校等の公共施設の立地状況をあわせて分析する。
VI	老後の生活	・個人の考え方を聞くものであり、個人属性との関係性をみる。
VII	安全・安心なまちづくり	・居住環境とともに、普段生活する場所や移動のしやすさによって左右されると考えられることから、「居住地区」と「年齢」について関係性をみる。
VIII	行財政改革について	・特に属性を考慮する必要はないと考えられる。
IX	市政の方向性について	・財政に関しては、扶助費の方向性や債務の蓄積など、特に世代間の負担に関する意識の差を把握することが必要と考えられることから、「年齢」との関係性をみる。

■実施する属性別クロス集計

クロス集計項目	個人属性				問5 勤務先・ 通学先	居住環境	
	問1	問2	問3	問4		問6	問7
	性別	年齢	世帯 構成	職業		居住 地区	住居 形態
II 居住意向	○	○	×	×	◎	◎	○
III 満足度・充実希望度	○	○	○	×	×	×	×
IV 協働によるまちづくり	○	○	○	○	○	×	×
V 子育て支援	◎	○	◎	×	◎	○	×
VI 老後の生活	○	◎	×	×	×	×	×
VII 安全・安心なまちづくり	○	○	×	×	×	◎	×
VIII 行財政改革について	○	○	×	×	×	×	×
IX 市政の方向性について	○	○	×	×	×	×	×

◎：属性と回答に密接な関係性が想定され、当該設問を深く分析するためにクロス集計が必要と考えられる。

○：属性と回答に関係性が想定され、当該設問を深く分析するためにクロス集計が必要と考えられる。

2. 市民意識調査結果の要旨

狭山市民意識調査

－ 抜粋 －

(令和元年9月～10月実施)

緑と健康で豊かな文化都市

令和2年2月

狭山市 総合政策部 政策企画課

※ 本資料は、狭山市民意識調査の一部を抜粋したものである。

I. 調査の概要

(1) 目的

第4次狭山市総合計画後期基本計画の策定に当たり、市政に関する市民の意向等を把握し、計画づくりに反映させる。

(2) 対象者と実施方法

- ・ 令和元年9月1日現在の満18歳以上の市民3,000人
(性別・地区・年代で区分し、人口割合及び5年前に実施した調査の回答率により按分して抽出)
- ・ 郵送配布、郵送回収 (WEBによる回答も可とした)
- ・ 令和元年9月24日発送、10月8日締切 (消印有効)

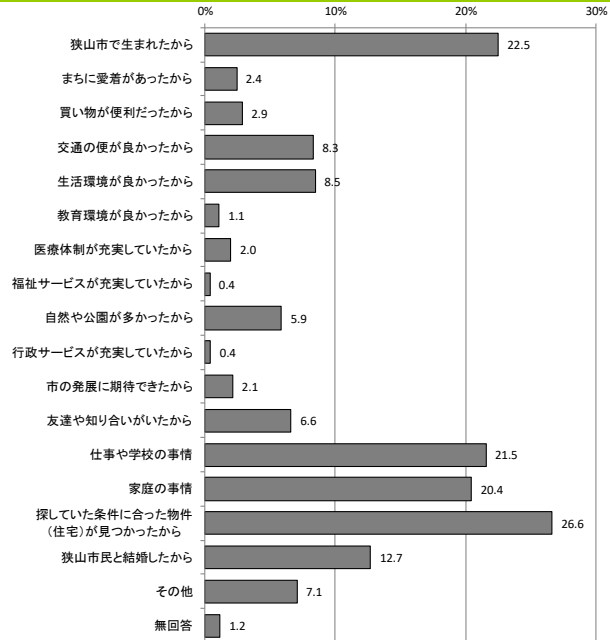
(3) 実施結果

有効回答数 : 1,360件 (有効回答率 : 45.3%)

II. 調査の結果

(1) 狭山市に住み始めた理由(問9)

- 「探していた条件にあった物件(住宅)が見つかった」をあげる人が最も多く(26.6%)、ついで「狭山市で生まれたから」(22.5%)や「仕事や学校の事情」(21.5%)が多い。

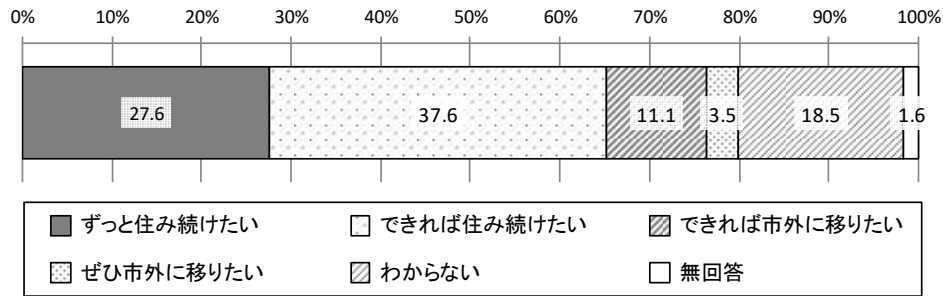


- 住居形態別にみると、持家(一戸建て、分譲マンション)に住む人は、「探していた条件にあった物件(住宅)が見つかった」が最も多い。(持家一戸建て28.0%、持家分譲マンション34.2%)

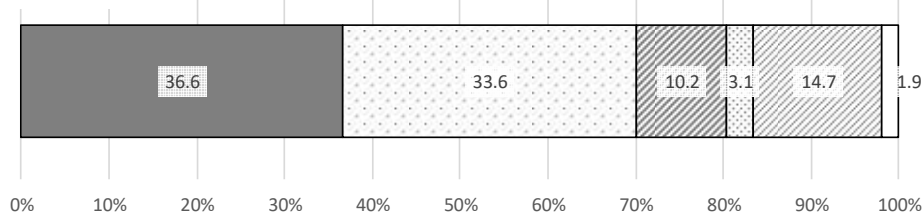
	総数	持家一戸建て	賃貸一戸建て	持家分譲マンション	民間賃貸マンション・アパート	公団(U R)賃貸住宅	県営住宅・市営住宅	社宅・公務員宿舎	同居・間借り・住み込み	その他	無回答
狭山市で生まれたから	22.5	25.9	20.7	10.7	9.6	15.4	28.6	12.9	38.8	0.0	6.7
まさに愛着があったから	2.4	2.8	0.0	2.0	1.6	7.7	0.0	3.2	1.5	0.0	0.0
買い物が便利だったから	2.9	2.6	6.9	5.4	2.4	0.0	7.1	0.0	1.5	0.0	0.0
交通の便が良かったから	8.3	7.2	10.3	10.7	13.6	7.7	14.3	0.0	7.5	18.2	13.3
生活環境が良かったから	8.5	7.4	13.8	13.4	10.4	15.4	14.3	0.0	7.5	18.2	0.0
教育環境が良かったから	1.1	1.4	0.0	0.7	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医療体制が充実していたから	2.0	1.9	3.4	2.7	0.8	7.7	14.3	0.0	0.0	0.0	6.7
福祉サービスが充実していたから	0.4	0.1	0.0	0.7	0.8	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
自然や公園が多かったから	5.9	6.2	6.9	10.1	2.4	7.7	7.1	0.0	3.0	0.0	0.0
行政サービスが充実していたから	0.4	0.2	0.0	1.3	0.8	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0
市の発展に期待できたから	2.1	2.5	0.0	2.0	1.6	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0
友達や知り合いがいたから	6.6	6.8	3.4	6.0	8.0	23.1	7.1	0.0	4.5	0.0	6.7
仕事や学校の事情	21.5	19.5	27.6	16.1	37.6	15.4	21.4	67.7	10.4	9.1	20.0
家庭の事情	20.4	19.0	13.8	20.1	24.0	46.2	28.6	9.7	35.8	9.1	26.7
探していた条件にあった物件(住宅)が見つかったから	26.6	28.0	20.7	34.2	28.0	23.1	0.0	6.5	9.0	27.3	13.3
狭山市民と結婚したから	12.7	13.6	20.7	11.4	13.6	0.0	14.3	0.0	9.0	9.1	6.7
その他	7.1	7.1	3.4	8.1	4.8	0.0	7.1	9.7	6.0	45.5	0.0
無回答	1.2	0.8	0.0	1.3	0.0	0.0	7.1	3.2	0.0	9.1	26.7

(2) 継続居住希望(問10)

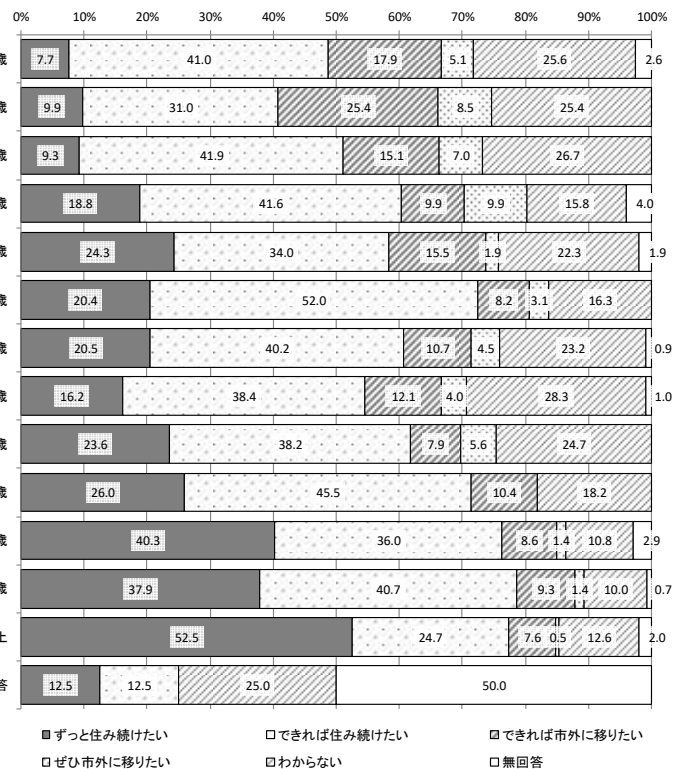
- 「ずっと住み続けたい」あるいは「できれば住み続けたい」をあげると合わせて65.2%であり、前回の70.2%と比べて減っている。一方、「ぜひ市外に移りたい」は3.5%にとどまる。



《前回》

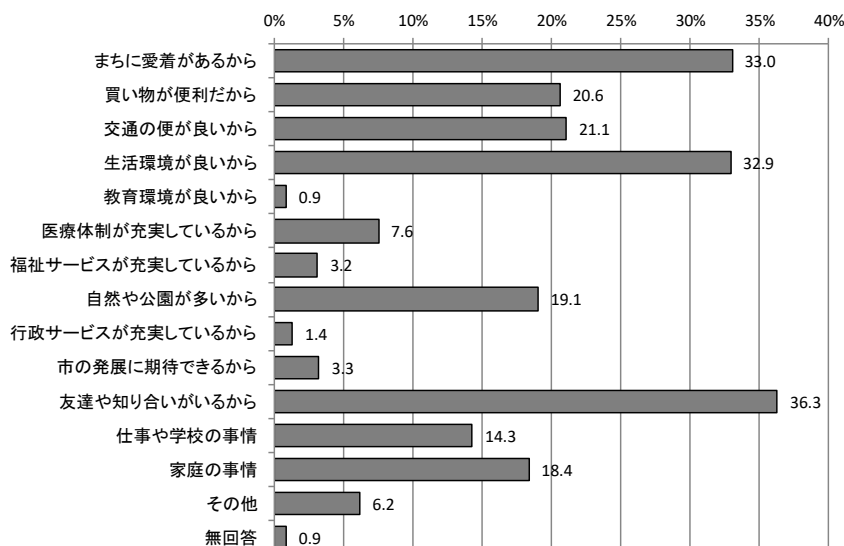


- 年齢別にみると、「ずっと住み続けたい」とする回答の割合は年齢階級に比例して高くなる傾向が見られる。しかし、40歳～59歳の各階級ではやや低い。一方、「ぜひ市外に移りたい」とする回答の割合は、30歳～34歳が最も高く(9.9%)、「できれば市外に移りたい」とする回答と合わせて、市外転出を望む回答の割合は、若い年齢層で他よりもやや高い。



① 住み続けたい理由(問10-1)

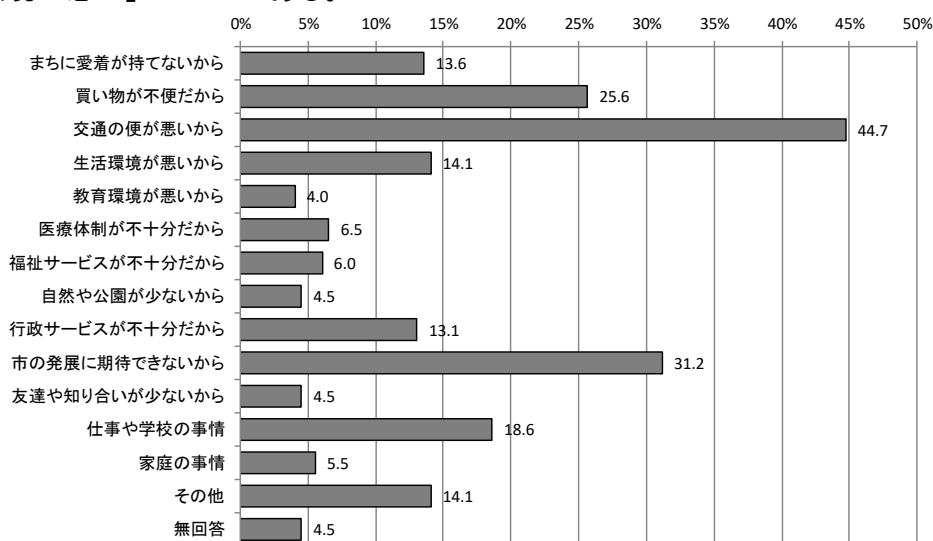
- 「友達や知り合いがいる」をあげる人が36.3%と最も多く、ついで「まちに愛着がある」が33.0%、「生活環境が良い」が32.9%、と続く。最も回答が少ないのは「教育環境が良い」の0.9%である。



(「ずっと住み続けたい」または「できれば住み続けたい」を選択した887人の回答)

② 転出したい理由(問10-2)

- 「交通の便が悪い」をあげる人が44.7%を占めており、ついで「市の発展に期待できない」が31.2%、「買い物が不便だ」が25.6%と多い。最も回答が少ないのは「教育環境が悪い」の4.0%である。



(「できれば市外へ移りたい」または「ぜひ市外に移りたい」を選択した199人の回答)

(3) 施策の満足度・充実希望度(問11~13)

①満足度

- 上位には「水道の整備」や「公共下水道の整備」、「ごみの減量化とリサイクルの推進」があがっている。分野別にみると、環境共生や都市基盤に関する施策は比較的高い。

満足度
上位10施策

番号	項目	満足度	充実希望度
-	全施策平均	2.161	3.858
31	水道の整備	2.984	3.611
32	公共下水道の整備	2.903	3.677
7	ごみの減量化とリサイクルの推進	2.879	3.977
8	廃棄物の適正な処理	2.815	3.956
56	消防・救急体制の充実	2.811	4.042
12	地域医療体制の充実	2.758	4.078
11	保健予防の充実	2.749	3.923
10	健康づくりの推進	2.675	3.841
26	良好で安全な住環境の整備	2.667	3.973
29	公園整備・都市緑化の推進	2.655	3.772

- ・満足度は、「満足:5点、やや満足:4点、どちらともいえない:3点、やや不満:2点、不満:1点、わからない:0点」として計算し、合計点を(回答者数-無回答)で割って求めた。
- ・全項目平均値を上回る数値について、黒地白抜きで表している。

②充実希望度

- 上位には「児童虐待防止対策の充実」や「安全で快適な道路環境の整備」、「公共交通の充実」があがっている。分野別にみると、健康福祉や都市基盤に関する施策は比較的高い。

充実希望度
上位10施策

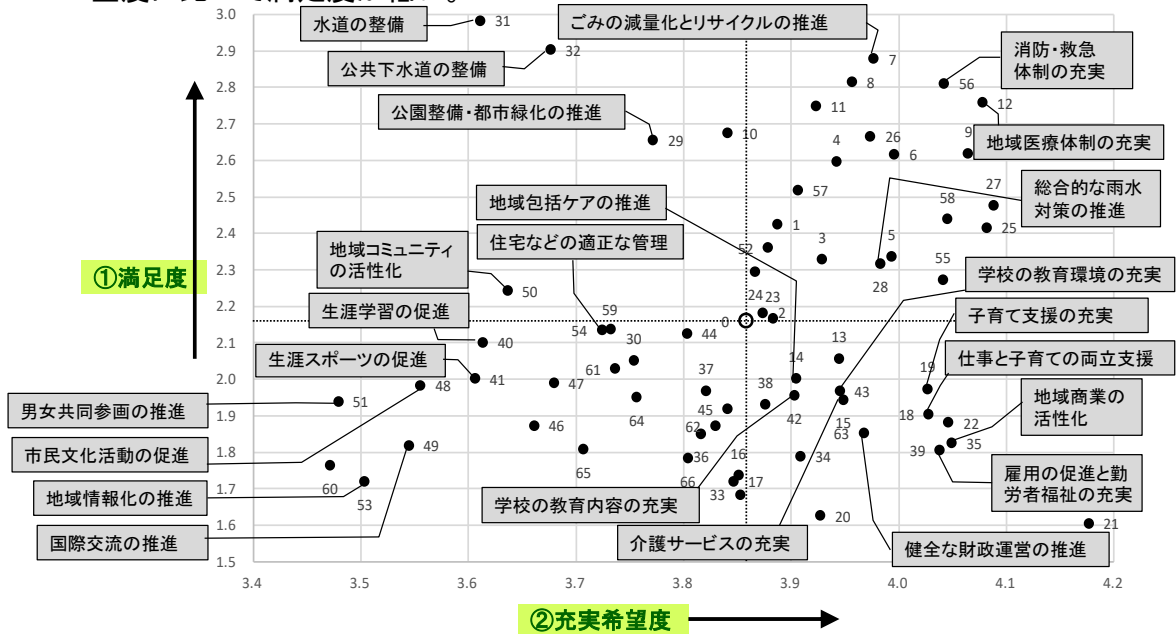
番号	項目	充実希望度	満足度
-	全施策平均	3.858	2.161
21	児童虐待防止対策の充実	4.176	1.606
27	安全で快適な道路環境の整備	4.088	2.477
25	公共交通の充実	4.082	2.416
12	地域医療体制の充実	4.078	2.758
9	地域で安心して暮らせる地域福祉の推進	4.064	2.620
35	地域商業の活性化	4.049	1.825
22	社会保障制度の円滑な運用	4.046	1.881
58	地域との連携による防犯対策	4.045	2.439
56	消防・救急体制の充実	4.042	2.811
55	総合的な危機管理防災体制の充実	4.041	2.273

- ・充実希望度は「力を入れるべき:5点、やや力を入れるべき:4点、どちらともいえない:3点、それほど力を入れなくてもよい:2点、力を入れなくてもよい:1点」として計算し、合計点を(回答者数-無回答)で割って求めた。
- ・全項目平均値を上回る数値について、黒地白抜きで表している。

①満足度

②充実希望度

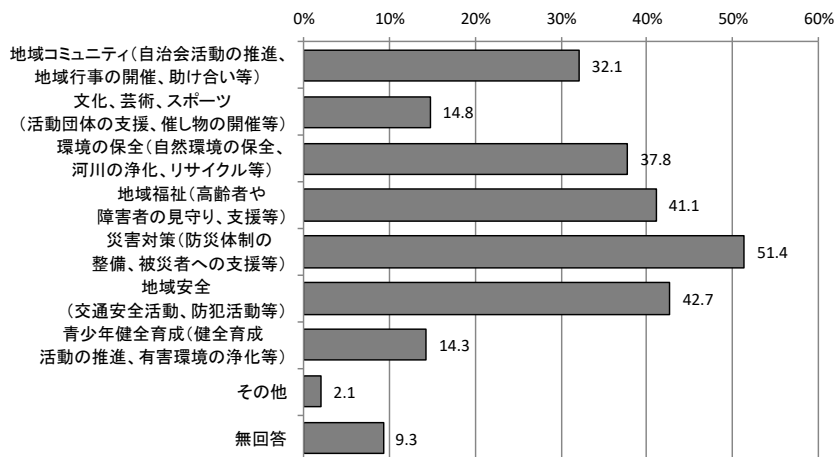
- 66の施策について個別に見ると、公園、上下水道等については重要度に比べて満足度が高く、逆に、学校教育や財政運営、子育てや介護等については充実希望度に比べて満足度が低い。



(4) 協働によるまちづくり(問16~19)

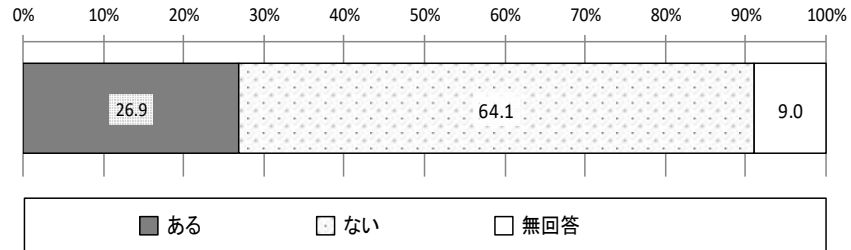
① 協働が重要な取組

- 重要な取組としてあげる人が多いのは、「災害対策」や「地域安全」、「地域福祉」、「環境の保全」である。

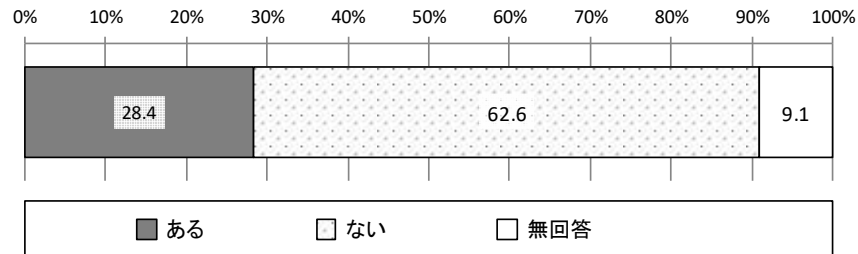


② 市民活動・地域活動への参加経験

- 「市民活動等に参加した(参加している)ことがある人は26.9%であり、前回調査よりも1.5ポイント減少している。

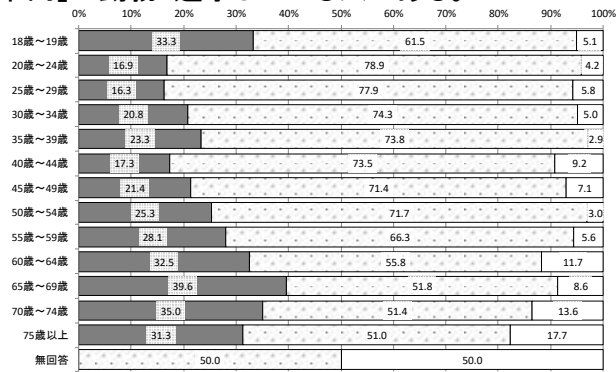


《前回》

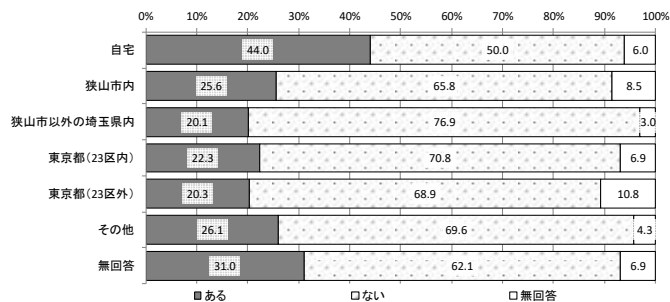


- 年齢別にみると、70歳～74歳で参加経験者の割合が最も高く、若くなるほど低くなる。
- 勤務先・通学先別にみると、参加経験割合が最も高いのは「自宅」で勤務・通学をしている人で、次に「狭山市内」で勤務・通学している人である。

年齢別

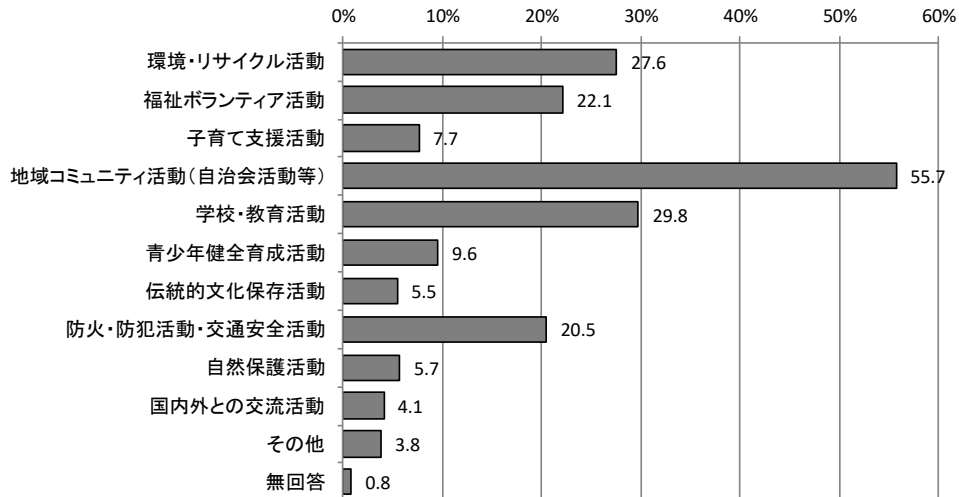


勤務先・通学先別



③ 参加経験のある市民活動・地域活動

- 具体活動としては、「地域コミュニティ活動」をあげる人が過半を占め、「学校・教育活動」や「環境・リサイクル活動」、「防火・防犯活動・交通安全活動」、「福祉ボランティア活動」に取り組む人も多い。（「参加した(参加している)」と答えた366人の回答）

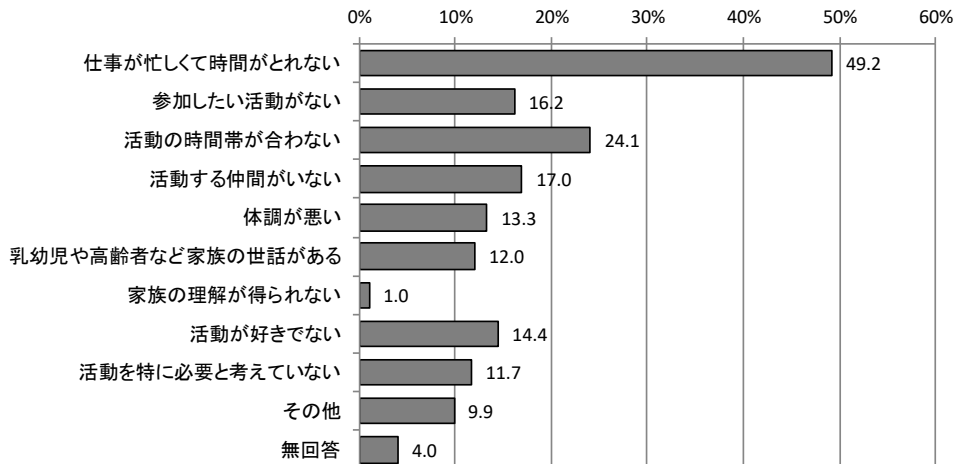


- 性別にみると、男性よりも女性の方が参加する人が多い活動分野は「学校・教育活動」や「子育て支援活動」であり、男性の方が参加する活動分野は「防火・防犯活動・交通安全活動」や「環境・リサイクル活動」である。
- 年齢別にみると、ほとんどの年齢階級で「地域コミュニティ活動」の割合が最も高くなっているが、44歳以下の各階級では「環境・リサイクル活動」や「学校・教育活動」の割合も高くなっている。

	総数	性別		年齢階級																																								
		男性	女性	18歳以下	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳	38歳	39歳	40歳	41歳	42歳	43歳	44歳	45歳	46歳	47歳	48歳	49歳	50歳	51歳	52歳	53歳	54歳	55歳	56歳	57歳	58歳
環境・リサイクル活動	27.6	32.0	23.2	46.2	33.3	50.0	38.1	50.0	17.6	33.3	32.0	12.0	16.0	12.7	28.6	27.4																												
福祉ボランティア活動	22.1	16.0	26.8	30.8	16.7	57.1	19.0	16.7	23.5	8.3	12.0	24.0	20.4	20.4	29.0																													
子育て支援活動	7.7	6.0	9.8	0.0	0.0	14.3	14.3	12.5	17.6	0.0	8.0	12.0	4.0	5.5	6.1	8.1																												
地域コミュニティ活動(自治会活動等)	55.7	50.7	58.8	15.4	66.7	28.6	47.6	50.0	47.1	62.5	80.0	56.0	56.0	63.6	57.1	54.8																												
学校・教育活動	29.8	21.3	37.6	0.0	33.3	21.4	14.3	45.8	47.1	41.7	64.0	48.0	32.0	18.2	22.4	21.0																												
青少年健全育成活動	9.6	8.7	10.3	0.0	0.0	14.3	9.5	0.0	23.5	4.2	16.0	16.0	12.0	7.3	14.3	6.5																												
伝統的文化保存活動	5.5	4.7	5.7	15.4	0.0	7.1	9.5	0.0	0.0	8.3	0.0	8.0	8.0	1.8	6.1	8.1																												
防火・防犯活動・交通安全活動	20.5	26.7	15.5	0.0	16.7	28.6	38.1	25.0	23.5	20.8	16.0	20.0	12.0	12.7	26.5	22.6																												
自然保護活動	5.7	6.7	4.1	15.4	0.0	0.0	9.5	4.2	0.0	8.3	4.0	4.0	4.0	7.3	8.2	4.8																												
国内外との交流活動	4.1	2.0	4.1	7.7	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	16.7	4.0	8.0	8.0	1.8	2.0	3.2																												
その他	3.8	5.3	3.1	7.7	8.3	7.1	0.0	0.0	5.9	0.0	4.0	8.0	8.0	1.8	4.1	3.2																												
無回答	0.8	0.7	0.5	0.0	8.3	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6																													

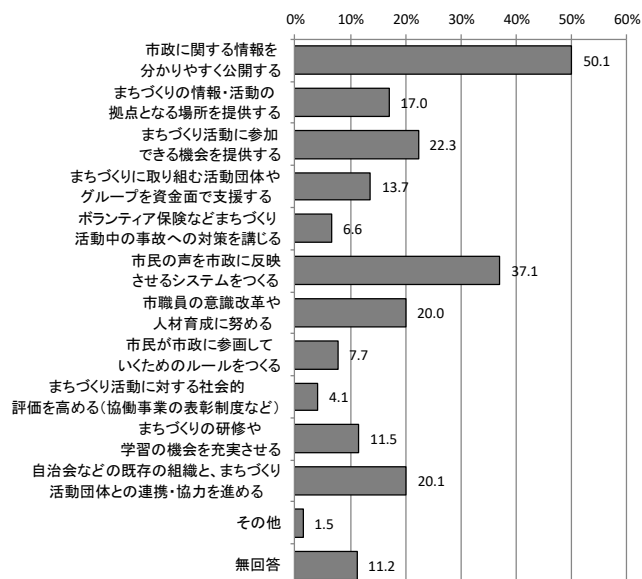
④ 市民活動・地域活動に参加しない理由

- 参加しなかった(参加しない)理由としては、「仕事が忙しくて時間がとれない」とする人が約半数を占め、ついで「活動の時間帯が合わない」や「活動する仲間がいない」、「参加したい活動がない」をあげる人が多い。(「参加しなかった(参加しない)」と答えた872人の回答)



⑤ 協働してまちづくりを進めるために市に必要な取組

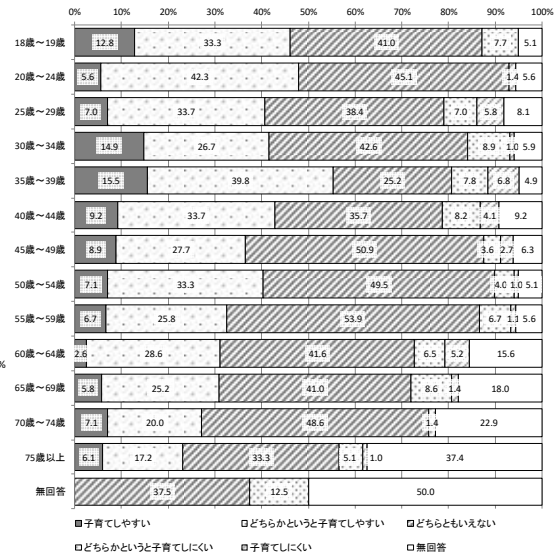
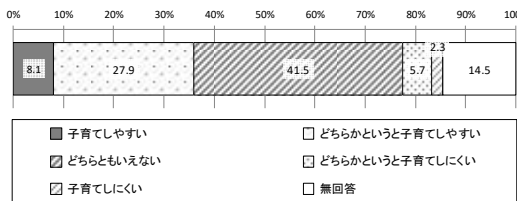
- 「市政に関する情報を分かりやすく公開する」をあげる人が最も多く、ついで「市民の声を市政に反映させるシステムをつくる」や「まちづくり活動に参加できる機会を提供する」をあげる人が多い。



(5) 子育て支援(問20~21)

① 子育てのしやすさ

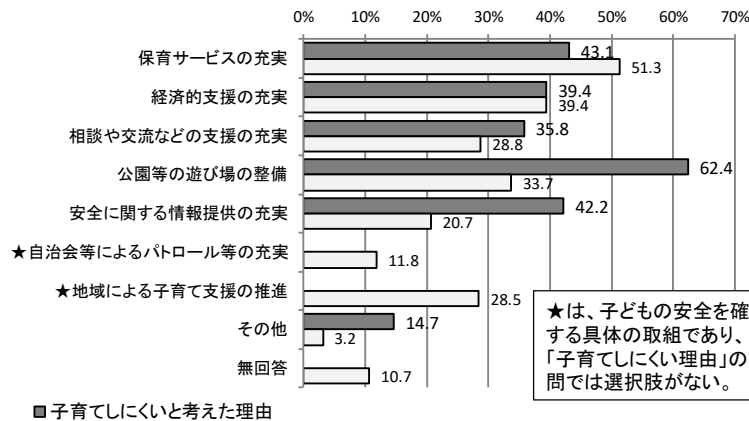
- 子育てのしやすさについては「どちらともいえない」をあげる人が41.5%と最も多く、ついで「どちらかという子育てしやすい」をあげる人が27.9%と多い。「子育てしやすい」は8.1%にとどまる。
- 年齢別にみると、年配になるほど無回答が多くなるが、30歳～39歳の各階級でも「子育てしやすい」とする回答は約15%にとどまる。



② 子育てしにくい理由

③ 子育てしやすいと感じるために必要な取組

- 子育てしにくい理由に、「子どもが遊ぶことができる場や機会が不十分」や「保育サービスが不十分」をあげる人が多い。(「子育てしにくい」または「どちらかという子育てしにくい」と答えた109人の回答)
- 子育てしやすいと感じるために必要な取組としては、「保育サービスの充実」、「経済的支援の充実」や「公園等の遊び場の整備」をあげる人が多い。



□ 今後、市民の多くが子育てしやすいと感じるために、どのような取組が必要だと思いますか。

★は、子どもの安全を確保する具体的取組であり、「子育てしにくい理由」の設定では選択肢がない。

② 子育てしにくい理由

- 子育てしにくい理由としては、性別にみると、男性よりも女性の方が「子育て中の親に対する相談や交流などの支援が不十分」、「子どもが遊ぶことができる場や機会が不十分」などをあげる人の割合が高い。
- 年齢別にみると、全体的に「子どもが遊ぶことができる場や機会が不十分」をあげる人の割合が高い中、29歳以下では「経済的支援が不十分」や「子育て中の親に対する相談や交流などの支援が不十分」などをあげる割合も高い。

	総数	男性	女性	18歳以下	20歳以下	25歳以下	30歳以下	35歳以下	40歳以下	45歳以下	50歳以下	55歳以下	60歳以下	65歳以下	70歳以下	75歳以上
保育サービスが不十分	43.1%	48.6%	41.4%	66.7%	0.0%	54.5%	50.0%	60.0%	66.7%	14.3%	40.0%	28.6%	33.3%	28.6%	50.0%	25.0%
子育てに対する経済的支援(保育料等の軽減や医療費助成など)が不十分	39.4%	32.4%	41.4%	33.3%	100.0%	45.5%	50.0%	46.7%	50.0%	57.1%	40.0%	28.6%	11.1%	35.7%	0.0%	25.0%
子育て中の親に対する相談や交流などの支援が不十分	35.8%	27.0%	41.4%	100.0%	100.0%	54.5%	30.0%	20.0%	41.7%	57.1%	40.0%	28.6%	22.2%	14.3%	0.0%	50.0%
子どもが遊ぶことができる場や機会が不十分	62.4%	56.8%	69.0%	100.0%	0.0%	45.5%	50.0%	73.3%	75.0%	71.4%	60.0%	42.9%	55.6%	71.4%	0.0%	66.7%
子どもの安全を確保する取組みが不十分	42.2%	35.1%	44.8%	0.0%	0.0%	36.4%	60.0%	46.7%	50.0%	42.9%	60.0%	0.0%	44.4%	28.6%	50.0%	66.7%
その他	14.7%	16.2%	13.8%	0.0%	0.0%	27.3%	20.0%	6.7%	8.3%	28.6%	0.0%	42.9%	22.2%	7.1%	50.0%	0.0%

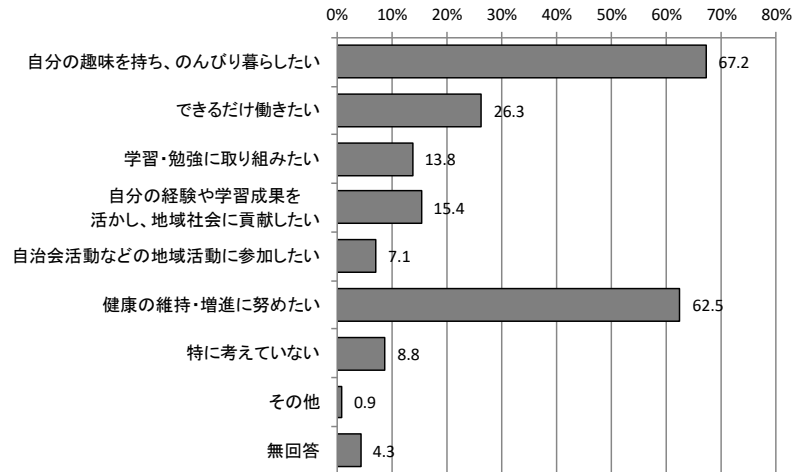
③ 子育てしやすいと感じるために必要な取組

- 子育てしやすいと感じるために必要な取組について、性別にみると、女性よりも男性の方が「経済的支援の充実」、「公園等の遊び場の整備」などをあげる人の割合が高い。
- 年齢階級別にみると、20歳～24歳は「経済的支援の充実」を最も多くあげている。

	総数	男性	女性	18歳以下	20歳以下	25歳以下	30歳以下	35歳以下	40歳以下	45歳以下	50歳以下	55歳以下	60歳以下	65歳以下	70歳以下	75歳以上
保育サービスの充実	51.3%	50.8%	51.4%	56.4%	54.9%	64.0%	60.4%	60.2%	59.2%	46.4%	46.5%	46.1%	53.2%	44.6%	45.0%	47.0%
経済的支援の充実	39.4%	40.7%	39.2%	46.2%	56.3%	57.0%	56.4%	47.6%	44.9%	34.8%	37.4%	34.8%	37.7%	27.3%	27.1%	32.3%
相談や交流などの支援の充実	28.8%	24.3%	32.9%	28.2%	23.9%	25.6%	23.8%	23.3%	30.6%	34.8%	27.3%	31.5%	28.6%	31.7%	32.1%	29.3%
公園等の遊び場の整備	33.7%	34.7%	32.8%	38.5%	31.0%	33.7%	38.6%	41.7%	41.8%	35.7%	28.3%	32.6%	33.8%	35.3%	30.0%	26.8%
安全に関する情報提供の充実	20.7%	18.5%	22.6%	20.5%	15.5%	17.4%	18.8%	13.6%	24.5%	31.3%	19.2%	28.1%	23.4%	19.4%	22.9%	16.7%
自治会等によるパトロール等の充実	11.8%	12.3%	12.2%	20.5%	19.7%	7.0%	9.9%	12.6%	9.2%	17.0%	11.1%	11.2%	15.6%	6.5%	9.3%	13.6%
地域による子育て支援の推進	28.5%	32.0%	26.1%	28.2%	23.9%	23.3%	25.7%	28.2%	24.5%	18.8%	30.3%	33.7%	33.8%	35.3%	33.6%	28.3%
その他	3.2%	3.2%	3.2%	2.6%	4.2%	0.0%	4.0%	6.8%	4.1%	6.3%	4.0%	2.2%	2.6%	2.2%	1.4%	1.5%
無回答	10.7%	9.7%	10.2%	5.1%	7.0%	9.3%	8.9%	3.9%	4.1%	5.4%	7.1%	9.0%	7.8%	11.5%	15.0%	22.7%

(6) 老後の生活(問22~23)

- 老後の過ごし方として「自分の趣味を持ち、のんびり暮らしたい」や「健康の維持・増進に努めたい」をあげる人は過半を占めている。
- 一方、「自分の経験や学習成果を活かし、地域社会に貢献したい」や「自治会活動などの地域活動に参加したい」をあげる人は7%~15%程度にとどまる。



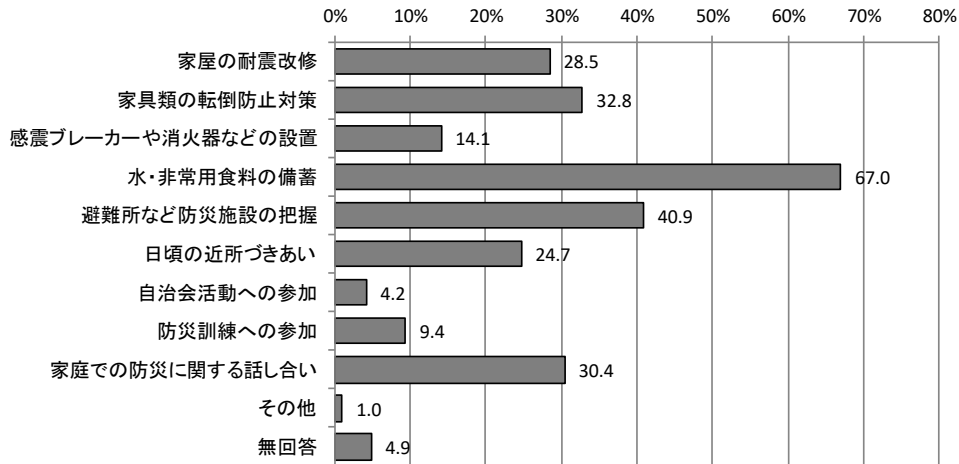
- 年齢別にみると、54歳以下の各階級では「自分の趣味を持ち、のんびり暮らしたい」を、55歳以降の各階級では「健康の維持・増進に努めたい」をあげる人がそれぞれ最も多い。

	総数	18歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳	75歳以上	
自分の趣味を持ち、のんびり暮らしたい	67.2%	69.2%	74.6%	75.6%	74.3%	68.9%	80.6%	70.5%	65.7%	64.0%	63.6%	63.3%	61.4%	59.1%
できるだけ働きたい	26.3%	28.2%	19.7%	19.8%	21.8%	29.1%	27.6%	35.7%	40.4%	42.7%	31.2%	28.1%	20.0%	13.6%
学習・勉強に取り組みたい	13.8%	10.3%	12.7%	12.8%	10.9%	7.8%	13.3%	15.2%	14.1%	15.7%	14.3%	19.4%	15.7%	13.1%
自分の経験や学習成果を活かし、地域社会に貢献したい	15.4%	5.1%	14.1%	9.3%	10.9%	10.7%	18.4%	13.4%	16.2%	20.2%	18.2%	18.0%	20.7%	16.2%
自治会活動などの地域活動に参加したい	7.1%	2.6%	7.0%	4.7%	7.9%	4.9%	6.1%	5.4%	9.1%	5.6%	5.2%	6.5%	8.6%	11.6%
健康の維持・増進に努めたい	62.5%	35.9%	46.5%	46.5%	56.4%	44.7%	57.1%	58.9%	54.5%	70.8%	70.1%	78.4%	77.1%	74.7%
特に考えていない	8.8%	7.7%	14.1%	9.3%	6.9%	13.6%	11.2%	4.5%	6.1%	7.9%	7.8%	5.0%	10.0%	10.6%
その他	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	1.0%	0.9%	1.0%	1.1%	1.3%	0.0%	1.4%	2.0%
無回答	4.3%	5.1%	1.4%	4.7%	5.0%	1.9%	1.0%	2.7%	4.0%	1.1%	2.6%	5.8%	5.0%	7.6%

(7) 安全・安心なまちづくり(問24~25)

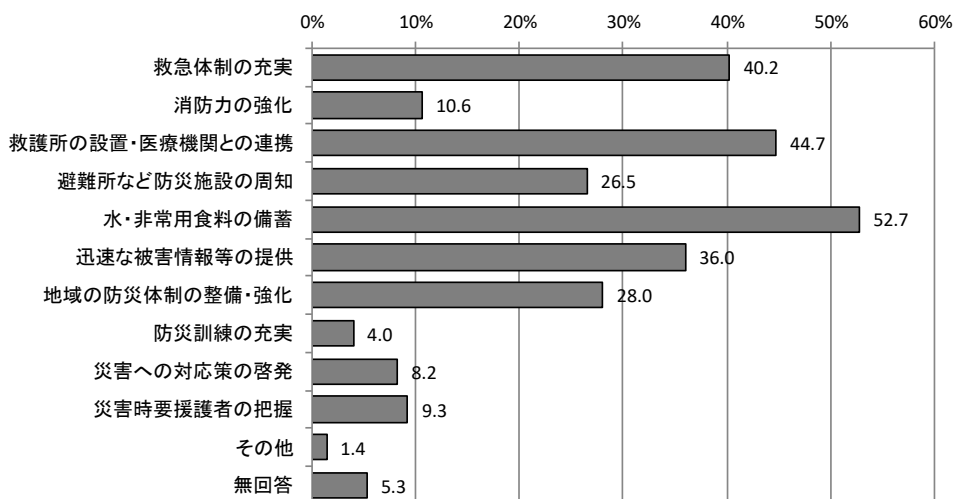
① 市民が自ら行う備えとして重要な取組

- 「水・非常用食料の備蓄」をあげる人が最も多く、ついで「避難所など防災施設の把握」や「家具類の転倒防止対策」をあげる人が多い。



② 行政が行うべき重要な取組

- 前問の「災害に備えて市民が行うこと」と同様に、「水・非常用食料の備蓄」をあげる人が最も多い。ついで「救護所の設置・医療機関との連携」や「救急体制の充実」をあげる人が多い。

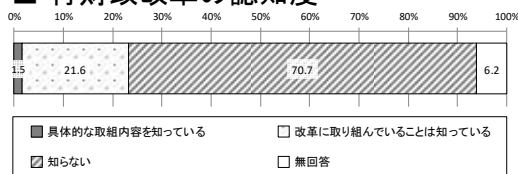


(8) 行財政改革(問26~28)

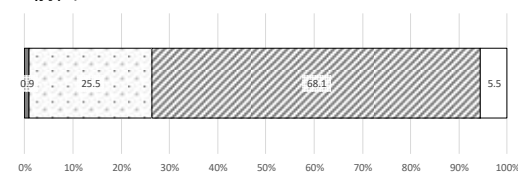
① 行財政改革の認知度と必要性

- 行財政改革について「知らない」をあげる人が70.7%を占めており、「具体的な取組内容を知っている」をあげる人は1.5%である。前回調査と比べて、「知らない」人は2.6ポイント増えている。
- 「積極的に推進する必要がある」をあげる人が36.1%と最も多く、ついで「どちらかといえば推進する必要がある」をあげる人が27.7%である。前回調査と比べて、「積極的に推進する必要がある」は4.8ポイント低い。

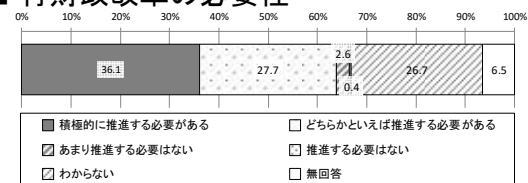
■ 行財政改革の認知度



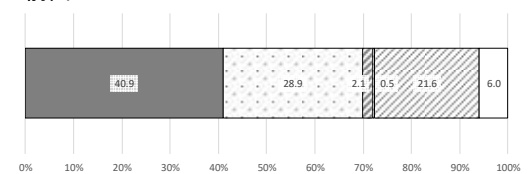
《前回》



■ 行財政改革の必要性

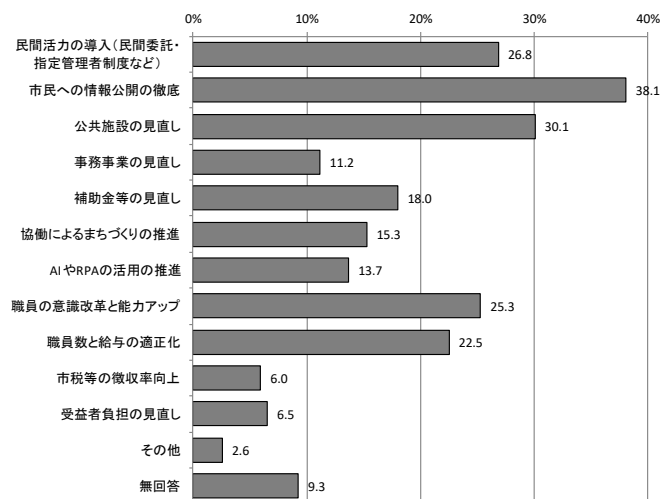


《前回》



② 行財政改革として必要な取組

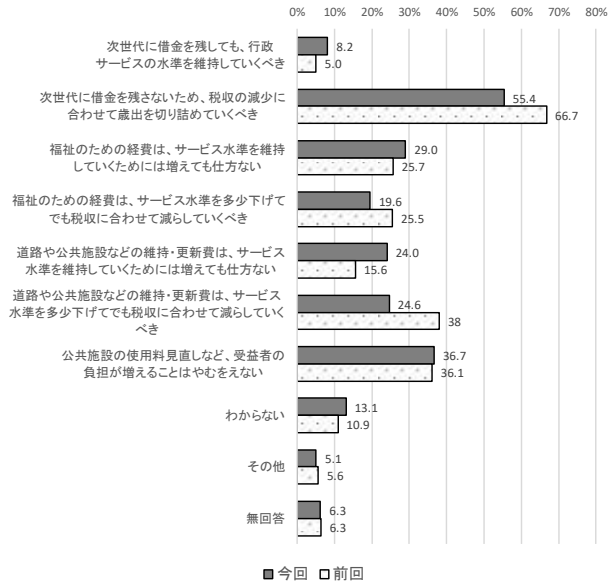
- 「市民への情報公開の徹底」をあげる人が最も多く、ついで「公共施設の見直し」や「民間活力の導入」、「職員の意識改革と能力アップ」、「職員数と給与の適正化」をあげる人が多い。



(9) 市政の方向性(問29~30)

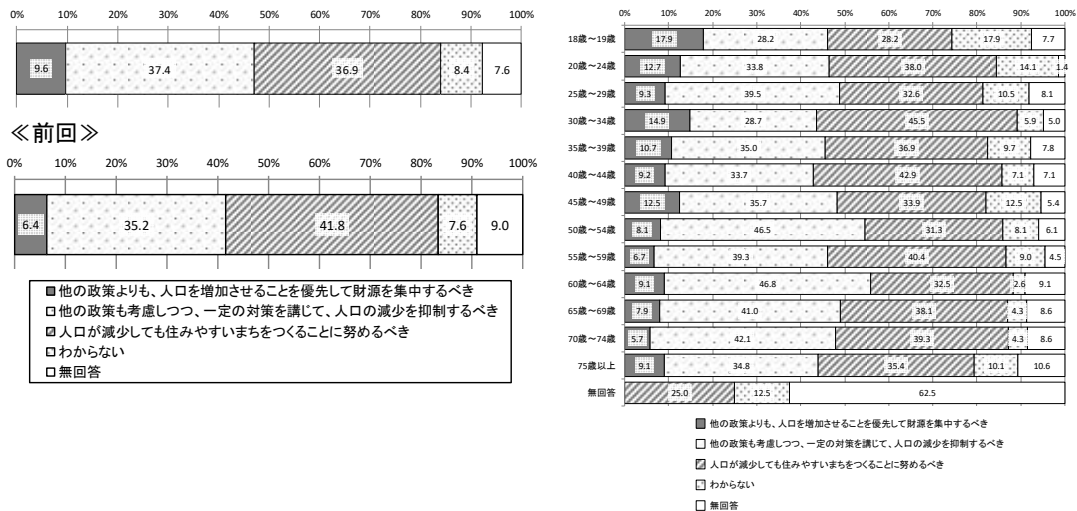
① 市政のかじ取り

- 「**「税金の減少に合わせて歳出を切り詰めていくべき」**が55.4%を占め、ついで「**公共施設の使用料見直しなど、受益者の負担が増えることはやむをえない**」や「**福祉のための経費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない**」が多い。
- 福祉のための経費は、「**サービス水準を維持するためには増えても仕方ない**」が「**サービス水準を下げても、税金に合わせて減らしていくべき**」よりも9.4ポイント高い。
- 道路や公共施設などの維持・更新費は、「**サービス水準を下げても税金に合わせて減らしていくべき**」と「**サービス水準を維持するためには増えても仕方ない**」がほぼ同じとなっている。



② 人口政策

- 各年齢階級を通じて、およそ50%の人が何らかの人口政策が必要と考えており、うち「**他の政策よりも、人口を増加させることを優先して財源を集中すべき**」とする回答は、年齢階級が若くなるほど多くなる傾向にある。
- 「**他の政策も考慮しつつ、一定の対策を講じて、人口の減少を抑制するべき**」とする回答は、年齢階級が高くなるほど多くなる傾向が見られる。



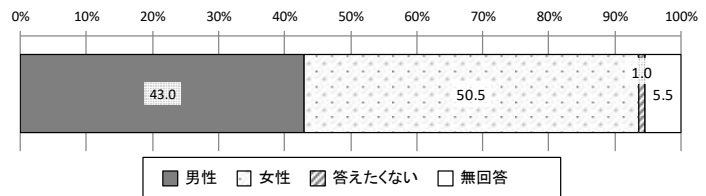
3. 市民意識調查結果

I 回答者属性について

問1 あなたの性別をおたずねします。あてはまる番号 1 つに○印をおつけください。

回答者の性別としては、「女性」が 50.5%、「男性」が 43.0%である。

項目	件数	割合
男性	585	43.0%
女性	687	50.5%
答えたくない	13	1.0%
無回答	75	5.5%
合計	1,360	-



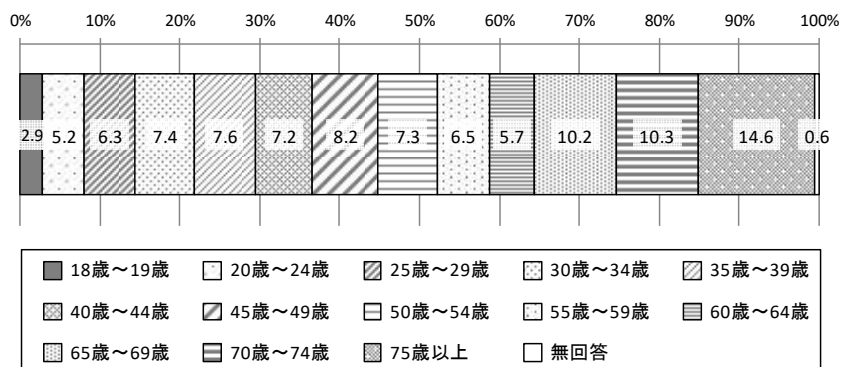
n=1,360

問2 あなたの年齢をおたずねします。あてはまる番号 1 つに○印をおつけください。

回答者の年齢階級としては、「75 歳以上」が 14.6%で最も多く、ついで「70 歳～74 歳」(10.3%)、「65 歳～69 歳」(10.2%)の順である。

項目	件数	割合
18 歳～19 歳	39	2.9%
20 歳～24 歳	71	5.2%
25 歳～29 歳	86	6.3%
30 歳～34 歳	101	7.4%
35 歳～39 歳	103	7.6%
40 歳～44 歳	98	7.2%
45 歳～49 歳	112	8.2%
50 歳～54 歳	99	7.3%

項目	件数	割合
55 歳～59 歳	89	6.5%
60 歳～64 歳	77	5.7%
65 歳～69 歳	139	10.2%
70 歳～74 歳	140	10.3%
75 歳以上	198	14.6%
無回答	8	0.6%
合計	1,360	-

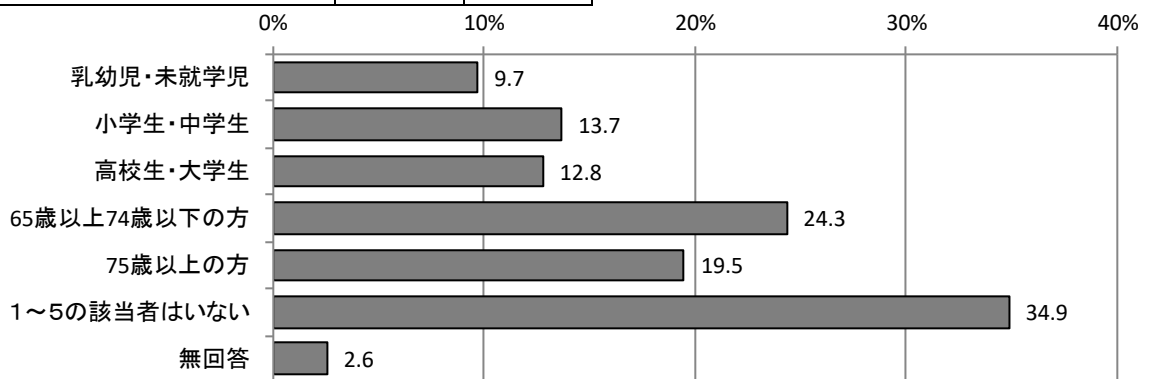


n=1,360

問3 一緒にお住まいのご家族で、下記に該当する方はいらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○印をおつけください。(複数回答可)

回答者の家族構成としては、「1～5の該当者はいない」が 34.9%で最も多く、ついで「65歳以上74歳以下の方」(24.3%)、「75歳以上の方」(19.5%)の順である。

総数	件数	割合
乳幼児・未就学児	132	9.7%
小学生・中学生	186	13.7%
高校生・大学生	174	12.8%
65歳以上74歳以下の方	331	24.3%
75歳以上の方	265	19.5%
1～5の該当者はいない	474	34.9%
無回答	35	2.6%
合計	1,360	-



n=1,360

■クロス集計(年齢階級別)

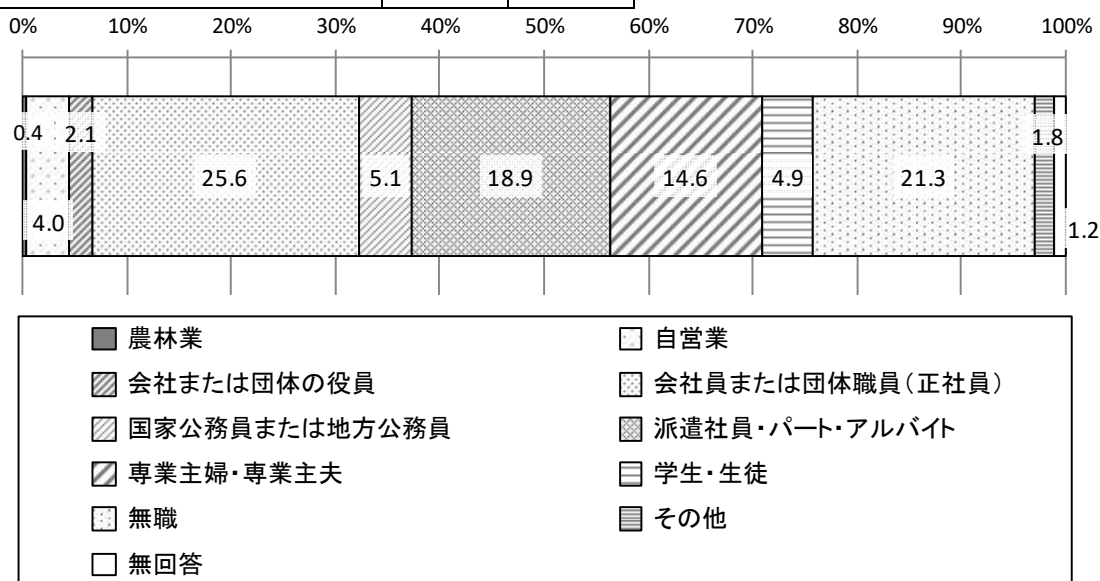
	乳幼児・未就学児	小学生・中学生	高校生・大学生	64歳以下の方	65歳以上の方	1～5の該当者はいない	無回答
総数	9.7%	13.7%	12.8%	24.3%	19.5%	34.9%	2.6%
18歳～19歳	5.1%	23.1%	43.6%	10.3%	7.7%	35.9%	2.6%
20歳～24歳	1.4%	11.3%	29.6%	15.5%	19.7%	43.7%	0.0%
25歳～29歳	12.8%	7.0%	9.3%	11.6%	10.5%	54.7%	3.5%
30歳～34歳	37.6%	10.9%	1.0%	25.7%	2.0%	35.6%	0.0%
35歳～39歳	46.6%	36.9%	4.9%	14.6%	5.8%	24.3%	1.0%
40歳～44歳	22.4%	40.8%	12.2%	27.6%	11.2%	19.4%	3.1%
45歳～49歳	2.7%	30.4%	38.4%	11.6%	17.0%	33.9%	0.0%
50歳～54歳	1.0%	20.2%	37.4%	3.0%	27.3%	41.4%	0.0%
55歳～59歳	1.1%	1.1%	12.4%	10.1%	20.2%	59.6%	2.2%
60歳～64歳	1.3%	3.9%	2.6%	28.6%	15.6%	53.2%	1.3%
65歳～69歳	1.4%	2.2%	3.6%	58.3%	9.4%	28.1%	3.6%
70歳～74歳	0.7%	5.7%	2.9%	50.7%	25.7%	25.0%	2.1%
75歳以上	0.5%	2.5%	4.0%	19.2%	48.0%	26.8%	5.6%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%	62.5%

n=1,360

問4 あなたのご職業をおたずねします。あてはまる番号 1 つに○印をおつけください。

回答者の職業としては、「会社員または団体職員(正社員)」が 25.6%で最も多く、ついで「無職」(21.3%)、「派遣社員・パート・アルバイト」(18.9%)の順である。

項目	件数	割合
農林業	6	0.4%
自営業	55	4.0%
会社または団体の役員	29	2.1%
会社員または団体職員(正社員)	348	25.6%
国家公務員または地方公務員	70	5.1%
派遣社員・パート・アルバイト	257	18.9%
専業主婦・専業主夫	199	14.6%
学生・生徒	66	4.9%
無職	290	21.3%
その他	24	1.8%
無回答	16	1.2%
合計	1,360	-



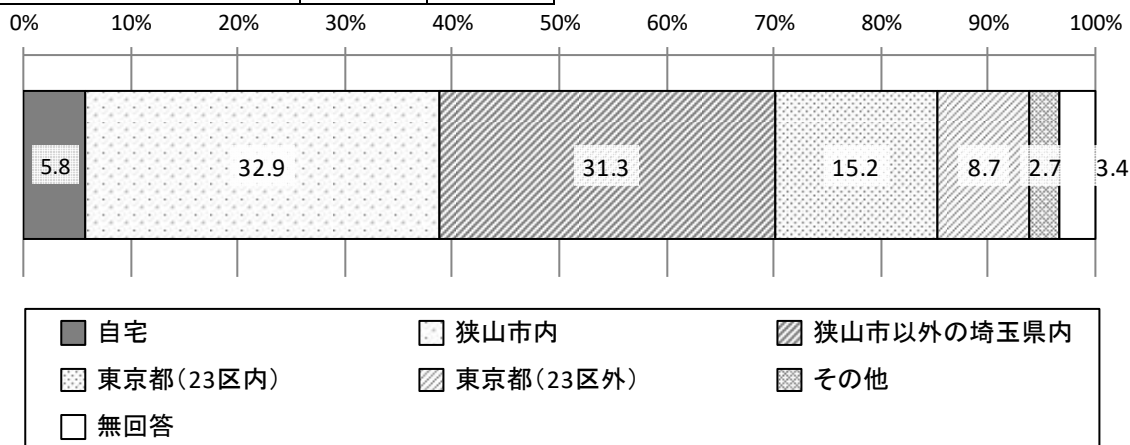
n=1,360

【その他】契約社員、嘱託社員、臨時職員、年金生活者、大工、個人事業主(フリーランス) 等

問5 あなたの勤務先・通学先をおたずねします。あてはまる番号 1つ に○印をおつけください。

回答者の勤務先・通学先としては、「狭山市内」が 32.9%で最も多く、ついで「狭山市以外の埼玉県内」(31.3%)、「東京都(23区内)」(15.2%)の順である。

項目	件数	割合
自宅	50	5.8%
狭山市内	281	32.9%
狭山市以外の埼玉県内	268	31.3%
東京都(23区内)	130	15.2%
東京都(23区外)	74	8.7%
その他	23	2.7%
無回答	29	3.4%
合計	855	-



n=855

【その他】

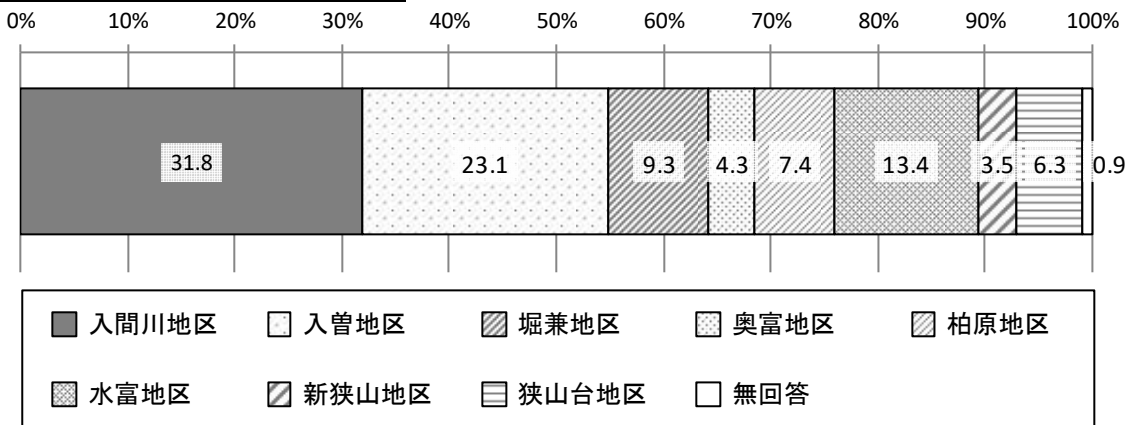
○「狭山市以外の埼玉県内」: 川越市、所沢市、入間市、飯能市、日高市、新座市、朝霞市、和光市、三芳町、ふじみ野市、戸田市、さいたま市、上尾市、伊奈町、鶴ヶ島市、坂戸市、東松山市、川島町、毛呂山町、寄居町、草加市、越谷市、春日部市、行田市

○「その他」: 高崎市、川崎市、神奈川県、千葉県、静岡県、栃木県芳賀郡、高根沢町、福岡県遠賀郡芦屋町 等

問6 あなたは、現在どちらの地区にお住まいですか。あてはまる番号 1つ に○印をおつけください。

回答者の現在の住まいの地区としては、「入間川地区」が 31.8%で最も多く、ついで「入曽地区」(23.1%)、「水富地区」(13.4%)の順である。

項目	件数	割合
入間川地区	433	31.8%
入曽地区	314	23.1%
堀兼地区	126	9.3%
奥富地区	59	4.3%
柏原地区	101	7.4%
水富地区	182	13.4%
新狭山地区	48	3.5%
狭山台地区	85	6.3%
無回答	12	0.9%
合計	1,360	-

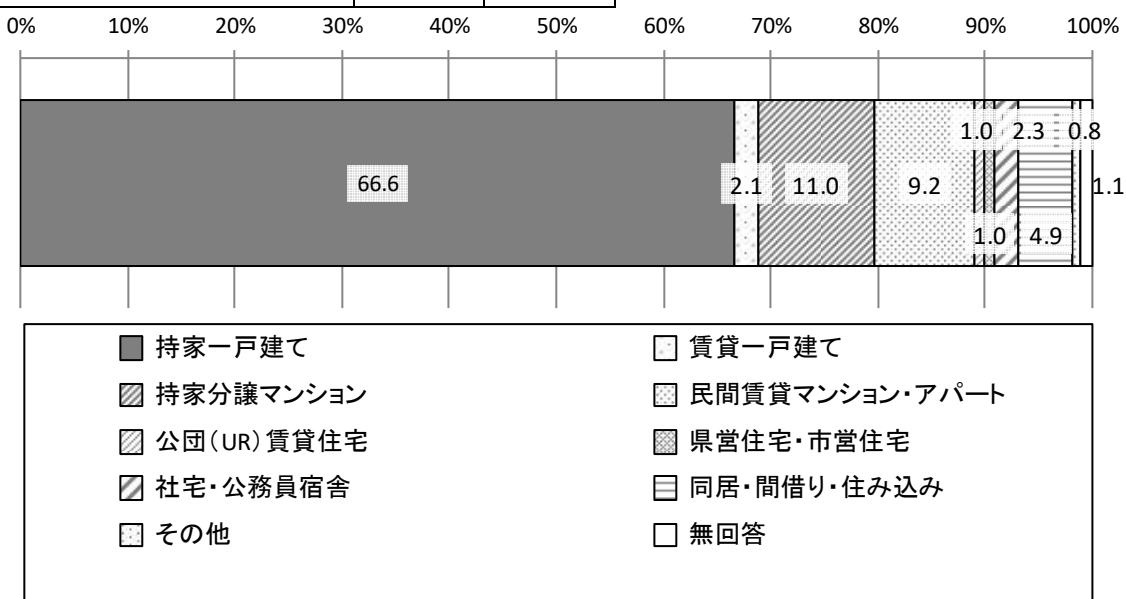


n=1,360

問7 あなたの現在のお住まいはどれですか。あてはまる番号 1つ に○印をおつけください。

回答者の現在の住まいとしては、「持家一戸建て」が 66.6%で最も多く、ついで「持家分譲マンション」(11.0%)、「民間賃貸マンション・アパート」(9.2%)の順である。

項目	件数	割合
持家一戸建て	906	66.6%
賃貸一戸建て	29	2.1%
持家分譲マンション	149	11.0%
民間賃貸マンション・アパート	125	9.2%
公団(UＲ)賃貸住宅	13	1.0%
県営住宅・市営住宅	14	1.0%
社宅・公務員宿舎	31	2.3%
同居・間借り・住み込み	67	4.9%
その他	11	0.8%
無回答	15	1.1%
合計	1,360	-



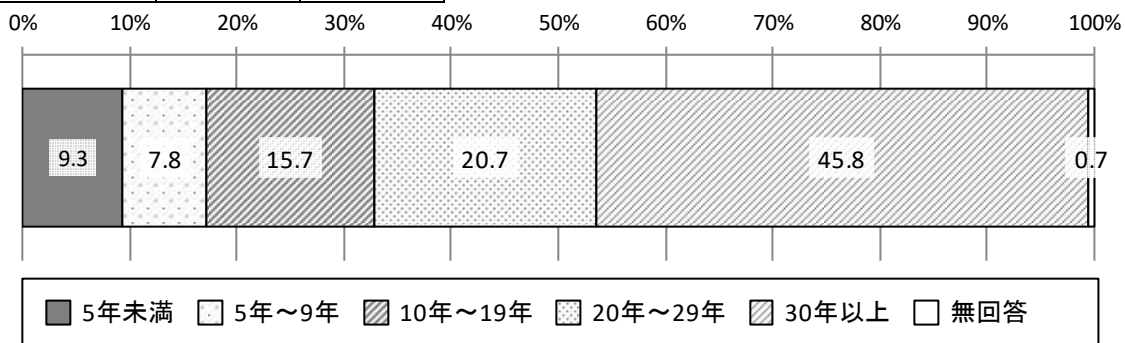
n=1,360

【その他】多世代同居、部活動の寮、特別養護老人ホーム 等

問8 あなたは、狭山市に住んで何年になりますか。あてはまる番号 1つ に○印をおつけください。

回答者が狭山市に住んでいる年数としては、「30年以上」が45.8%で最も多く、ついで「20年～29年」(20.7%)、「10年～19年」(15.7%)の順である。

項目	件数	割合
5年未満	127	9.3%
5年～9年	106	7.8%
10年～19年	214	15.7%
20年～29年	281	20.7%
30年以上	623	45.8%
無回答	9	0.7%
合計	1,360	-



n=1,360

■クロス集計

【性別】：男女とも「30年以上」がおよそ45%を占めている。
 【年齢階級別】：「55歳～59歳」を除き、年齢に比例して居住年数も長くなっている。
 【通勤通学先】：「狭山市内」及び「狭山市以外の埼玉県内」で居住年数が短くなる傾向が見られ、「東京都（23区内）」及び「東京都（23区外）」では居住年数が10年～29年とする回答群が多くなっている。
 【居住地区別】：「新狭山地区」及び「人間川地区」で、居住年数が短い傾向が見られる。

	5年未満	5年～9年	10年～19年	20年～29年	30年以上	無回答	総数
総数	9.3%	7.8%	15.7%	20.7%	45.8%	0.7%	1,360
性別							
男性	9.9%	8.0%	15.2%	20.5%	45.8%	0.5%	585
女性	8.9%	7.9%	17.2%	21.8%	44.0%	0.3%	687
答えたくない	38.5%	7.7%	0.0%	15.4%	23.1%	15.4%	13
無回答	4.0%	5.3%	9.3%	12.0%	66.7%	2.7%	75
年齢階級							
18歳～19歳	10.3%	0.0%	87.2%	0.0%	2.6%	0.0%	39
20歳～24歳	14.1%	7.0%	21.1%	56.3%	1.4%	0.0%	71
25歳～29歳	24.4%	8.1%	5.8%	60.5%	1.2%	0.0%	86
30歳～34歳	24.8%	21.8%	7.9%	11.9%	33.7%	0.0%	101
35歳～39歳	15.5%	24.3%	20.4%	7.8%	30.1%	1.9%	103
40歳～44歳	14.3%	14.3%	26.5%	5.1%	39.8%	0.0%	98
45歳～49歳	7.1%	8.9%	35.7%	13.4%	33.9%	0.9%	112
50歳～54歳	5.1%	6.1%	19.2%	32.3%	37.4%	0.0%	99
55歳～59歳	10.1%	3.4%	12.4%	31.5%	42.7%	0.0%	89
60歳～64歳	2.6%	2.6%	11.7%	23.4%	59.7%	0.0%	77
65歳～69歳	2.9%	2.2%	5.0%	20.1%	69.8%	0.0%	139
70歳～74歳	4.3%	2.9%	4.3%	14.3%	73.6%	0.7%	140
75歳以上	1.5%	2.5%	6.1%	11.1%	78.3%	0.5%	198
無回答	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	25.0%	50.0%	8
世帯構成							
乳幼児・未就学児	30.3%	28.8%	11.4%	6.8%	22.7%	0.0%	132
小学生・中学生	3.8%	15.1%	37.1%	15.1%	28.5%	0.5%	186
高校生・大学生	4.6%	6.9%	33.3%	31.0%	24.1%	0.0%	174
65歳以上74歳以下の方	4.5%	3.0%	7.9%	17.8%	66.2%	0.6%	331
75歳以上の方	0.8%	1.1%	9.4%	18.9%	69.8%	0.0%	265
1～5の該当者はいない	13.3%	9.7%	14.8%	25.1%	36.5%	0.6%	474
無回答	8.6%	0.0%	2.9%	14.3%	62.9%	11.4%	35
職業							
農林業	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	6
自営業	5.5%	7.3%	12.7%	18.2%	56.4%	0.0%	55
会社または団体の役員	13.8%	10.3%	20.7%	31.0%	24.1%	0.0%	29
会社員または団体職員(正社員)	13.5%	10.3%	18.1%	25.9%	32.2%	0.0%	348
国家公務員または地方公務員	24.3%	20.0%	10.0%	14.3%	28.6%	2.9%	70
派遣社員・パート・アルバイト	9.3%	7.0%	19.1%	22.6%	41.2%	0.8%	257
専業主婦・専業主夫	6.5%	9.0%	8.5%	16.1%	59.8%	0.0%	199
学生・生徒	9.1%	1.5%	66.7%	19.7%	3.0%	0.0%	66
無職	3.8%	4.1%	6.9%	16.2%	68.6%	0.3%	290
その他	8.3%	0.0%	4.2%	29.2%	58.3%	0.0%	24
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	56.3%	25.0%	16
通勤・通学先							
自宅	10.0%	8.0%	12.0%	20.0%	50.0%	0.0%	50
狭山市内	14.6%	7.5%	18.9%	20.6%	37.0%	1.4%	281
狭山市以外の埼玉県内	13.1%	12.3%	23.9%	21.3%	29.5%	0.0%	268
東京都(23区内)	9.2%	10.0%	24.6%	26.2%	30.0%	0.0%	130
東京都(23区外)	5.4%	2.7%	16.2%	39.2%	36.5%	0.0%	74
その他	4.3%	8.7%	26.1%	17.4%	43.5%	0.0%	23
無回答	17.2%	3.4%	13.8%	24.1%	41.4%	0.0%	29
居住地区							
人間川地区	9.3%	7.8%	15.7%	20.7%	45.8%	0.7%	1,360
入曽地区	9.7%	11.1%	19.4%	22.2%	37.0%	0.7%	433
堀巻地区	8.7%	6.3%	18.3%	19.0%	47.6%	0.0%	126
奥雷地区	8.5%	6.8%	16.9%	18.6%	49.2%	0.0%	59
柏原地区	5.0%	5.0%	12.9%	14.9%	62.4%	0.0%	101
水富地区	10.4%	7.1%	13.2%	22.5%	46.2%	0.5%	182
新狭山地区	16.7%	12.5%	16.7%	27.1%	27.1%	0.0%	48
狭山台地区	8.2%	7.1%	11.8%	20.0%	52.9%	0.0%	85
無回答	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	50.0%	33.3%	12
居住形態							
持家一戸建て	4.4%	5.8%	15.3%	20.6%	53.8%	0.0%	906
賃貸一戸建て	13.8%	6.9%	31.0%	13.8%	34.5%	0.0%	29
持家分譲マンション	6.7%	6.7%	13.4%	30.2%	42.3%	0.7%	149
民間賃貸マンション・アパート	33.6%	20.8%	19.2%	11.2%	14.4%	0.8%	125
公団(UR)賃貸住宅	30.8%	15.4%	23.1%	7.7%	23.1%	0.0%	13
県営住宅・市営住宅	21.4%	14.3%	21.4%	14.3%	28.6%	0.0%	14
社宅・公務員宿舎	45.2%	16.1%	9.7%	6.5%	19.4%	3.2%	31
同居・間借り・住み込み	10.4%	4.5%	14.9%	29.9%	38.8%	1.5%	67
その他	18.2%	9.1%	18.2%	9.1%	36.4%	9.1%	11
無回答	6.7%	13.3%	6.7%	33.3%	13.3%	26.7%	15
居住年数							
5年未満	-	-	-	-	-	-	0
5年～9年	-	-	-	-	-	-	0
10年～19年	-	-	-	-	-	-	0
20年～29年	-	-	-	-	-	-	0
30年以上	-	-	-	-	-	-	0
無回答	-	-	-	-	-	-	0

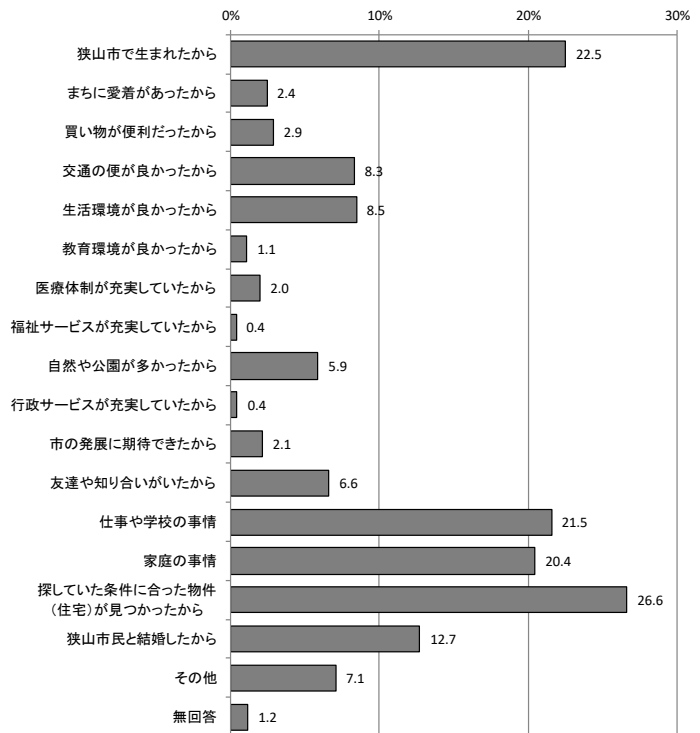
問9 あなたが、狭山市に住み始めた理由は何ですか。次の中から最大3つまで選び、番号に○印をおつけください。

回答者が狭山市に住み始めた理由としては、「探していた条件に合った物件(住宅)が見つかったから」が26.6%で最も多く、ついで「狭山市で生まれたから」(22.5%)、「仕事や学校の事情」(21.5%)の順である。

項目	件数	割合
狭山市で生まれたから	306	22.5%
まちに愛着があったから	33	2.4%
買い物が便利だったから	39	2.9%
交通の便が良かったから	113	8.3%
生活環境が良かったから	115	8.5%
教育環境が良かったから	15	1.1%
医療体制が充実していたから	27	2.0%
福祉サービスが充実していたから	5	0.4%
自然や公園が多かったから	80	5.9%

項目	件数	割合
行政サービスが充実していたから	6	0.4%
市の発展に期待できたから	29	2.1%
友達や知り合いがいたから	90	6.6%
仕事や学校の事情	293	21.5%
家庭の事情	278	20.4%
探していた条件に合った物件(住宅)が見つかったから	362	26.6%
狭山市民と結婚したから	173	12.7%
その他	96	7.1%
無回答	16	1.2%
合計	1,360	-

【その他】抽選で当選した、親族との同居、
親族の都合、以前住んでいた、
土地を持っていた、親の仕事の都合、
等

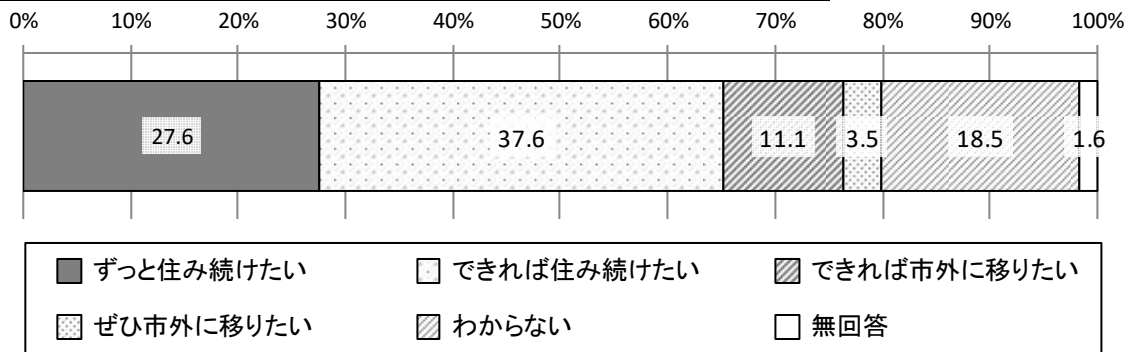


n=1,360

問 10 あなたは狭山市に住み続けたいですか。あてはまる番号 1 つに○印をおつけください。

回答者が狭山市に住み続けたいかどうかは、「できれば住み続けたい」が 37.6%で最も多く、ついで「ずっと住み続けたい」(27.6%)、「わからない」(18.5%)の順である。

項目	今回調査		前回調査	
	件数	割合	件数	割合
ずっと住み続けたい	376	27.6%	556	36.6%
できれば住み続けたい	511	37.6%	510	33.6%
できれば市外に移りたい	151	11.1%	155	10.2%
ぜひ市外に移りたい	48	3.5%	47	3.1%
わからない	252	18.5%	223	14.7%
無回答	22	1.6%	29	1.9%
合計	1,360	-	1,520	-



n=1,360

■クロス集計

【性別】：「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」とを合わせた定住意向の強い回答群の占める割合としては、「男性」（68.2%）の方が「女性」（63.6%）よりもやや高い。

【年齢階級別】：「40歳～44歳」及び60歳以上の各階級において定住意向が強く、24歳以下の各階級で低くなっている。

【通勤通学先】：「東京都（23区内）」で定住意向が低くなっている。

【居住地区別】：「新狭山地区」で定住意向がやや低くなっている。

【住居形態別】：「民間賃貸マンション・アパート」及び「社宅・公務員宿舎」で定住意向が低くなっている。

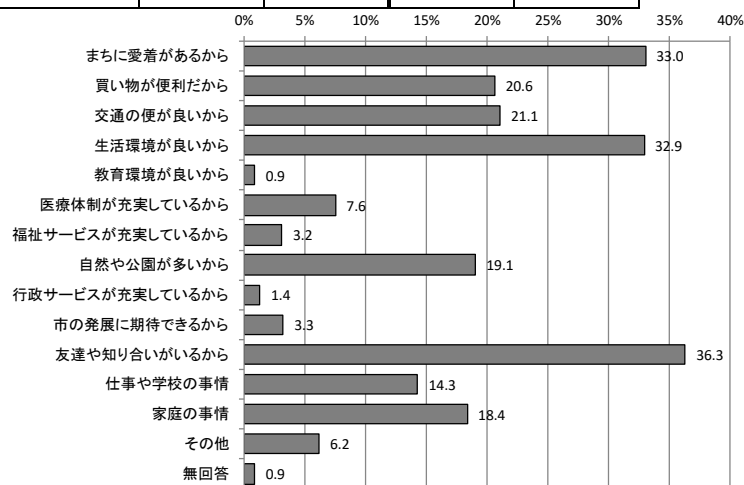
	ずっと住み続けたい	できれば住み続けたい	できれば市外に移りたい	ぜひ市外に移りたい	わからない	無回答	総数
総数	27.6%	37.6%	11.1%	3.5%	18.5%	1.6%	1,360
性別							
男性	31.3%	36.9%	12.0%	3.2%	15.6%	1.0%	585
女性	25.5%	38.1%	10.9%	3.6%	20.4%	1.5%	687
答えたくない	0.0%	23.1%	15.4%	15.4%	30.8%	15.4%	13
無回答	24.0%	40.0%	5.3%	2.7%	22.7%	5.3%	75
年齢階級							
18歳～19歳	7.7%	41.0%	17.9%	5.1%	25.6%	2.6%	39
20歳～24歳	9.9%	31.0%	25.4%	8.5%	25.4%	0.0%	71
25歳～29歳	9.3%	41.9%	15.1%	7.0%	26.7%	0.0%	86
30歳～34歳	18.8%	41.6%	9.9%	9.9%	15.8%	4.0%	101
35歳～39歳	24.3%	34.0%	15.5%	1.9%	22.3%	1.9%	103
40歳～44歳	20.4%	52.0%	8.2%	3.1%	16.3%	0.0%	98
45歳～49歳	20.5%	40.2%	10.7%	4.5%	23.2%	0.9%	112
50歳～54歳	16.2%	38.4%	12.1%	4.0%	28.3%	1.0%	89
55歳～59歳	23.6%	38.2%	7.9%	5.6%	24.7%	0.0%	89
60歳～64歳	26.0%	45.5%	10.4%	0.0%	18.2%	0.0%	77
65歳～69歳	40.3%	36.0%	8.6%	1.4%	10.8%	2.9%	139
70歳～74歳	37.9%	40.7%	9.3%	1.4%	10.0%	0.7%	140
75歳以上	52.5%	24.7%	7.6%	0.5%	12.6%	2.0%	198
無回答	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	8
世帯構成							
乳幼児・未就学児	27.3%	38.6%	12.9%	3.0%	15.2%	3.0%	132
小学生・中学生	26.3%	41.9%	11.3%	0.5%	18.8%	1.1%	186
高校生・大学生	16.7%	38.5%	17.8%	4.6%	21.3%	1.1%	174
65歳以上74歳以下の方	35.0%	38.4%	9.7%	2.4%	13.0%	1.5%	331
75歳以上の方	37.4%	36.2%	9.8%	0.8%	14.3%	1.5%	265
1～5の該当者はいない	21.3%	37.3%	11.0%	5.5%	23.8%	1.1%	474
無回答	31.4%	22.9%	14.3%	0.0%	20.0%	11.4%	35
職業							
農林業	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6
自営業	34.5%	36.4%	9.1%	5.5%	14.5%	0.0%	55
会社または団体の役員	24.1%	34.5%	13.8%	3.4%	24.1%	0.0%	29
会社員または団体職員(正社員)	15.8%	42.8%	15.2%	2.6%	22.1%	1.4%	348
国家公務員または地方公務員	25.7%	25.7%	12.9%	14.3%	18.6%	2.9%	70
派遣社員・パート・アルバイト	24.5%	42.8%	9.3%	3.1%	19.8%	0.4%	257
専業主婦・専業主夫	35.2%	38.2%	6.5%	3.0%	15.1%	2.0%	199
学生・生徒	6.1%	39.4%	24.2%	6.1%	22.7%	1.5%	66
無職	41.4%	31.7%	7.9%	2.4%	14.8%	1.7%	290
その他	45.8%	20.8%	12.5%	0.0%	20.8%	0.0%	24
無回答	25.0%	25.0%	6.3%	0.0%	18.3%	25.0%	16
通勤・通学先							
総数	21.3%	39.6%	13.3%	4.1%	20.6%	1.1%	855
自宅	44.0%	26.0%	6.0%	6.0%	16.0%	2.0%	50
狭山市内	22.1%	42.0%	12.5%	3.9%	18.5%	1.1%	281
狭山市以外の埼玉県内	20.1%	41.8%	9.7%	3.7%	22.8%	1.9%	268
東京都(23区内)	16.2%	36.2%	23.1%	4.6%	20.0%	0.0%	130
東京都(23区外)	13.5%	48.6%	12.2%	4.1%	21.6%	0.0%	74
その他	21.7%	30.4%	21.7%	4.3%	21.7%	0.0%	23
無回答	27.6%	20.7%	20.7%	3.4%	27.6%	0.0%	29
居住地区							
総数	27.6%	37.6%	11.1%	3.5%	18.5%	1.6%	1,360
入間川地区	23.8%	40.0%	11.3%	5.3%	18.9%	0.7%	433
入曾地区	29.0%	35.7%	12.7%	4.1%	16.9%	1.6%	314
堀巻地区	28.6%	38.9%	13.5%	0.8%	18.3%	0.0%	126
奥宮地区	32.2%	37.3%	6.8%	1.7%	18.6%	3.4%	59
柏原地区	35.6%	33.7%	10.9%	1.0%	17.8%	1.0%	101
水富地区	29.7%	35.7%	9.9%	3.8%	18.7%	2.2%	182
新狭山地区	22.9%	35.4%	6.3%	4.2%	29.2%	2.1%	48
狭山台地区	30.6%	41.2%	9.4%	0.0%	16.5%	2.4%	85
無回答	0.0%	33.3%	8.3%	0.0%	25.0%	33.3%	12
住居形態							
持家一戸建て	31.8%	38.5%	10.6%	2.5%	15.7%	0.9%	906
賃貸一戸建て	27.6%	31.0%	13.8%	0.0%	24.1%	3.4%	29
持家分譲マンション	28.2%	33.6%	11.4%	2.7%	21.5%	2.7%	149
民間賃貸マンション・アパート	6.0%	43.2%	12.0%	7.2%	29.6%	0.0%	125
公団(UR)賃貸住宅	38.5%	30.8%	7.7%	0.0%	15.4%	7.7%	13
県営住宅・市営住宅	21.4%	35.7%	7.1%	0.0%	28.6%	7.1%	14
社宅・公務員宿舎	16.1%	19.4%	16.1%	22.6%	22.6%	3.2%	31
同居・間借り・住み込み	14.9%	43.3%	10.4%	7.5%	22.4%	1.5%	67
その他	18.2%	45.5%	9.1%	0.0%	27.3%	0.0%	11
無回答	20.0%	0.0%	26.7%	0.0%	20.0%	33.3%	15
居住年数							
5年未満	13.4%	30.7%	14.2%	11.0%	29.1%	1.6%	127
5年～9年	18.9%	42.5%	13.2%	5.7%	18.9%	0.9%	106
10年～19年	14.5%	44.9%	12.6%	3.3%	24.3%	0.5%	214
20年～29年	13.5%	42.3%	16.0%	3.9%	22.8%	1.4%	281
30年以上	43.3%	33.5%	7.5%	1.6%	12.5%	1.4%	623
無回答	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%	55.6%	9

※問 10 で“「ずっと住み続けたい」または「できれば住み続けたい」”を選択された方にお聞き
 します。

問 10-1 その理由は何ですか。次の中から最大3つまで選び、番号に○印をおつけください。

回答者が狭山市に住み続けたい理由としては、「友達や知り合いがいるから」が 36.3%で最も多く、ついで「まちに愛着があるから」(33.0%)、「生活環境が良いから」(32.9%)の順である。

項目	今回調査		前回調査	
	件数	割合	件数	割合
まちに愛着があるから	293	33.0%	322	30.2%
買い物 convenient だから	183	20.6%	212	19.9%
交通の便が良いから	187	21.1%	199	18.7%
生活環境が良いから	292	32.9%	352	33.0%
教育環境が良いから	8	0.9%	8	0.8%
医療体制が充実しているから	67	7.6%	69	6.5%
福祉サービスが充実しているから	28	3.2%	42	3.9%
自然や公園が多いから	169	19.1%	236	22.1%
行政サービスが充実しているから	12	1.4%	21	2.0%
市の発展に期待できるから	29	3.3%	35	3.3%
友達や知り合いがいるから	322	36.3%	378	35.5%
仕事や学校の事情	127	14.3%	163	15.3%
家庭の事情	163	18.4%	223	20.9%
その他	55	6.2%	80	7.5%
無回答	8	0.9%	6	0.6%
合計	887	-	1,066	-



n=887

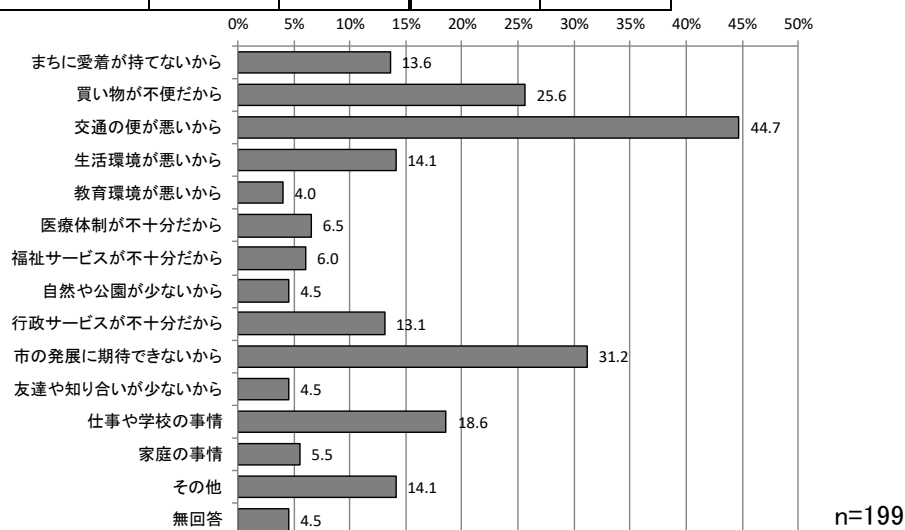
【その他】持家だから、親族との近居・同居のため、年齢的に転居したくない 等

※問 10 で“「できれば市外に移りたい」または「ぜひ市外に移りたい」”を選択された方にお聞きします。

問 10-2 その理由は何ですか。次の中から最大3つまで選び、番号に○印をおつけください。

回答者が市外に移りたい理由としては、「交通の便が悪いから」が 44.7%で最も多く、ついで「市の発展に期待できないから」(31.2%)、「買い物が不便だから」(25.6%)の順である。

項目	今回調査		前回調査	
	件数	割合	件数	割合
まちに愛着が持てないから	27	13.6%	35	17.3%
買い物が不便だから	51	25.6%	58	28.7%
交通の便が悪いから	89	44.7%	96	47.5%
生活環境が悪いから	28	14.1%	30	14.9%
教育環境が悪いから	8	4.0%	8	4.0%
医療体制が不十分だから	13	6.5%	16	7.9%
福祉サービスが不十分だから	12	6.0%	9	4.5%
自然や公園が少ないから	9	4.5%	10	5.0%
行政サービスが不十分だから	26	13.1%	24	11.9%
市の発展に期待できないから	62	31.2%	76	37.6%
友達や知り合いが少ないから	9	4.5%	15	7.4%
仕事や学校の事情	37	18.6%	26	12.9%
家庭の事情	11	5.5%	13	6.4%
その他	28	14.1%	42	20.8%
無回答	9	4.5%	1	0.5%
合計	199	-	202	-



【その他】航空機騒音、東京から遠い、住民税が東京より高い、金融機関等が少ない、入曽駅前の開発が進まない、バス等の公共交通が不便、地元に戻りたい、自治会トラブル 等

問 11 以下の 66 項目について、満足度と充実希望度をお答えください。

回答例にならって、これまで進めてきた狭山市のまちづくりに関する取組についての「満足度」と、これからの取組を進めていく上での「充実希望度」のそれぞれについて、今のお気持ちに最も近い番号を1つずつ選んで回答欄に○印をおつけください。

- ・満足度が低く、充実希望度が高い施策分野としては、「21 児童虐待防止対策の充実」、「20 ひとり親家庭などの自立支援の推進」、「39 雇用の促進と勤労者福祉の充実」などがあげられる。
- ・満足度が高く、充実希望度も高い施策分野としては、「56 消防・救急体制の充実」、「7 ごみの減量化とリサイクルの推進」、「12 地域医療体制の充実」などがあげられる。

■上位 10 施策

満足度:高い順			
番号	項目	満足度	充実希望度
-	全施策平均	2.161	3.858
31	水道の整備	2.984	3.611
32	公共下水道の整備	2.903	3.677
7	ごみの減量化とリサイクルの推進	2.879	3.977
8	廃棄物の適正な処理	2.815	3.956
56	消防・救急体制の充実	2.811	4.042
12	地域医療体制の充実	2.758	4.078
11	保健予防の充実	2.749	3.923
10	健康づくりの推進	2.675	3.841
26	良好で安全な住環境の整備	2.667	3.973
29	公園整備・都市緑化の推進	2.655	3.772

充実希望度:高い順			
番号	項目	充実希望度	満足度
-	全施策平均	3.858	2.161
21	児童虐待防止対策の充実	4.176	1.606
27	安全で快適な道路環境の整備	4.088	2.477
25	公共交通の充実	4.082	2.416
12	地域医療体制の充実	4.078	2.758
9	地域で安心して暮らせる地域福祉の推進	4.064	2.620
35	地域商業の活性化	4.049	1.825
22	社会保障制度の円滑な運用	4.046	1.881
58	地域との連携による防犯対策	4.045	2.439
56	消防・救急体制の充実	4.042	2.811
55	総合的な危機管理防災体制の充実	4.041	2.273

■下位 10 施策

39	雇用の促進と勤労者福祉の充実	1.807	4.038
34	地域産業の支援の充実	1.789	3.909
66	まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進	1.784	3.804
60	協働の推進	1.764	3.471
16	障害者の自立支援の促進	1.737	3.851
17	障害者の社会参加の促進	1.721	3.846
53	地域情報化の推進	1.721	3.504
33	新たな企業・事業者の育成	1.684	3.852
20	ひとり親などの自立支援の推進	1.626	3.927
21	児童虐待防止対策の充実	1.606	4.176

46	人権尊重意識の高揚	3.661	1.873
50	地域コミュニティの活性化	3.636	2.243
40	生涯学習の促進	3.614	2.102
31	水道の整備	3.611	2.984
41	生涯スポーツの促進	3.606	2.002
48	創造性豊かな市民文化の振興	3.555	1.984
49	国際交流の推進	3.545	1.818
53	地域情報化の推進	3.504	1.721
51	男女共同参画の推進	3.479	1.939
60	協働の推進	3.471	1.764

■施策番号順・前回調査との比較

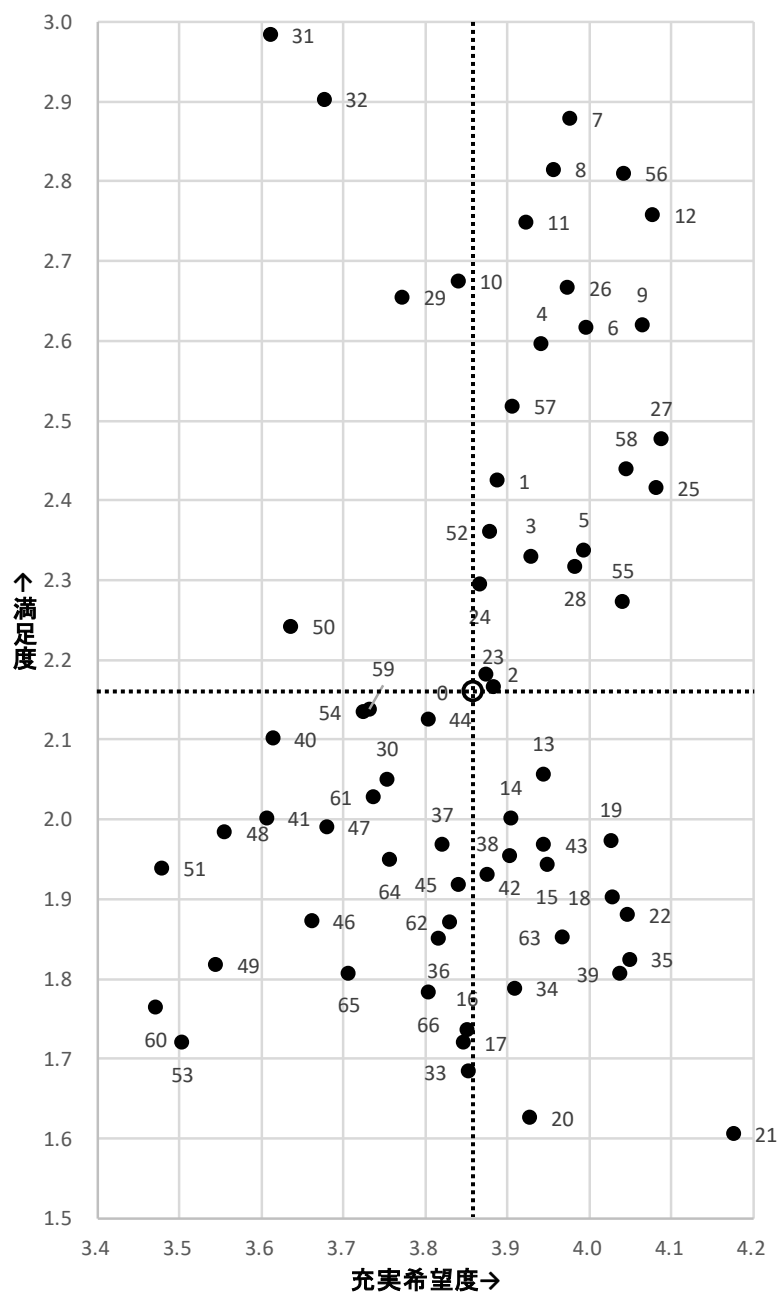
■施策番号順・前回比較

今回調査				前回調査				比較	
番号	項目	満足度	充実希望度	番号	対応する項目	満足度	重要度	満足度	重要度
0	全項目平均	順位 2,161	順位 3,858	0	全項目平均	2,168	3,994	-0.007	-0.136
1	環境保全の体制の充実	17 2,425	32 3,887	1	環境保全の体制の充実	2,530	4,120	-0.105	-0.233
2	地球環境の保全	26 2,183	36 3,874	2	地球環境の保全	2,280	4,140	-0.097	-0.266
3	環境に対する意識の向上	21 2,330	25 3,928	3	環境に対する意識の向上	2,500	4,140	-0.170	-0.212
4	緑地の保全と活用	13 2,596	24 3,942	4	緑地の保全と活用	2,740	4,200	-0.144	-0.258
5	環境汚染対策の推進	20 2,338	15 3,993	5	工場、有害物質などによる公害への対策の推進	2,270	4,320	0.068	-0.327
				6	河川の浄化と水辺環境の美化	2,910	4,320		
6	環境の美化と生活環境の保全	12 2,618	14 3,996	7	ごみのポイ捨てや不法投棄に対するモラルの向上	2,340	4,380	0.278	-0.384
7	ごみの減量化とリサイクルの推進	3 2,879	17 3,977	8	ごみの減量化とリサイクルの推進	3,080	4,300	-0.201	-0.323
8	廃棄物の適正な処理	4 2,815	20 3,956	9	廃棄物の適正な処理	2,670	4,300	0.145	-0.344
				10	廃棄物処理施設跡地の有効活用	2,120	3,930		
9	地域で安心して暮らせる地域福祉の推進	11 2,620	5 4,064	14	地域で安心して暮らせる地域福祉の推進	2,820	4,060	-0.200	0.004
10	健康づくりの推進	8 2,675	42 3,841	11	健康づくりの推進	2,800	4,160	-0.125	-0.319
11	保健予防の充実	7 2,749	27 3,923	12	疾病予防、健康保持対策の充実	2,770	4,410	-0.021	-0.487
12	地域医療体制の充実	6 2,758	4 4,078	13	地域医療体制の充実	2,510	4,270	0.248	-0.192
13	高齢者の生活の充実	32 2,057	23 3,945	15	高齢者のいきいきとした生活の充実	2,410	4,120	-0.353	-0.175
14	地域包括ケアの推進	35 2,002	30 3,904	16	介護予防の充実	2,080	4,200	-0.078	-0.296
15	介護サービスの充実	44 1,944	21 3,948	17	介護サービスの充実	2,040	4,280	-0.096	-0.332
16	障害者の自立支援の促進	61 1,737	39 3,851	18	障害者の自立支援の促進	1,780	4,100	-0.043	-0.249
17	障害者の社会参加の促進	62 1,721	40 3,846	19	障害者の社会参加の促進	1,770	4,030	-0.049	-0.184
18	仕事と子育ての両立支援	48 1,904	12 4,028	20	仕事と子育ての両立支援	1,880	4,170	0.024	-0.142
19	子育て支援の充実	39 1,974	13 4,027	21	子育て支援の充実	1,960	4,180	0.014	-0.153
20	ひとり親などの自立支援の推進	65 1,626	26 3,927						
21	児童虐待防止対策の充実	66 1,606	1 4,176	22	児童の保護や援助を必要とする家庭への支援の充実	1,760	4,090	-0.134	-0.163
22	社会保障制度の円滑な運用	49 1,881	7 4,046	23	社会保障制度の円滑な運用	1,910	4,170	-0.029	-0.124
23	都市機能の向上	27 2,166	33 3,883	24	計画的なまちづくりの推進	2,130	4,050	0.036	-0.167
24	道路ネットワークの構築	23 2,295	37 3,867	29	道路ネットワークの構築	2,180	3,800	0.115	0.067
25	公共交通の充実	18 2,416	3 4,082	31	公共交通機関の充実	2,480	4,140	-0.064	-0.058
26	良好で安全な住環境の整備	9 2,667	18 3,973						
27	安全で快適な道路環境の整備	15 2,477	2 4,088	30	安全で快適な道路環境の整備	2,370	4,160	0.107	-0.072
28	総合的な雨水対策の推進	22 2,317	16 3,983	25	雨水対策の推進	2,200	3,960	0.117	0.023
29	公園整備・都市緑化の推進	10 2,655	48 3,772	26	公園整備・都市緑化の推進	2,750	3,890	-0.095	-0.118
30	市街地周辺・市街化調整区域の土地利用	33 2,051	50 3,754	28	市街地周辺・市街化調整区域の土地利用	1,880	3,650	0.171	0.104
31	水道の整備	1 2,984	60 3,611	32	上水道の整備	3,150	4,130	-0.166	-0.519
32	公共下水道の整備	2 2,903	56 3,677	33	公共下水道の整備	3,010	4,130	-0.107	-0.453
				27	都市の拠点機能の向上	2,090	3,680		
33	新たな企業・事業者の育成	64 1,684	38 3,852	34	新たな産業の育成	1,700	3,780	-0.016	0.072
34	地域産業の支援の充実	58 1,789	28 3,909	35	中小企業に対する支援の充実	1,550	3,810	0.239	0.099
35	地域商業の活性化	54 1,825	6 4,049	37	魅力ある商業拠点や商店街の形成	1,760	3,960	0.065	0.089
36	工業の活性化	53 1,851	45 3,816	38	工業の活性化	1,880	3,800	-0.029	0.016
37	農業の活性化	41 1,968	44 3,821	39	農業の活性化	1,740	3,870	0.228	-0.049
38	狭山の地域資源を活用した観光の推進	46 1,932	35 3,876	40	地域の特色を活かした観光の振興	1,940	3,720	-0.008	0.156
39	雇用の促進と勤労者福祉の充実	57 1,807	11 4,038	41	雇用の促進と勤労者福祉の充実	1,800	4,110	0.007	-0.072
				36	農商工の連携の促進	1,570	3,650		
40	生涯学習の促進	31 2,102	59 3,614	42	生涯学習の促進	2,180	3,550	-0.078	0.064
41	生涯スポーツの促進	36 2,002	61 3,606	43	生涯スポーツの促進	2,150	3,540	-0.148	0.066
42	学校教育の内容及び支援の充実	42 1,955	31 3,903	44	学校の教育内容の充実	1,850	4,160	0.105	-0.257
43	学校教育環境の充実	40 1,969	22 3,945	45	学校の教育環境の充実	1,890	4,180	0.079	-0.235
44	家庭や地域との連携	30 2,126	47 3,803	46	地域と連携した教育の推進	1,940	3,900	0.186	-0.097
45	青少年の健全育成	47 1,919	41 3,841	47	青少年の健全育成の推進	1,890	3,990	0.029	-0.149
46	人権尊重意識の高揚	50 1,873	57 3,661	48	人権尊重意識の高揚	1,870	3,860	0.003	-0.199
47	平和意識の高揚	37 1,990	55 3,679	49	平和意識の高揚	1,970	3,850	0.020	-0.171
48	創造性豊かな市民文化の振興	38 1,984	62 3,555	50	市民文化活動の促進	2,340	3,560	-0.856	-0.005
49	国際交流の推進	55 1,818	63 3,545	51	国際交流の推進	1,830	3,470	-0.012	0.075
50	地域コミュニティの活性化	25 2,243	58 3,636	52	地域コミュニティの活性化	2,260	3,680	-0.017	-0.044
51	男女共同参画の推進	45 1,939	65 3,479	53	男女共同参画の推進	1,910	3,410	0.029	0.069
52	安全・安心な消費生活の実現	19 2,361	34 3,878	54	安全・安心な消費生活の実現	2,370	4,030	-0.009	-0.152
53	地域情報化の推進	63 1,721	64 3,504	55	ITの活用による地域活性化の推進	1,810	3,440	-0.089	0.064
54	住宅などの適正な管理	29 2,136	53 3,724	56	市営住宅などの適正な管理	1,590	3,550	0.546	0.174
55	総合的な危機管理防災体制の充実	24 2,273	10 4,041	57	様々な危機に対する管理体制の確立	1,830	4,140	0.443	-0.099
				58	地域防災力の向上	2,400	4,280		
56	消防・救急体制の充実	5 2,811	9 4,042	59	消防・救急体制の充実	2,770	4,420	0.041	-0.378
57	地域との連携による交通安全対策	14 2,519	29 3,906	60	地域との連携による交通安全対策	2,460	4,130	0.059	-0.224
58	地域との連携による防犯対策	16 2,439	8 4,045	61	地域との連携による防犯対策	2,450	4,230	-0.011	-0.185
59	基地周辺環境の整備の推進	28 2,138	52 3,732	62	基地による障害の防止対策と周辺環境の整備	2,100	3,990	0.038	-0.258
60	協働の推進	60 1,764	66 3,471	63	協働によるまちづくりの推進	1,850	3,630	-0.086	-0.159
61	積極的な情報発信と情報活用の推進	34 2,029	51 3,737	64	市民に開かれた市政の推進	2,020	3,900	0.009	-0.163
62	効率的・効果的な行政運営の推進	51 1,872	43 3,829	65	効率的・効果的な行政運営の推進	1,850	3,960	0.022	-0.131
63	健全な財政運営の推進	52 1,853	19 3,967	66	健全な財政運営の推進	1,860	4,170	-0.007	-0.203
64	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止	43 1,950	49 3,756	67	公共施設などの有効活用と計画的な管理	2,100	3,980	-0.150	-0.224
65	機能的で活力のある組織運営の推進	56 1,808	54 3,707	68	機能的な行政組織運営の推進	1,770	3,930	0.038	-0.223
66	まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進	59 1,784	46 3,804						

※各項目における「満足度」及び「充実希望度」について下の配点表のとおり配点し、それぞれの回答数にこれを乗じ、有効回答総数（1,360件）から「無回答」を減じた数をもって除した加重平均値を算出した。

満足度	充実希望度	配点
満足	力を入れるべき	5点
やや満足	やや力を入れるべき	4点
どちらともいえない	どちらともいえない	3点
やや不満	それほど力を入れなくてもよい	2点
不満	力を入れなくてもよい	1点
わからない	-	0点

■施策別の満足度・充実希望度分布図



※図中の「○」印（付番0）は、66施策すべてを通じた加重平均値の総平均値を表す。

■施策別の満足度・充実希望度配置図

■満足度高×充実希望度低

番号	項目	満足度	充実希望度
10	健康づくりの推進	2.675	3.841
29	公園整備・都市緑化の推進	2.655	3.772
31	水道の整備	2.984	3.611
32	公共下水道の整備	2.903	3.677
50	地域コミュニティの活性化	2.243	3.636

平均値	
満足度	2.161
充実希望度	3.858

■満足度高×充実希望度高

番号	項目	満足度	充実希望度
1	環境保全の体制の充実	2.425	3.887
2	地球環境の保全	2.183	3.874
3	環境に対する意識の向上	2.330	3.928
4	緑地の保全と活用	2.596	3.942
5	環境汚染対策の推進	2.338	3.993
6	環境の美化と生活環境の保全	2.618	3.996
7	ごみの減量化とリサイクルの推進	2.879	3.977
8	廃棄物の適正な処理	2.815	3.956
9	地域で安心して暮らせる地域福祉の推進	2.620	4.064
11	保健予防の充実	2.749	3.923
12	地域医療体制の充実	2.758	4.078
23	都市機能の向上	2.166	3.883
24	道路ネットワークの構築	2.295	3.867
25	公共交通の充実	2.416	4.082
26	良好で安全な住環境の整備	2.667	3.973
27	安全で快適な道路環境の整備	2.477	4.088
28	総合的な雨水対策の推進	2.317	3.983
52	安全・安心な消費生活の実現	2.361	3.878
55	総合的な危機管理防災体制の充実	2.273	4.041
56	消防・救急体制の充実	2.811	4.042
57	地域との連携による交通安全対策	2.519	3.906
58	地域との連携による防犯対策	2.439	4.045

■満足度低×充実希望度低

番号	項目	満足度	充実希望度
16	障害者の自立支援の促進	1.737	3.851
17	障害者の社会参加の促進	1.721	3.846
30	市街地周辺・市街化調整区域の土地利用	2.051	3.754
33	新たな企業・事業者の育成	1.684	3.852
36	工業の活性化	1.851	3.816
37	農業の活性化	1.968	3.821
40	生涯学習の促進	2.102	3.614
41	生涯スポーツの促進	2.002	3.606
44	家庭や地域との連携	2.126	3.803
45	青少年の健全育成	1.919	3.841
46	人権尊重意識の高揚	1.873	3.661
47	平和意識の高揚	1.990	3.679
48	創造性豊かな市民文化の振興	1.984	3.555
49	国際交流の推進	1.818	3.545
51	男女共同参画の推進	1.939	3.479
53	地域情報化の推進	1.721	3.504
54	住宅などの適正な管理	2.136	3.724
59	基地周辺環境の整備の推進	2.138	3.732
60	協働の推進	1.764	3.471
61	積極的な情報発信と情報活用の推進	2.029	3.737
62	効率的・効果的な行政運営の推進	1.872	3.829
64	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止	1.950	3.756
65	機能的で活力のある組織運営の推進	1.808	3.707
66	まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進	1.784	3.804

■満足度低×充実希望度高

番号	項目	満足度	充実希望度
13	高齢者の生活の充実	2.057	3.945
14	地域包括ケアの推進	2.002	3.904
15	介護サービスの充実	1.944	3.948
18	仕事と子育ての両立支援	1.904	4.028
19	子育て支援の充実	1.974	4.027
20	ひとり親などの自立支援の推進	1.626	3.927
21	児童虐待防止対策の充実	1.606	4.176
22	社会保障制度の円滑な運用	1.881	4.046
34	地域産業の支援の充実	1.789	3.909
35	地域商業の活性化	1.825	4.049
38	狭山の地域資源を活用した観光の推進	1.932	3.876
39	雇用の促進と勤労者福祉の充実	1.807	4.038
42	学校教育の内容と支援の充実	1.955	3.903
43	学校教育環境の充実	1.969	3.945
63	健全な財政運営の推進	1.853	3.967

※平均値以上の数値を太字で表示している

○クロス集計(第1章 環境共生)

【性別】性別による大きな違いは見られない。
 【年齢階級別】65歳以上の年齢階級で満足度、充実希望度ともに値が高い。
 【世帯構成別】小中学生がいる世帯の満足度及び65歳以上の方がいる世帯の充実希望度が高い。

満足度	男性	女性	29歳以下	30歳代	65～74歳	75歳以上	未就学児がいる	小中学生がいる	65歳以上の方がいる
1 環境保全の体制の充実	2.467	2.400	2.448	2.423	2.459	2.503	2.421	2.585	2.440
2 地球環境の保全	2.191	2.174	2.201	2.164	2.062	2.178	2.127	2.347	2.143
3 環境に対する意識の向上	2.367	2.294	2.328	2.305	2.324	2.381	2.260	2.520	2.334
4 緑地の保全と活用	2.587	2.603	2.642	2.512	2.660	2.622	2.635	2.667	2.567
5 環境汚染対策の推進	2.334	2.337	2.242	2.174	2.341	2.481	2.152	2.423	2.365
6 環境の美化と生活環境の保全	2.568	2.656	2.521	2.613	2.693	2.644	2.606	2.853	2.630
7 ごみの減量化とリサイクルの推進	2.884	2.882	2.605	2.774	3.031	3.089	2.667	2.903	2.995
8 廃棄物の適正な処理	2.896	2.759	2.675	2.740	2.771	3.108	2.672	2.908	2.891

充実希望度	男性	女性	29歳以下	30歳代	65～74歳	75歳以上	未就学児がいる	小中学生がいる	65歳以上の方がいる
1 環境保全の体制の充実	3.892	3.884	3.778	3.791	3.995	4.043	3.924	3.826	3.960
2 地球環境の保全	3.855	3.900	3.844	3.729	4.014	4.051	3.878	3.840	3.971
3 環境に対する意識の向上	3.926	3.932	3.927	3.818	4.041	4.045	3.888	3.876	4.006
4 緑地の保全と活用	3.952	3.940	3.884	3.870	4.000	4.051	3.871	3.863	4.025
5 環境汚染対策の推進	4.010	3.993	4.006	3.927	4.088	3.962	3.991	3.876	4.029
6 環境の美化と生活環境の保全	4.014	3.998	3.917	4.045	4.076	4.000	4.060	3.913	4.041
7 ごみの減量化とリサイクルの推進	3.972	3.981	3.917	3.877	4.093	4.082	3.898	3.846	4.062
8 廃棄物の適正な処理	3.990	3.936	3.961	3.857	4.009	4.052	3.861	3.845	4.023

○クロス集計(第2章 健康福祉)

【性別】女性の満足度が男性より高い施策は4施策にとどまり、充実希望度もすべての施策について男性より値が高い。

【年齢階級別】満足度、充実希望度ともに75歳以上が高くなっているが、児童関連施策の充実希望度については若年層の値が上回っている。

【世帯構成別】高齢及び介護分野の施策については65歳以上の方がいる世帯の、児童、障害及び健康分野の施策については中学生以下の子どもがいる世帯の値が、それぞれ高い。

満足度	男性	女性	29歳以下	30歳代	65～74歳	75歳以上	未就学児がいる	小中学生がいる	65歳以上の方がいる
9 地域で安心して暮らせる地域福祉の推進	2.609	2.643	2.722	2.485	2.635	2.899	2.625	2.814	2.686
10 健康づくりの推進	2.579	2.746	2.579	2.535	2.815	3.018	2.719	2.778	2.776
11 保健予防の充実	2.676	2.823	2.518	2.570	2.905	3.000	2.791	2.893	2.842
12 地域医療体制の充実	2.759	2.764	2.595	2.642	2.863	3.006	2.750	2.809	2.886
13 高齢者の生活の充実	2.157	1.951	1.880	1.540	2.335	2.674	1.656	1.977	2.336
14 地域包括ケアの推進	2.018	1.975	1.773	1.580	2.227	2.723	1.683	1.852	2.261
15 介護サービスの充実	1.964	1.904	1.871	1.437	2.066	2.506	1.528	1.823	2.169
16 障害者の自立支援の促進	1.772	1.663	1.719	1.475	1.860	1.839	1.605	1.904	1.889
17 障害者の社会参加の促進	1.720	1.688	1.789	1.450	1.824	1.830	1.550	1.858	1.881
18 仕事と子育ての両立支援	1.955	1.835	1.927	2.126	1.740	1.790	2.488	2.193	1.888
19 子育て支援の充実	1.659	1.557	1.648	1.548	1.642	1.709	1.646	1.835	1.690
20 ひとり親などの自立支援の推進	1.655	1.509	1.648	1.593	1.543	1.662	1.850	1.865	1.672
21 児童虐待防止対策の充実	1.655	1.509	1.648	1.593	1.543	1.662	1.850	1.865	1.672
22 社会保障制度の円滑な運用	1.982	1.764	1.922	1.678	1.887	2.138	1.722	2.051	1.945

充実希望度	男性	女性	29歳以下	30歳代	65～74歳	75歳以上	未就学児がいる	小中学生がいる	65歳以上の方がいる
9 地域で安心して暮らせる地域福祉の推進	3.994	4.111	4.022	3.989	4.069	4.162	4.161	4.006	4.069
10 健康づくりの推進	3.800	3.880	3.883	3.726	3.839	4.031	3.938	3.794	3.850
11 保健予防の充実	3.873	3.964	4.006	3.932	3.864	4.015	4.132	3.875	3.906
12 地域医療体制の充実	4.051	4.097	4.050	4.006	4.041	4.074	4.228	4.094	4.070
13 高齢者の生活の充実	3.870	4.010	3.630	3.753	4.108	4.194	3.868	3.744	4.068
14 地域包括ケアの推進	3.850	3.952	3.683	3.774	4.000	4.094	3.825	3.688	4.000
15 介護サービスの充実	3.881	3.990	3.810	3.859	3.982	4.113	3.885	3.744	4.075
16 障害者の自立支援の促進	3.778	3.919	3.796	3.798	3.957	3.955	3.929	3.688	3.914
17 障害者の社会参加の促進	3.761	3.925	3.783	3.803	4.009	3.902	3.928	3.692	3.916
18 仕事と子育ての両立支援	3.932	4.127	4.217	4.236	3.969	3.985	4.479	4.142	3.990
19 子育て支援の充実	3.965	4.085	4.193	4.285	3.922	3.924	4.496	4.185	3.980
20 ひとり親などの自立支援の推進	3.889	3.974	4.071	3.989	4.022	3.926	4.096	3.902	3.980
21 児童虐待防止対策の充実	4.093	4.262	4.253	4.317	4.198	4.101	4.417	4.117	4.190
22 社会保障制度の円滑な運用	4.000	4.087	4.000	4.068	4.071	4.169	4.161	3.894	4.094

○クロス集計(第3章 都市基盤)

【性別】 満足度では公共交通及び道路環境、充実希望度では雨水対策及び公園整備について、女性の値が男性より高い。

【年齢階級別】 満足度については29歳以下、充実希望度については75歳以上の値がそれぞれ高い。

【世帯構成別】 水道を除くすべての施策の充実希望度について、未就学児のいる世帯の充実希望度が高い。

満足度	男性	女性	29歳以下	30歳代	65～74歳	75歳以上	未就学児が いる	小中学生が いる	65歳以上の 方がいる
23 都市機能の向上	2.254	2.090	2.392	2.131	2.122	2.142	2.151	2.309	2.179
24 道路ネットワークの構築	2.409	2.210	2.580	2.352	2.188	2.152	2.328	2.461	2.257
25 公共交通の充実	2.437	2.437	2.696	2.608	2.452	2.143	2.469	2.483	2.364
26 良好で安全な住環境の整備	2.722	2.636	2.953	2.744	2.613	2.534	2.740	2.708	2.644
27 安全で快適な道路環境の整備	2.456	2.502	2.648	2.576	2.492	2.409	2.504	2.480	2.456
28 総合的な雨水対策の推進	2.450	2.207	2.320	2.240	2.371	2.378	2.111	2.320	2.351
29 公園整備・都市緑化の推進	2.708	2.613	2.479	2.603	2.764	2.689	2.567	2.537	2.656
30 市街地周辺・市街化調整区域の土地利用	2.078	2.036	2.202	2.100	2.047	1.942	2.102	2.017	2.033
31 水道の整備	3.123	2.867	2.696	2.814	3.211	3.247	2.748	2.841	3.123
32 公共下水道の整備	3.056	2.796	2.663	2.722	3.104	3.049	2.711	2.763	3.018

充実希望度	男性	女性	29歳以下	30歳代	65～74歳	75歳以上	未就学児が いる	小中学生が いる	65歳以上の 方がいる
23 都市機能の向上	3.910	3.852	3.906	3.983	3.782	4.016	4.070	3.821	3.890
24 道路ネットワークの構築	3.924	3.803	3.885	3.938	3.739	3.900	4.080	3.870	3.841
25 公共交通の充実	4.118	4.034	4.005	4.067	4.065	4.203	4.121	3.907	4.106
26 良好で安全な住環境の整備	3.975	3.969	3.923	4.061	3.860	4.124	4.155	4.031	3.947
27 安全で快適な道路環境の整備	4.157	4.024	4.060	4.156	4.017	4.197	4.274	4.086	4.103
28 総合的な雨水対策の推進	3.975	3.986	3.830	4.006	4.013	4.052	4.104	3.890	4.029
29 公園整備・都市緑化の推進	3.771	3.790	3.828	3.732	3.789	3.933	4.137	3.859	3.785
30 市街地周辺・市街化調整区域の土地利用	3.756	3.750	3.659	3.751	3.716	3.881	3.948	3.700	3.787
31 水道の整備	3.615	3.608	3.522	3.600	3.686	3.797	3.679	3.425	3.699
32 公共下水道の整備	3.685	3.675	3.575	3.665	3.771	3.908	3.770	3.491	3.761

○クロス集計(第4章 産業経済)

【性別】 観光及び雇用促進に関する充実希望度を除き、男性の値が女性より高い。
 【年齢階級別】 充実希望度については、すべての施策について75歳以上の値が高い。
 【世帯構成別】 雇用促進を除くすべての施策について、65歳以上の方がいる世帯の値が高い。

満足度	男性	女性	29歳以下	30歳代	65～74歳	75歳以上	未就学児がいる	小中学生がいる	65歳以上の方がいる
33 新たな企業・事業者の育成	1.828	1.558	1.637	1.497	1.698	1.658	1.469	1.678	1.775
34 地域産業の支援の充実	1.918	1.674	1.861	1.692	1.729	1.738	1.672	1.836	1.843
35 地域商業の活性化	1.850	1.817	1.902	1.704	1.874	1.809	1.688	1.836	1.839
36 工業の活性化	1.933	1.793	1.866	1.755	1.874	1.702	1.688	1.904	1.890
37 農業の活性化	1.995	1.947	1.953	1.930	1.910	1.988	1.727	2.040	2.016
38 狭山の地域資源を活用した観光の推進	1.986	1.906	2.067	1.820	1.909	1.956	1.797	2.028	1.960
39 雇用の促進と勤労者福祉の充実	1.910	1.716	1.804	1.769	1.823	1.777	1.680	1.825	1.831

充実希望度	男性	女性	29歳以下	30歳代	65～74歳	75歳以上	未就学児がいる	小中学生がいる	65歳以上の方がいる
33 新たな企業・事業者の育成	3.955	3.785	3.751	3.787	3.913	4.030	3.789	3.712	3.969
34 地域産業の支援の充実	3.965	3.871	3.885	3.908	3.889	4.090	3.825	3.716	3.996
35 地域商業の活性化	4.100	4.017	3.940	3.983	4.126	4.257	4.026	3.865	4.152
36 工業の活性化	3.846	3.790	3.714	3.787	3.835	4.111	3.791	3.681	3.928
37 農業の活性化	3.833	3.828	3.797	3.760	3.883	3.942	3.767	3.687	3.904
38 狭山の地域資源を活用した観光の推進	3.871	3.892	3.823	3.742	3.953	4.130	3.836	3.761	3.970
39 雇用の促進と勤労者福祉の充実	4.002	4.074	3.945	4.102	4.069	4.133	4.078	3.957	4.075

○クロス集計(第5章 教育文化)

【性別】満足度では家庭・地域連携を除くすべての施策で、充実希望度ではすべての施策で女性の値が男性より高い。

【年齢階級別】学校教育に関連する施策については29歳以下、生涯学習に関連する施策では75歳以上の値がそれぞれ高い。

【世帯構成別】満足度では小中学生がいる世帯、充実希望度では平和意識高揚を除き未就学児がいる世帯で値が高い。

満足度	男性	女性	29歳以下	30歳代	65～74歳	75歳以上	未就学児がいる	小中学生がいる	65歳以上の方がいる
40 生涯学習の促進	2.094	2.082	1.845	1.920	2.302	2.397	1.913	2.303	2.234
41 生涯スポーツの促進	2.045	1.945	1.856	1.663	2.169	2.273	1.740	2.191	2.112
42 学校教育の内容と支援の充実	1.962	1.932	2.046	1.985	1.873	1.828	1.969	2.642	1.929
43 学校教育環境の充実	1.974	1.941	2.113	1.925	1.862	1.868	1.914	2.749	1.916
44 家庭や地域との連携	2.080	2.146	2.036	2.000	2.069	2.278	2.055	2.770	2.102
45 青少年の健全育成	1.974	1.848	1.995	1.756	1.838	1.893	1.746	2.528	1.916
46 人権尊重意識の高揚	1.952	1.782	1.979	1.638	1.821	1.887	1.677	2.236	1.921
47 平和意識の高揚	2.064	1.911	2.242	1.829	1.862	1.973	1.850	2.258	2.045
48 創造性豊かな市民文化の振興	2.029	1.954	2.073	1.790	1.959	2.081	1.867	2.247	2.053
49 国際交流の推進	1.868	1.767	1.789	1.650	1.869	1.880	1.688	2.034	1.944

充実希望度	男性	女性	29歳以下	30歳代	65～74歳	75歳以上	未就学児がいる	小中学生がいる	65歳以上の方がいる
40 生涯学習の促進	3.600	3.654	3.725	3.564	3.603	3.675	3.766	3.581	3.617
41 生涯スポーツの促進	3.599	3.650	3.786	3.532	3.604	3.593	3.732	3.588	3.603
42 学校教育の内容と支援の充実	3.881	3.945	4.072	3.983	3.828	3.867	4.239	4.044	3.873
43 学校教育環境の充実	3.885	4.012	4.106	4.034	3.903	3.869	4.296	4.124	3.913
44 家庭や地域との連携	3.800	3.818	3.934	3.770	3.839	3.913	4.062	3.770	3.838
45 青少年の健全育成	3.819	3.875	3.891	3.851	3.912	4.016	4.079	3.710	3.868
46 人権尊重意識の高揚	3.655	3.661	3.773	3.659	3.691	3.808	3.714	3.500	3.679
47 平和意識の高揚	3.632	3.722	3.764	3.638	3.816	3.877	3.708	3.475	3.746
48 創造性豊かな市民文化の振興	3.560	3.569	3.602	3.503	3.633	3.790	3.652	3.410	3.581
49 国際交流の推進	3.477	3.608	3.687	3.483	3.606	3.698	3.625	3.422	3.570

○クロス集計(第6章 市民生活)

【性別】満足度では地域コミュニティ及び消防・救急、充実希望度では安全・安心に関連する諸施策で、女性の値が男性より高い。

【年齢階級別】充実希望度について、男女共同参画が29歳以下である他は、75歳以上の値が高い。

【世帯構成別】充実希望度について、総合的な危機管理防災体制が65歳以上の方がいる世帯である他は、未就学児がいる世帯の値が高い。

満足度	男性	女性	29歳以下	30歳代	65～74歳	75歳以上	未就学児がいる	小中学生がいる	65歳以上の方がいる
50 地域コミュニティの活性化	2.213	2.229	2.135	2.136	2.374	2.325	2.417	2.401	2.366
51 男女共同参画の推進	2.070	1.810	1.964	1.729	2.012	2.027	1.866	2.130	2.032
52 安全・安心な消費生活の実現	2.425	2.303	2.409	2.201	2.404	2.590	2.252	2.358	2.414
53 地域情報化の推進	1.855	1.606	1.727	1.407	1.720	1.825	1.500	1.716	1.821
54 住宅などの適正な管理	2.191	2.078	2.124	1.955	2.221	2.378	2.039	2.209	2.241
55 総合的な危機管理防災体制の充実	2.330	2.226	2.289	2.117	2.361	2.349	2.095	2.333	2.368
56 消防・救急体制の充実	2.793	2.804	2.660	2.697	2.944	3.121	2.606	2.860	2.926
57 地域との連携による交通安全対策	2.578	2.459	2.423	2.558	2.631	2.560	2.609	2.842	2.571
58 地域との連携による防犯対策	2.446	2.415	2.258	2.384	2.488	2.662	2.354	2.744	2.546
59 基地周辺環境の整備の推進	2.246	2.049	2.206	2.235	2.093	2.013	2.135	2.256	2.134

充実希望度	男性	女性	29歳以下	30歳代	65～74歳	75歳以上	未就学児がいる	小中学生がいる	65歳以上の方がいる
50 地域コミュニティの活性化	3.654	3.627	3.652	3.647	3.670	3.913	3.748	3.503	3.713
51 男女共同参画の推進	3.485	3.481	3.667	3.491	3.450	3.620	3.532	3.369	3.497
52 安全・安心な消費生活の実現	3.867	3.888	3.832	3.943	3.862	4.080	4.036	3.806	3.915
53 地域情報化の推進	3.563	3.459	3.511	3.509	3.463	3.557	3.518	3.456	3.501
54 住宅などの適正な管理	3.737	3.717	3.794	3.747	3.662	3.902	3.813	3.578	3.719
55 総合的な危機管理防災体制の充実	4.041	4.048	4.006	4.074	4.077	4.156	4.018	3.912	4.088
56 消防・救急体制の充実	4.036	4.056	4.006	4.062	4.055	4.220	4.204	3.950	4.087
57 地域との連携による交通安全対策	3.881	3.937	3.945	3.989	3.881	4.008	4.170	3.813	3.907
58 地域との連携による防犯対策	3.998	4.096	4.110	4.080	4.036	4.119	4.283	4.012	4.042
59 基地周辺環境の整備の推進	3.739	3.707	3.785	3.689	3.765	4.000	3.814	3.634	3.759

○クロス集計(第7章 計画推進)

【性別】 満足度、充実希望度とも、男性の値が女性よりも高い。
 【年齢階級別】 満足度については 65 歳以上で値が高くなっているが、組織運営については 29 歳以下の値が高い。また、充実希望度については公共施設及び組織運営については 30 歳代、それ以外の諸施策については 75 歳以上の値が高い。
 【世帯構成別】 満足度についてはすべての施策について小中学生がいる世帯の値が高く、充実希望度については協働及び財政運営について未就学児がいる世帯である他は、65 歳以上の方がいる世帯の値が高い。

満足度	男性	女性	29歳以下	30歳代	65～74歳	75歳以上	未就学児がいる	小中学生がいる	65歳以上の方がいる
60 協働の推進	1.899	1.623	1.596	1.583	1.835	1.778	1.677	1.884	1.822
61 積極的な情報発信と情報活用の推進	2.134	1.936	1.918	1.975	2.029	2.048	1.914	2.175	2.077
62 効率的・効果的な行政運営の推進	2.037	1.714	1.773	1.763	1.876	1.967	1.688	2.034	1.935
63 健全な財政運営の推進	1.983	1.717	1.845	1.731	1.855	1.895	1.693	2.040	1.908
64 公共施設等の計画的な管理と統合・廃止	2.016	1.887	1.907	1.804	1.967	1.928	1.750	2.102	2.028
65 機能的で活力のある組織運営の推進	1.912	1.686	1.851	1.673	1.817	1.800	1.688	1.927	1.864
66 まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進	1.864	1.725	1.819	1.658	1.841	1.760	1.555	1.983	1.905

充実希望度	男性	女性	29歳以下	30歳代	65～74歳	75歳以上	未就学児がいる	小中学生がいる	65歳以上の方がいる
60 協働の推進	3.501	3.460	3.567	3.412	3.445	3.573	3.495	3.417	3.467
61 積極的な情報発信と情報活用の推進	3.775	3.712	3.791	3.763	3.650	3.891	3.736	3.602	3.785
62 効率的・効果的な行政運営の推進	3.846	3.815	3.819	3.813	3.837	3.959	3.727	3.756	3.873
63 健全な財政運営の推進	3.986	3.943	3.912	4.000	3.936	4.024	4.000	3.805	3.992
64 公共施設等の計画的な管理と統合・廃止	3.822	3.698	3.720	3.799	3.759	3.795	3.775	3.733	3.807
65 機能的で活力のある組織運営の推進	3.738	3.689	3.687	3.741	3.683	3.726	3.721	3.581	3.723
66 まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進	3.868	3.768	3.779	3.794	3.737	3.866	3.813	3.774	3.870

問 12 左記の表中の 66 項目のうち、狭山市の取組として特に充実している、進んでいると思うものを最大3つまで選び、充実している、進んでいると思う順に回答欄にその番号を記入してください。

回答者が狭山市の取組として特に充実している、進んでいると思うものは、「ごみの減量化とリサイクルの推進」が 332 点で最も多く、ついで「消防・救急体制の充実」(308 点)、「水道の整備」(275 点)の順である。

(※上位 10 施策を掲載)

順位	項目	配点	3	2	1
		評点	1位	2位	3位
		-	1,360	1,360	1,360
1	ごみの減量化とリサイクルの推進	332	78	37	24
2	消防・救急体制の充実	308	54	42	62
3	水道の整備	275	50	49	27
4	地域医療体制の充実	269	61	32	22
5	公園整備・都市緑化の推進	248	42	39	44
6	緑地の保全と活用	201	50	19	13
7	廃棄物の適正な処理	198	35	36	21
8	子育て支援の充実	191	35	34	18
9	公共交通の充実	187	36	27	25
10	公共下水道の整備	170	13	43	45

※「評点」は、施策分野ごとの1位、2位及び3位の度数に表頭記載の配点を乗じた数の総和である。

順位	項目	配点	3	2	1
		評点	1位	2位	3位
		83.2	1,360	1,360	1,360
1	ごみの減量化とリサイクルの推進	332	78	37	24
2	消防・救急体制の充実	308	54	42	62
3	水道の整備	275	50	49	27
4	地域医療体制の充実	269	61	32	22
5	公園整備・都市緑化の推進	248	42	39	44
6	緑地の保全と活用	201	50	19	13
7	廃棄物の適正な処理	198	35	36	21
8	子育て支援の充実	191	35	34	18
9	公共交通の充実	187	36	27	25
10	公共下水道の整備	170	13	43	45
11	健康づくりの推進	140	28	21	14
12	保健予防の充実	134	25	21	17
13	生涯学習の促進	129	23	20	20
14	道路ネットワークの構築	124	20	22	20
15	都市機能の向上	117	20	21	15
16	地域包括ケアの推進	107	16	23	13
17	環境の美化と生活環境の保全	105	19	20	8
18	介護サービスの充実	105	15	20	20
19	地域コミュニティの活性化	102	15	19	19
20	高齢者の生活の充実	101	20	14	13
21	地域との連携による交通安全対策	97	13	21	16
22	地域で安心して暮らせる地域福祉の推進	96	21	12	9
23	良好で安全な住環境の整備	87	14	14	17
24	安全で快適な道路環境の整備	81	13	17	8
25	狭山の地域資源を活用した観光の推進	79	13	14	12
26	地域商業の活性化	77	14	10	15
27	生涯スポーツの促進	74	9	18	11
28	仕事と子育ての両立支援	73	10	13	17
29	新たな企業・事業者の育成	73	17	9	4
30	環境保全の体制の充実	72	14	13	4
31	地球環境の保全	70	13	9	13
32	安全・安心な消費生活の実現	65	12	9	11
33	学校教育環境の充実	64	11	9	13

順位	総数	配点	3	2	1
		評点	1位	2位	3位
34	工業の活性化	61	11	10	8
35	農業の活性化	61	10	9	13
36	総合的な雨水対策の推進	60	11	11	5
37	地域との連携による防犯対策	60	3	15	21
38	環境に対する意識の向上	53	11	4	12
39	家庭や地域との連携	50	8	6	14
40	学校教育の内容と支援の充実	46	6	9	10
41	総合的な危機管理防災体制の充実	45	6	9	9
42	地域産業の支援の充実	33	5	8	2
43	積極的な情報発信と情報活用の推進	33	6	5	5
44	児童虐待防止対策の充実	30	4	8	2
45	平和意識の高揚	29	5	6	2
46	創造性豊かな市民文化の振興	28	4	4	8
47	基地周辺環境の整備の推進	27	5	4	4
48	国際交流の推進	26	3	4	9
49	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止	26	3	5	7
50	障害者の自立支援の促進	25	4	5	3
51	社会保障制度の円滑な運用	24	4	3	6
52	市街地周辺・市街化調整区域の土地利用	24	3	4	7
53	環境汚染対策の推進	23	5	3	2
54	まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進	21	3	3	6
55	地域情報化の推進	19	3	4	2
56	ひとり親などの自立支援の推進	17	3	1	6
57	雇用の促進と勤労者福祉の充実	17	2	3	5
58	青少年の健全育成	15	2	3	3
59	人権尊重意識の高揚	14	3	2	1
60	協働の推進	14	1	3	5
61	健全な財政運営の推進	14	1	2	7
62	住宅などの適正な管理	13	1	2	6
63	障害者の社会参加の促進	12	2	2	2
64	男女共同参画の推進	11	0	4	3
65	効率的・効果的な行政運営の推進	5	0	1	3
66	機能的で活力のある組織運営の推進	3	0	1	1
	無回答	-	393	470	551

問 13 左記の表中の 66 項目のうち、狭山市の取組として特に不足している、遅れていると思うものを最大3つまで選び、不足している、遅れていると思う順に回答欄にその番号を記入してください。

回答者が狭山市の取組として特に不足している、遅れていると思うものは、「公共交通の充実」が -405 点で最も低く、ついで「地域商業の活性化」(-272 点)、「安全で快適な道路環境の整備」(-258 点)の順である。

(※下位 10 施策を掲載)

順位	項目	配点	-3	-2	-1
		評点	1位	2位	3位
		-	1,360	1,360	1,360
1	公共交通の充実	-405	92	44	41
2	地域商業の活性化	-272	44	47	46
3	安全で快適な道路環境の整備	-258	41	51	33
4	総合的な雨水対策の推進	-206	39	35	19
5	高齢者の生活の充実	-191	44	20	19
6	都市機能の向上	-184	32	34	20
7	道路ネットワークの構築	-163	32	26	15
8	新たな企業・事業者の育成	-160	34	20	18
9	公園整備・都市緑化の推進	-154	24	28	26
10	市街地周辺・市街化調整区域の土地利用	-152	23	32	19

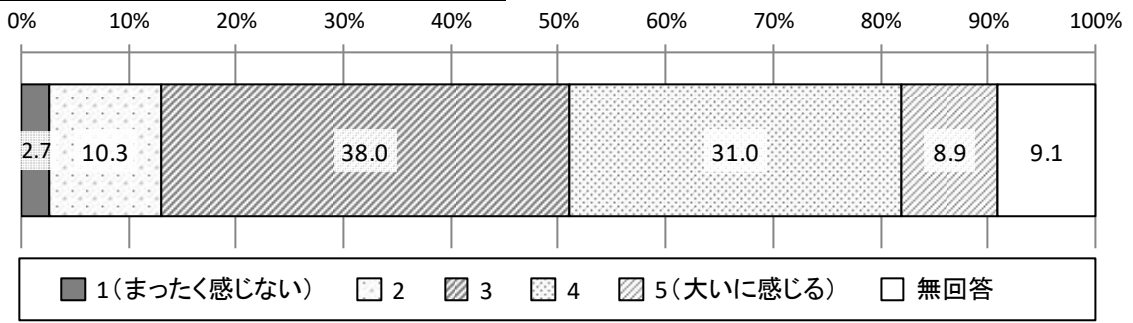
※「評点」は、施策分野ごとの1位、2位及び3位の度数に表頭記載の配点を乗じた数の総和である。

順位	項目	配点	-3	-2	-1	順位	総数	配点	-3	-2	-1
		評点	1位	2位	3位			評点	1位	2位	3位
		-86.0	1,360	1,360	1,360	34	国際交流の推進	-66	13	9	9
1	公共交通の充実	-405	92	44	41	35	消防・救急体制の充実	-65	9	13	12
2	地域商業の活性化	-272	44	47	46	36	地域で安心して暮らせる地域福祉の推進	-64	14	8	6
3	安全で快適な道路環境の整備	-258	41	51	33	37	住宅などの適正な管理	-62	11	7	15
4	総合的な雨水対策の推進	-206	39	35	19	38	青少年の健全育成	-58	8	11	12
5	高齢者の生活の充実	-191	44	20	19	39	廃棄物の適正な処理	-55	11	5	12
6	都市機能の向上	-184	32	34	20	40	安全・安心な消費生活の実現	-55	5	15	10
7	道路ネットワークの構築	-163	32	26	15	41	まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進	-55	8	6	19
8	新たな企業・事業者の育成	-160	34	20	18	42	社会保障制度の円滑な運用	-54	9	8	11
9	公園整備・都市緑化の推進	-154	24	28	26	43	地域産業の支援の充実	-54	9	8	11
10	市街地周辺・市街化調整区域の土地利用	-152	23	32	19	44	生涯スポーツの促進	-53	11	7	6
11	子育て支援の充実	-149	28	27	11	45	良好で安全な住環境の整備	-52	10	6	10
12	狭山の地域資源を活用した観光の推進	-147	14	36	33	46	積極的な情報発信と情報活用の推進	-51	9	8	8
13	緑地の保全と活用	-127	30	13	11	47	障害者の自立支援の促進	-49	7	12	4
14	ごみの減量化とリサイクルの推進	-123	27	18	6	48	人権尊重意識の高揚	-47	9	8	4
15	仕事と子育ての両立支援	-121	25	17	12	49	環境保全の体制の充実	-44	10	4	6
16	基地周辺環境の整備の推進	-104	16	18	20	50	環境に対する意識の向上	-44	12	1	6
17	総合的な危機管理防災体制の充実	-102	19	13	19	51	ひとり親などの自立支援の推進	-43	5	9	10
18	地域医療体制の充実	-91	16	13	17	52	環境の美化と生活環境の保全	-41	8	5	7
19	地域との連携による防犯対策	-91	12	19	17	53	環境汚染対策の推進	-39	8	7	1
20	介護サービスの充実	-88	15	15	13	54	障害者の社会参加の促進	-37	5	6	10
21	学校教育環境の充実	-88	9	22	17	55	生涯学習の促進	-37	6	7	5
22	地域コミュニティの活性化	-86	11	17	19	56	地球環境の保全	-34	5	8	3
23	健全な財政運営の推進	-86	15	12	17	57	地域との連携による交通安全対策	-34	6	5	6
24	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止	-82	16	8	18	58	健康づくりの推進	-31	6	3	7
25	雇用の促進と勤労者福祉の充実	-80	15	9	17	59	保健予防の充実	-28	6	3	4
26	児童虐待防止対策の充実	-77	13	11	16	60	家庭や地域との連携	-26	3	6	5
27	農業の活性化	-74	11	13	15	61	地域情報化の推進	-26	5	3	5
28	公共下水道の整備	-72	9	14	17	62	機能的で活力のある組織運営の推進	-24	1	8	5
29	地域包括ケアの推進	-70	10	14	12	63	創造性豊かな市民文化の振興	-23	4	4	3
30	水道の整備	-69	14	11	5	64	男女共同参画の推進	-23	3	6	2
31	工業の活性化	-67	9	14	12	65	平和意識の高揚	-15	0	5	5
32	効率的・効果的な行政運営の推進	-67	11	12	10	66	協働の推進	-15	1	3	6
33	学校教育の内容及び支援の充実	-66	7	16	13		無回答	-	366	437	512

問 14 あなたは、現在の生活について幸せだと感じますか？ あなたの実感に最も近いもの 1つ を選び、あてはまる番号に○印をおつけください。

回答者が現在の生活について幸せだと感じているかについては、「5(大いに感じる)」と「1(まったく感じない)」の中間にあたる3が 38.0%で最も多く、ついで4が 31.0%、2が 10.3%の順である。

項目	件数	割合
1(まったく感じない)	37	2.7%
2	140	10.3%
3	517	38.0%
4	421	31.0%
5(大いに感じる)	121	8.9%
無回答	124	9.1%
合計	1,360	-



n=1,360

■クロス集計

【性別】：女性の方が男性よりも幸福度が高い傾向が見られる。
 【年齢階級別】：24歳以下の各階級では高く、「40歳～44歳」で最も低い。
 【世帯構成別】：中学生以下の子どもがいる世帯では高い。一方、高齢者がいる世帯では、やや低くなる傾向が見られる。

	1 (まったく感じない)	2	3	4	5 (大いに感じる)	無回答	総数
総数	2.7%	10.3%	38.0%	31.0%	8.9%	9.1%	1,360
性別							
男性	2.1%	10.8%	42.7%	29.1%	6.2%	9.2%	585
女性	2.8%	9.5%	34.1%	33.5%	11.1%	9.2%	687
答えたくない	23.1%	7.7%	38.5%	15.4%	0.0%	15.4%	13
無回答	4.0%	14.7%	37.3%	25.3%	12.0%	6.7%	75
年齢階級							
18歳～19歳	2.6%	5.1%	28.2%	33.3%	25.6%	5.1%	39
20歳～24歳	2.8%	9.9%	32.4%	33.8%	12.7%	8.5%	71
25歳～29歳	0.0%	9.3%	38.4%	34.9%	10.5%	7.0%	86
30歳～34歳	3.0%	9.9%	32.7%	32.7%	11.9%	9.9%	101
35歳～39歳	2.9%	6.8%	34.0%	35.9%	13.6%	6.8%	103
40歳～44歳	5.1%	17.3%	38.8%	24.5%	7.1%	7.1%	98
45歳～49歳	0.9%	17.0%	34.8%	33.0%	10.7%	3.6%	112
50歳～54歳	2.0%	9.1%	46.5%	32.3%	2.0%	8.1%	99
55歳～59歳	2.2%	16.9%	34.8%	30.3%	9.0%	6.7%	89
60歳～64歳	1.3%	13.0%	41.6%	33.8%	1.3%	9.1%	77
65歳～69歳	3.6%	7.2%	43.9%	26.6%	7.2%	11.5%	139
70歳～74歳	3.6%	7.9%	42.9%	29.3%	8.6%	7.9%	140
75歳以上	3.5%	7.6%	36.4%	29.8%	7.6%	15.2%	198
無回答	0.0%	0.0%	37.5%	12.5%	0.0%	50.0%	8
世帯構成							
乳幼児・未就学児	1.5%	6.1%	22.0%	43.2%	18.2%	9.1%	132
小学生・中学生	1.6%	9.1%	38.2%	31.7%	14.0%	5.4%	186
高校生・大学生	3.4%	10.3%	37.9%	28.7%	11.5%	8.0%	174
65歳以上74歳以下の方	1.8%	10.6%	42.0%	29.6%	6.9%	9.1%	331
75歳以上の方	3.0%	12.5%	42.3%	28.7%	6.4%	7.2%	265
1～5の該当者はいない	3.2%	12.0%	38.6%	30.2%	7.2%	8.9%	474
無回答	2.9%	5.7%	34.3%	20.0%	5.7%	31.4%	35
職業							
農林業	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	6
自営業	1.8%	18.2%	32.7%	27.3%	5.5%	14.5%	55
会社または団体の役員	0.0%	10.3%	51.7%	20.7%	0.0%	17.2%	29
会社員または団体職員(正社員)	1.7%	12.4%	39.4%	33.0%	7.5%	6.0%	348
国家公務員または地方公務員	0.0%	11.4%	30.0%	42.9%	7.1%	8.6%	70
派遣社員・パート・アルバイト	4.7%	12.8%	34.6%	30.0%	8.9%	8.9%	257
専業主婦・専業主夫	1.5%	7.0%	38.7%	30.7%	14.1%	8.0%	199
学生・生徒	1.5%	4.5%	30.3%	33.3%	24.2%	6.1%	66
無職	4.1%	9.0%	43.1%	26.6%	5.5%	11.7%	290
その他	8.3%	0.0%	29.2%	41.7%	8.3%	12.5%	24
無回答	0.0%	0.0%	37.5%	31.3%	6.3%	25.0%	16
通勤・通学先							
総数	2.6%	11.7%	36.1%	32.5%	8.9%	8.2%	855
自宅	0.0%	12.0%	36.0%	34.0%	10.0%	8.0%	50
狭山市内	2.8%	9.6%	36.3%	35.2%	8.2%	7.8%	281
狭山市以外の埼玉県内	3.0%	14.2%	35.8%	29.9%	8.6%	8.6%	268
東京都(23区内)	1.5%	10.8%	38.5%	33.8%	10.8%	4.6%	130
東京都(23区外)	1.4%	6.8%	39.2%	32.4%	8.1%	12.2%	74
その他	4.3%	8.7%	26.1%	30.4%	13.0%	17.4%	23
無回答	6.9%	27.6%	27.6%	24.1%	6.9%	6.9%	29
居住地							
総数	2.7%	10.3%	38.0%	31.0%	8.9%	9.1%	1,360
人間川地区	2.1%	9.5%	38.6%	32.3%	8.3%	9.2%	433
入曽地区	4.5%	11.5%	36.9%	30.3%	9.2%	7.6%	314
堀兼地区	4.8%	9.5%	39.7%	31.0%	7.9%	7.1%	126
奥富地区	0.0%	6.8%	45.8%	23.7%	11.9%	11.9%	59
柏原地区	3.0%	5.0%	43.6%	32.7%	5.9%	9.9%	101
水富地区	1.6%	12.6%	33.0%	33.5%	10.4%	8.8%	182
新狭山地区	0.0%	14.6%	31.3%	37.5%	8.3%	8.3%	48
狭山台地区	2.4%	12.9%	37.6%	23.5%	11.8%	11.8%	85
無回答	0.0%	8.3%	50.0%	8.3%	0.0%	33.3%	12
住居形態							
持家一戸建て	2.3%	9.4%	38.2%	32.2%	9.3%	8.6%	906
賃貸一戸建て	3.4%	10.3%	58.6%	20.7%	3.4%	3.4%	29
持家分譲マンション	2.7%	10.1%	35.6%	30.2%	8.7%	12.8%	149
民間賃貸マンション・アパート	8.0%	17.6%	31.2%	31.2%	8.8%	3.2%	125
公団(UK)賃貸住宅	0.0%	15.4%	46.2%	7.7%	15.4%	15.4%	13
県営住宅・市営住宅	7.1%	0.0%	57.1%	7.1%	14.3%	14.3%	14
社宅・公務員宿舎	0.0%	6.5%	38.7%	41.9%	3.2%	9.7%	31
同居・間借り・住み込み	0.0%	10.4%	44.8%	28.4%	6.0%	10.4%	67
その他	0.0%	18.2%	27.3%	27.3%	18.2%	9.1%	11
無回答	0.0%	13.3%	20.0%	13.3%	6.7%	46.7%	15
居住年数							
5年未満	5.5%	10.2%	32.3%	32.3%	12.6%	7.1%	127
5年～9年	3.8%	12.3%	31.1%	31.1%	14.2%	7.5%	106
10年～19年	1.4%	9.3%	36.4%	35.5%	11.2%	6.1%	214
20年～29年	2.5%	11.0%	42.7%	31.0%	7.1%	5.7%	281
30年以上	2.6%	10.0%	38.8%	29.5%	7.4%	11.7%	623
無回答	0.0%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%	55.6%	9

問 15 あなたが感じている「幸せ」について、次の6つの分野のうち、どの分野が強く関わっていると思いますか。あなたの「幸せ」への関わりが強いと感じるものから順に、その順位（1～6位）を、記入欄に直接記入してください。

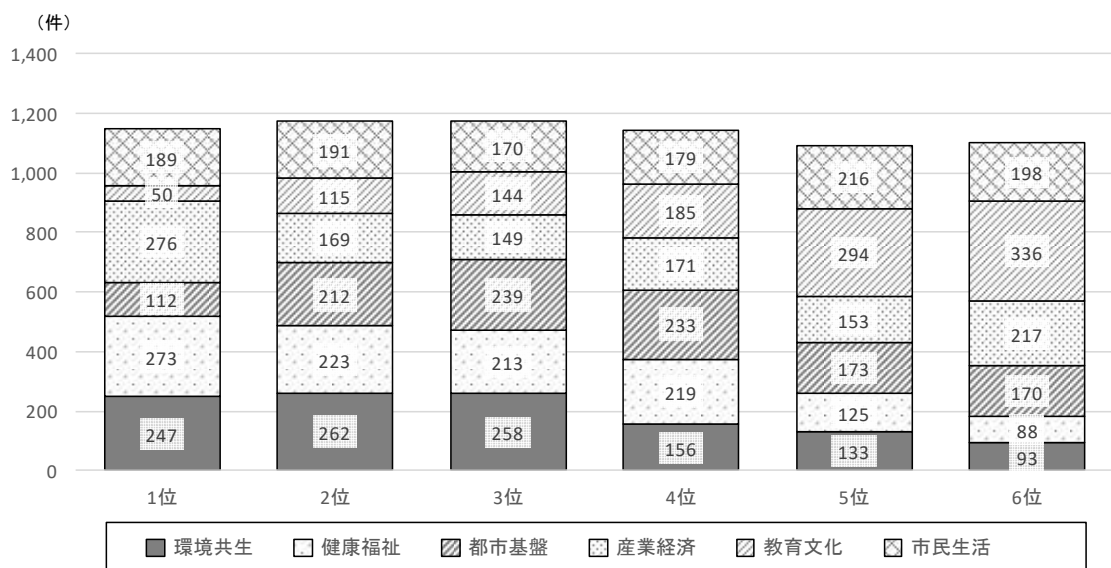
回答者の「幸せ」への関わりが強いと感じるものについて加重平均点を算出したところ、「環境共生」が3.42点で最も高く、ついで「健康福祉」(3.38点)、「産業経済」(3.04点)の順である。

施策分野	環境共生	健康福祉	都市基盤	産業経済	教育文化	市民生活
総数	1,360	1,360	1,360	1,360	1,360	1,360
1位	247	273	112	276	50	189
2位	262	223	212	169	115	191
3位	258	213	239	149	144	170
4位	156	219	233	171	185	179
5位	133	125	173	153	294	216
6位	93	88	170	217	336	198
無回答	211	219	221	225	236	217
評点	4,651	4,600	3,903	4,133	2,930	3,936
平均点	3.42	3.38	2.87	3.04	2.15	2.89

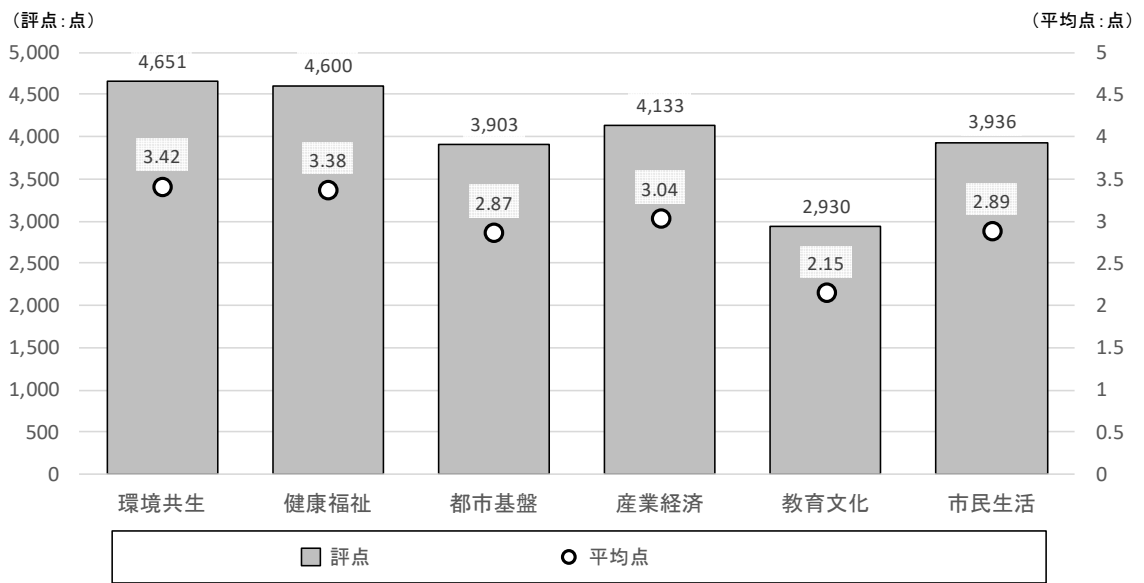
※「評点」は、施策分野ごとの各順位の度数に下記配点をそれぞれ乗じたものの総和であり、「平均点」は、その総和を総数で除した値である。

・配点：【1位：6点、2位：5点、3位：4点、4位：3点、5位：2点、6位：1点、無回答：0点】

■施策分野ごとの順位別度数



■施策分野ごとの加重評点と平均点の比較



■加重平均点のクロス集計

【性別】：「市民生活」では、女性の評点が男性よりも高くなっている。
 【年齢階級別】：「18～19歳」及び60歳以上の各階級においては「健康福祉」、その間の年齢階級では「産業経済」の評点が高くなっている。「環境共生」については各階級を通じて高い傾向にある。
 【世帯構成別】：高齢者がいる世帯では「健康福祉」、子どもがいる世帯では「産業経済」の評点が高い傾向にある。

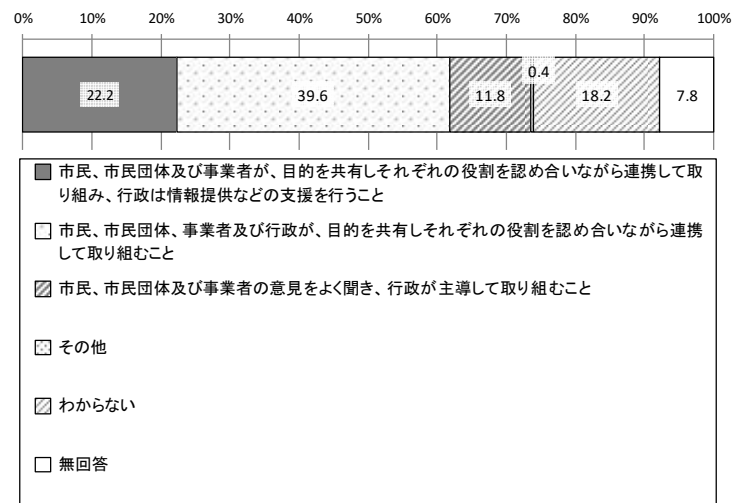
		環境共生	健康福祉	都市基盤	産業経済	教育文化	市民生活
総数		3.420	3.382	2.870	3.039	2.154	2.894
性別	男性	3.530	3.417	3.019	3.104	2.168	2.761
	女性	3.406	3.409	2.815	3.045	2.194	3.044
年齢階級別	18歳～19歳	3.436	3.513	2.923	2.744	2.590	3.000
	20歳～24歳	3.465	3.169	2.451	3.183	3.070	3.099
	25歳～29歳	3.616	3.058	2.837	3.174	2.360	2.698
	30歳～34歳	3.277	3.208	3.208	3.644	2.099	2.416
	35歳～39歳	3.388	3.214	2.971	3.427	2.340	3.019
	40歳～44歳	3.357	3.276	3.102	3.173	2.276	3.051
	45歳～49歳	3.473	3.438	3.054	3.598	2.348	2.938
	50歳～54歳	3.455	3.313	3.192	3.687	2.323	2.545
	55歳～59歳	3.292	3.146	2.809	3.472	2.034	2.876
	60歳～64歳	3.429	3.792	2.844	3.299	2.169	3.221
	65歳～69歳	3.583	3.705	2.935	2.935	1.863	3.079
	70歳～74歳	3.471	3.586	2.664	2.300	1.714	2.957
75歳以上	3.318	3.434	2.601	2.111	1.944	2.904	
世帯構成別	乳幼児・未就学児	3.038	3.045	2.417	3.288	2.530	2.962
	小学生・中学生	3.220	3.183	2.694	3.409	2.995	2.984
	高校生・大学生	3.287	3.052	2.741	3.138	2.586	2.730
	65歳以上74歳以下の方	3.459	3.640	2.888	2.973	1.931	2.825
	75歳以上の方	3.453	3.483	2.985	2.713	2.053	3.019
1～5の該当者はいない		3.414	3.329	2.960	3.156	2.042	2.797
職業別	農林業	4.333	2.833	2.000	3.667	1.500	3.167
	自営業	3.364	3.218	2.455	3.255	1.709	2.491
	会社または団体の役員	3.310	2.276	2.966	3.379	2.034	2.345
	会社員または団体職員(正社員)	3.463	3.175	3.006	3.560	2.273	2.721
	国家公務員または地方公務員	3.614	3.529	3.271	3.571	2.529	2.671
	派遣社員・パート・アルバイト	3.444	3.420	2.848	3.350	2.140	2.911
	専業主婦・専業主夫	3.302	3.462	2.834	2.774	2.171	3.196
	学生・生徒	3.561	3.606	2.833	2.727	2.864	3.152
	無職	3.369	3.648	2.828	2.217	1.966	2.990
	その他	3.750	3.125	2.583	3.458	1.667	3.375
通勤通学先	自宅	3.680	3.200	2.540	3.060	1.980	2.760
	狭山市内	3.470	3.153	2.922	3.338	2.402	2.875
	狭山市以外の埼玉県内	3.366	3.187	2.948	3.463	2.101	2.791
	東京都(23区内)	3.508	3.592	3.054	3.431	2.292	2.877
	東京都(23区外)	3.622	3.486	2.905	3.568	2.338	2.514
その他	3.130	3.652	2.565	3.696	1.826	2.609	
居住地区別	入間川地区	3.469	3.162	2.882	2.993	2.099	2.790
	入管地区	3.350	3.538	2.780	3.140	2.204	2.943
	堀兼地区	3.413	3.389	2.730	3.071	2.302	2.937
	奥富地区	3.424	3.017	2.475	2.814	1.847	2.847
	柏原地区	3.475	3.683	2.960	2.743	2.178	3.050
	水富地区	3.324	3.407	2.995	3.231	2.170	2.879
	新狭山地区	3.854	3.750	3.229	3.583	2.396	2.979
	狭山台地区	3.482	3.776	3.153	2.776	2.247	3.153
住居種類別	持家一戸建て	3.390	3.471	2.797	3.047	2.205	2.919
	賃貸一戸建て	2.586	2.724	2.517	2.138	2.207	3.207
	持家分譲マンション	3.872	3.342	3.255	2.987	1.973	2.926
	民間賃貸マンション・アパート	3.392	3.160	3.032	3.576	2.040	2.728
	公団(UR)賃貸住宅	3.692	3.692	3.462	2.923	2.308	2.615
	県営住宅・市営住宅	2.714	3.143	2.500	1.857	1.214	2.429
	社宅・公務員宿舎	3.645	3.097	3.323	3.097	2.548	2.742
	同居・間借り・住み込み	3.493	3.269	2.866	3.030	2.254	3.000
	その他	3.636	3.636	2.727	2.000	1.818	3.545
	5年未満	3.346	3.094	2.913	3.457	1.953	2.701
	5年～9年	3.189	3.038	2.991	3.189	2.198	2.519
	10年～19年	3.341	3.374	2.827	3.364	2.561	2.799
20年～29年	3.577	3.491	2.943	3.242	2.456	2.986	
30年以上	3.454	3.474	2.846	2.745	1.929	3.006	

狭山市では、今年4月に「狭山市協働によるまちづくり条例」を施行し、「協働によるまちづくり」をさらに推進しています。

問16 あなたは、「協働」とはどのようなものだとお考えですか。今のお考えに一番近いと思うものを1つ選び、あてはまる番号に○印をおつけください。

回答者が考える「協働」とは、「市民、市民団体、事業者及び行政が、目的を共有しそれぞれの役割を認め合いながら連携して取り組むこと」が39.6%で最も多く、ついで「市民、市民団体及び事業者が、目的を共有しそれぞれの役割を認め合いながら連携して取り組み、行政は情報提供などの支援を行うこと」(22.2%)、「わからない」(18.2%)の順である。

項目	件数	割合
市民、市民団体及び事業者が、目的を共有しそれぞれの役割を認め合いながら連携して取り組み、行政は情報提供などの支援を行うこと	302	22.2%
市民、市民団体、事業者及び行政が、目的を共有しそれぞれの役割を認め合いながら連携して取り組むこと	538	39.6%
市民、市民団体及び事業者の意見をよく聞き、行政が主導して取り組むこと	161	11.8%
その他	5	0.4%
わからない	248	18.2%
無回答	106	7.8%
合計	1,360	-



【その他】・行政にしかできない取り組み、市民にしかできない事がしっかり区分されている上でそれだけのことができることが全うされてはじめて協働かと。

・狭山市は協働をどう定義しているのかをまず提示して、その協働実現のために何をしているのかを説明すべきでは？市民個人が協働をどう考えるかを聞いてどうするのか？

・直接、市民と行政のコミュニティを作るべき。行政はよりよい市民生活出来る社会作りを進めること。等

■クロス集計

【性別】：住民としての主体性を伴った「協働」の定義に対する理解度としては、男女とも60%を超えている。主体性の強さでは、女性の方がやや高い傾向が見られる。

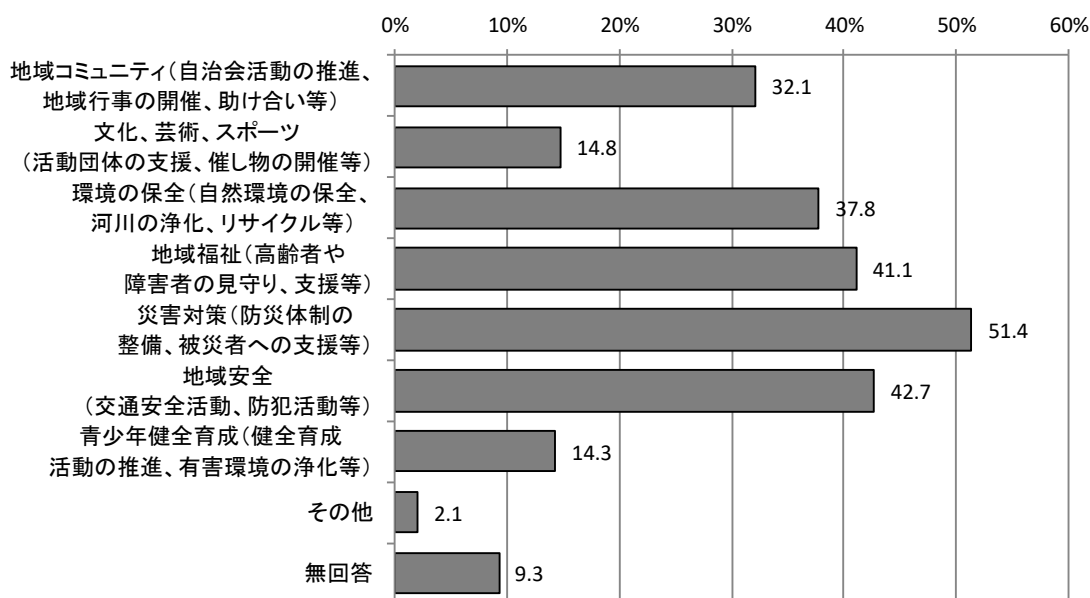
【年齢階級別】：69歳以下の各階級では「協働」の定義に対する理解度が60%を超えている。一方、「わからない」とする回答群が、各階級に15~25%ほど存在している。

	支援し て行うこと	市民、 市民団 体及び 事業者 が、目 的を 共有し た上で 協働す ること	市民、 市民団 体及び 事業者 が、目 的を 共有し た上で 協働す ること	市民、 市民団 体及び 事業者 が、目 的を 共有し た上で 協働す ること	市民、 市民団 体及び 事業者 が、目 的を 共有し た上で 協働す ること	市民、 市民団 体及び 事業者 が、目 的を 共有し た上で 協働す ること	無 回 答	総 数
総数	22.2%	39.6%	11.8%	0.4%	18.2%	7.8%	1,360	
性別	男性	21.9%	42.2%	13.2%	0.5%	15.7%	585	
	女性	23.7%	38.4%	9.3%	0.3%	19.9%	687	
回答たくない	回答たくない	7.7%	7.7%	23.1%	0.0%	46.2%	13	
	無回答	13.3%	34.7%	22.7%	0.0%	17.3%	75	
年齢階級	18歳～19歳	23.1%	41.0%	5.1%	0.0%	25.6%	39	
	20歳～24歳	28.2%	38.0%	7.0%	1.4%	23.9%	71	
	25歳～29歳	19.8%	40.7%	14.0%	1.2%	16.3%	86	
	30歳～34歳	25.7%	36.6%	9.9%	0.0%	20.8%	101	
	35歳～39歳	18.4%	53.4%	7.8%	0.0%	18.4%	103	
	40歳～44歳	24.5%	41.8%	13.3%	0.0%	15.3%	98	
	45歳～49歳	23.2%	38.4%	19.6%	0.0%	14.3%	112	
	50歳～54歳	28.3%	40.4%	13.1%	0.0%	15.2%	99	
	55歳～59歳	20.2%	41.6%	13.5%	1.1%	19.1%	89	
	60歳～64歳	22.1%	42.9%	13.0%	0.0%	14.3%	77	
	65歳～69歳	22.3%	44.6%	6.5%	0.7%	19.4%	139	
	70歳～74歳	22.1%	36.4%	11.4%	0.7%	19.3%	140	
	75歳以上	17.2%	30.3%	14.1%	0.0%	19.7%	198	
	無回答	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	50.0%	8
世帯構成	乳幼児・未就学児	15.9%	47.0%	9.1%	0.0%	22.7%	132	
	小学生・中学生	26.9%	45.2%	9.1%	0.0%	14.5%	186	
	高校生・大学生	28.2%	37.9%	11.5%	0.6%	14.4%	174	
	65歳以上74歳以下の方	22.7%	38.4%	12.4%	0.9%	16.9%	331	
	75歳以上の方	20.0%	35.8%	14.7%	0.0%	18.5%	265	
	1～5の該当者はいない	22.4%	40.1%	11.4%	0.2%	19.4%	474	
	無回答	8.6%	42.9%	11.4%	0.0%	17.1%	35	
職業	農林業	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	6	
	自営業	16.4%	38.2%	18.2%	0.0%	16.4%	55	
	会社または団体の役員	17.2%	34.5%	13.8%	0.0%	24.1%	29	
	会社員または団体職員(正社員)	24.4%	41.7%	13.2%	0.9%	16.1%	348	
	国家公務員または地方公務員	24.3%	50.0%	8.6%	0.0%	12.9%	70	
	派遣社員・パート・アルバイト	25.3%	37.0%	12.5%	0.0%	18.3%	257	
	専業主婦・専業主夫	23.1%	35.7%	11.6%	0.5%	20.1%	199	
	学生・生徒	27.3%	40.9%	6.1%	0.0%	22.7%	66	
	無職	17.9%	39.3%	11.4%	0.3%	20.0%	290	
	その他	8.3%	45.8%	8.3%	0.0%	20.8%	24	
	無回答	12.5%	43.8%	6.3%	0.0%	6.3%	31.3%	16
	総数	23.6%	40.5%	12.2%	0.4%	17.4%	6.0%	855
	通勤 通学先	自宅	20.0%	30.0%	18.0%	0.0%	20.0%	50
狭山市内		23.5%	41.3%	10.3%	0.4%	16.7%	281	
狭山市以外の埼玉県内		26.5%	38.4%	12.7%	0.0%	19.4%	268	
東京都(23区内)		20.8%	43.1%	9.2%	0.0%	20.8%	130	
東京都(23区外)		21.6%	48.6%	16.2%	1.4%	8.1%	74	
その他		26.1%	52.2%	8.7%	0.0%	8.7%	23	
無回答		20.7%	27.6%	20.7%	3.4%	17.2%	10.3%	29
総数	22.2%	39.6%	11.8%	0.4%	18.2%	7.8%	1,360	
居住 地区	人間川地区	22.6%	40.0%	11.1%	0.5%	16.4%	433	
	入管地区	22.6%	34.7%	14.3%	0.3%	22.3%	314	
	堀兼地区	19.0%	40.5%	11.9%	0.8%	20.6%	126	
	奥富地区	22.0%	39.0%	5.1%	0.0%	22.0%	59	
	柏原地区	23.8%	40.6%	15.8%	0.0%	12.9%	101	
	水富地区	23.6%	42.9%	10.4%	0.5%	14.8%	182	
	新狭山地区	29.2%	39.6%	8.3%	0.0%	20.8%	48	
	狭山台地区	16.5%	47.1%	10.6%	0.0%	20.0%	85	
無回答	8.3%	33.3%	16.7%	0.0%	8.3%	33.3%	12	
住居 形態	持家一戸建て	22.0%	41.1%	11.6%	0.2%	17.3%	906	
	賃貸一戸建て	27.6%	31.0%	10.3%	0.0%	24.1%	29	
	持家分譲マンション	21.5%	38.9%	10.7%	0.7%	16.8%	149	
	民間賃貸マンション・アパート	24.8%	36.8%	15.2%	0.8%	19.2%	125	
	公団(UR)賃貸住宅	15.4%	23.1%	15.4%	0.0%	46.2%	13	
	県営住宅・市営住宅	14.3%	42.9%	7.1%	0.0%	35.7%	14	
	社宅・公務員宿舎	29.0%	41.9%	9.7%	0.0%	16.1%	31	
	同居・間借り・住み込み	25.4%	34.3%	14.9%	1.5%	19.4%	67	
その他	18.2%	36.4%	0.0%	0.0%	27.3%	18.2%	11	
無回答	0.0%	26.7%	13.3%	0.0%	20.0%	40.0%	15	
居住 年数	5年未満	20.5%	35.4%	11.8%	0.0%	29.1%	127	
	5年～9年	13.2%	52.8%	4.7%	0.0%	22.6%	106	
	10年～19年	24.8%	43.9%	9.8%	0.0%	16.4%	214	
	20年～29年	21.4%	39.5%	13.2%	1.4%	17.8%	281	
	30年以上	23.9%	36.9%	13.3%	0.2%	16.4%	623	
	無回答	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	77.8%	9

問 17 協働により取り組むことが重要だと思うことを、次の中から最大3つまで選び、あてはまる番号に○印をおつけください。

回答者が協働により取り組むことが重要だと思うものは、「災害対策(防災体制の整備、被災者への支援等)」が51.4%で最も多く、ついで「地域安全(交通安全活動、防犯活動等)」(42.7%)、「地域福祉(高齢者や障害者の見守り、支援等)」(41.1%)の順である。

項目	今回結果		前回結果	
	件数	割合	件数	割合
地域コミュニティ(自治会活動の推進、地域行事の開催、助け合い等)	437	32.1%	500	32.9%
文化、芸術、スポーツ(活動団体の支援、催し物の開催等)	201	14.8%	243	16.0%
環境の保全(自然環境の保全、河川の浄化、リサイクル等)	514	37.8%	623	41.0%
地域福祉(高齢者や障害者の見守り、支援等)	559	41.1%	702	46.2%
災害対策(防災体制の整備、被災者への支援等)	699	51.4%	665	43.8%
地域安全(交通安全活動、防犯活動等)	581	42.7%	652	42.9%
青少年健全育成(健全育成活動の推進、有害環境の浄化等)	195	14.3%	308	20.3%
その他	28	2.1%	38	2.5%
無回答	126	9.3%	118	7.8%
合計	1,360	-	1,520	-



n=1,360

【その他】情報がないので分からない、高齢者の支援(見守り、交通対策など)、子育て支援、再開発など地域の活性化 等

■クロス集計

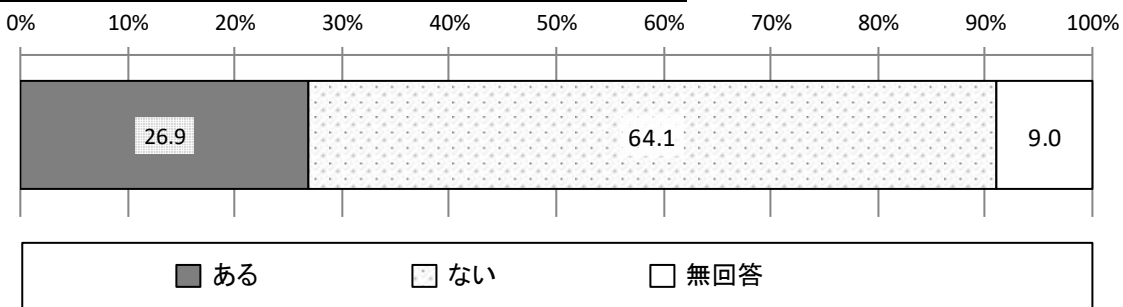
【性別】：男女とも、「災害対策」、「地域安全」、「地域福祉」の順に割合が高い。
 【年齢階級別】：「災害対策」、「地域安全」、「環境の保全」及び「地域福祉」をあげる割合は、年齢階級が上がるほど高まっている。

	進域、地域コミュニティの開催、助け合い等	文化、芸術、スポーツ（活動団体の支援等）	環境の保全（自然環境の保全、河川の浄化、リサイクル等）	地域福祉（高齢者や障害者の見守り、支援等）	災害対策（防災対生の整備、被災者への支援等）	地域安全（交通安全活動、防犯活動等）	青少年健全育成（健全育成活動の推進、有害環境の浄化等）	その他	無回答	総数		
総数	32.1%	14.8%	37.8%	41.1%	51.4%	42.7%	14.3%	2.1%	9.3%	1,360		
性別	男性	33.2%	17.9%	39.3%	40.3%	52.3%	42.7%	12.1%	1.2%	585		
	女性	31.6%	12.8%	37.0%	41.6%	51.4%	44.0%	15.6%	2.5%	687		
	答えたくない	0.0%	7.7%	30.8%	15.4%	61.5%	23.1%	15.4%	15.4%	13		
	無回答	34.7%	9.3%	34.7%	46.7%	42.7%	34.7%	20.0%	2.7%	75		
年齢階級	18歳～19歳	35.9%	20.5%	30.8%	25.6%	59.0%	33.3%	12.8%	0.0%	39		
	20歳～24歳	35.2%	22.5%	31.0%	38.0%	54.9%	40.8%	9.9%	1.4%	71		
	25歳～29歳	31.4%	17.4%	37.2%	30.2%	53.5%	50.0%	12.8%	5.8%	86		
	30歳～34歳	25.7%	18.8%	34.7%	31.7%	60.4%	52.5%	15.8%	1.0%	101		
	35歳～39歳	32.0%	12.6%	42.7%	35.9%	54.4%	47.6%	18.4%	3.9%	103		
	40歳～44歳	32.7%	15.3%	36.7%	40.8%	42.9%	58.2%	11.2%	4.1%	98		
	45歳～49歳	34.8%	15.2%	34.8%	37.5%	52.7%	48.2%	8.9%	1.8%	112		
	50歳～54歳	27.3%	9.1%	26.3%	43.4%	66.7%	51.5%	17.2%	2.0%	99		
	55歳～59歳	25.8%	15.7%	36.0%	44.9%	55.1%	49.4%	11.2%	2.2%	89		
	60歳～64歳	32.5%	11.7%	41.6%	48.1%	62.3%	44.2%	6.5%	1.3%	77		
	65歳～69歳	34.5%	17.3%	45.3%	44.6%	49.6%	31.7%	19.4%	0.7%	139		
	70歳～74歳	30.0%	12.9%	47.1%	45.0%	47.1%	33.6%	18.6%	2.9%	140		
	75歳以上	37.9%	12.1%	36.9%	50.0%	36.4%	30.8%	15.2%	0.5%	198		
	無回答	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	37.5%	25.0%	12.5%	0.0%	50.0%	8	
	世帯構成	乳幼児・未就学児	31.8%	15.9%	30.3%	33.3%	50.0%	55.3%	18.9%	3.0%	6.8%	132
		小学生・中学生	29.6%	17.7%	38.2%	33.3%	52.2%	53.2%	20.4%	1.1%	5.9%	186
高校生・大学生		30.5%	14.4%	34.5%	37.9%	52.3%	45.4%	12.6%	1.7%	10.3%	174	
65歳以上74歳以下の方		31.7%	14.5%	40.5%	45.3%	52.6%	39.9%	16.0%	1.8%	8.8%	331	
75歳以上の方		36.6%	9.4%	40.0%	50.2%	47.9%	38.5%	13.2%	1.5%	10.9%	265	
1～5の該当者はいない		30.8%	17.1%	38.0%	40.7%	54.6%	42.6%	11.4%	2.3%	8.2%	474	
職業	無回答	34.3%	8.6%	45.7%	31.4%	40.0%	31.4%	11.4%	2.9%	25.7%	35	
	農林業	33.3%	0.0%	50.0%	66.7%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	6	
	自営業	30.9%	20.0%	41.8%	49.1%	40.0%	34.5%	14.5%	1.8%	7.3%	55	
	会社または団体の役員	24.1%	24.1%	31.0%	41.4%	37.9%	44.8%	17.2%	3.4%	10.3%	29	
	会社員または団体職員(正社員)	29.3%	16.1%	37.4%	35.3%	59.2%	49.1%	11.2%	2.3%	6.6%	348	
	国家公務員または地方公務員	37.1%	21.4%	35.7%	30.0%	52.9%	47.1%	15.7%	4.3%	5.7%	70	
	派遣社員・パート・アルバイト	30.0%	10.9%	35.8%	42.0%	52.9%	50.6%	13.2%	2.3%	8.9%	257	
	専業主婦・専業主夫	30.7%	11.6%	39.7%	43.7%	50.3%	38.7%	19.6%	1.5%	9.5%	199	
	学生・生徒	37.9%	22.7%	31.8%	31.8%	60.6%	40.9%	6.1%	0.0%	4.5%	66	
	無職	36.2%	14.8%	40.0%	49.0%	44.5%	33.8%	16.6%	2.1%	12.4%	290	
	その他	45.8%	8.3%	33.3%	37.5%	45.8%	37.5%	8.3%	0.0%	16.7%	24	
無回答	25.0%	6.3%	50.0%	31.3%	37.5%	12.5%	31.3%	0.0%	31.3%	16		
総数	31.2%	15.7%	36.4%	38.0%	54.3%	47.3%	12.0%	2.2%	7.7%	855		
通勤・通学先	自宅	26.0%	18.0%	50.0%	46.0%	46.0%	30.0%	10.0%	0.0%	8.0%	50	
	狹山市内	33.8%	15.3%	37.4%	36.7%	53.4%	49.1%	12.1%	2.5%	9.6%	281	
	狹山市以外の埼玉県内	28.7%	13.8%	33.6%	37.7%	55.6%	52.2%	13.1%	1.9%	6.0%	268	
	東京都(23区内)	33.1%	21.5%	35.4%	34.6%	56.2%	42.3%	8.5%	2.3%	7.7%	130	
	東京都(23区外)	32.4%	12.2%	29.7%	48.6%	55.4%	48.6%	14.9%	4.1%	6.8%	74	
	その他	26.1%	17.4%	39.1%	26.1%	47.8%	52.2%	13.0%	0.0%	8.7%	23	
無回答	31.0%	13.8%	48.3%	37.9%	58.6%	27.6%	13.8%	3.4%	6.9%	29		
総数	32.1%	14.8%	37.8%	41.1%	51.4%	42.7%	14.3%	2.1%	9.3%	1,360		
居住地	入間川地区	31.2%	14.3%	35.8%	39.0%	53.3%	43.2%	13.9%	1.8%	9.7%	433	
	入曽地区	29.3%	13.7%	38.2%	40.4%	50.6%	41.1%	14.6%	2.2%	9.9%	314	
	堀兼地区	42.9%	15.1%	38.1%	38.9%	46.8%	43.7%	17.5%	2.4%	6.3%	126	
	奥富地区	28.8%	10.2%	30.5%	47.5%	55.9%	39.0%	10.2%	1.7%	13.6%	59	
	柏原地区	38.6%	19.8%	42.6%	41.6%	48.5%	40.6%	10.9%	1.0%	9.9%	101	
	水富地区	29.7%	17.0%	42.3%	42.3%	54.9%	44.0%	12.6%	1.6%	8.8%	182	
	新狹山地区	25.0%	14.6%	45.8%	45.8%	50.0%	52.1%	20.8%	2.1%	2.1%	48	
	狹山台地区	38.8%	12.9%	31.8%	48.2%	47.1%	44.7%	17.6%	3.5%	7.1%	85	
	無回答	8.3%	16.7%	33.3%	33.3%	33.3%	25.0%	16.7%	8.3%	33.3%	12	
	持家一戸建て	32.6%	15.3%	37.6%	41.8%	51.4%	41.5%	14.8%	1.8%	9.1%	906	
賃貸一戸建て	34.5%	6.9%	34.5%	34.5%	44.8%	34.5%	24.1%	0.0%	17.2%	29		
持家分譲マンション	31.5%	14.1%	36.9%	45.6%	55.7%	35.6%	12.1%	4.7%	10.1%	149		
民間賃貸マンション・アパート	32.8%	14.4%	34.4%	34.4%	52.0%	52.8%	16.8%	1.6%	5.6%	125		
公団(UR)賃貸住宅	30.8%	7.7%	46.2%	69.2%	38.5%	84.6%	7.7%	0.0%	0.0%	13		
県営住宅・市営住宅	14.3%	21.4%	35.7%	50.0%	57.1%	42.9%	21.4%	7.1%	7.1%	14		
社宅・公務員宿舎	35.5%	12.9%	51.6%	25.8%	58.1%	54.8%	9.7%	0.0%	9.7%	31		
同居・間借り・住み込み	29.9%	11.9%	46.3%	37.3%	55.2%	50.7%	9.0%	3.0%	7.5%	67		
その他	36.4%	36.4%	27.3%	54.5%	9.1%	36.4%	0.0%	0.0%	18.2%	11		
無回答	20.0%	6.7%	26.7%	26.7%	20.0%	26.7%	13.3%	0.0%	40.0%	15		
居住年数	5年未満	29.1%	15.0%	39.4%	32.3%	53.5%	45.7%	8.7%	2.4%	9.4%	127	
	5年～9年	27.4%	17.0%	39.6%	35.8%	43.4%	48.1%	19.8%	3.8%	8.5%	106	
	10年～19年	29.9%	16.8%	37.9%	33.2%	57.0%	45.3%	14.5%	1.4%	6.1%	214	
	20年～29年	28.1%	15.3%	34.5%	43.4%	55.9%	44.8%	15.3%	2.1%	9.6%	281	
	30年以上	36.4%	13.5%	39.0%	45.7%	49.1%	39.6%	14.3%	1.9%	9.5%	623	
無回答	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	66.7%	9		

問 18 あなたは、これまでに市民活動（ボランティア団体、NPO 等の活動）・地域活動に参加した（参加している）ことがありますか。あてはまる番号 1つ に○印をおつけください。

回答者の市民活動(ボランティア団体、NPO 等の活動)・地域活動への参加経験については、「ない」が 64.1%、「ある」が 26.9%である。

項目	今回調査		前回調査	
	件数	割合	件数	割合
ある	366	26.9%	431	28.4%
ない	872	64.1%	951	62.6%
無回答	122	9.0%	138	9.1%
合計	1,360	-	1,520	-



n=1,360

■クロス集計

【性別】：女性の方がやや高い。
 【年齢階級別】：「18歳～19歳」で33.3%となっている他、50歳以上の各階級で25%、60歳以上の各階級では30%を超えている。割合としては「65歳～69歳」がピークとなっている。
 【職業別】：会社員等被用者の割合が低くなっている。
 【通勤通学先】：自宅以外へ通勤・通学している回答群の「ある」とする割合は低い。
 【居住地区別】：堀兼、柏原及び入曽地区で高い傾向が見られる。

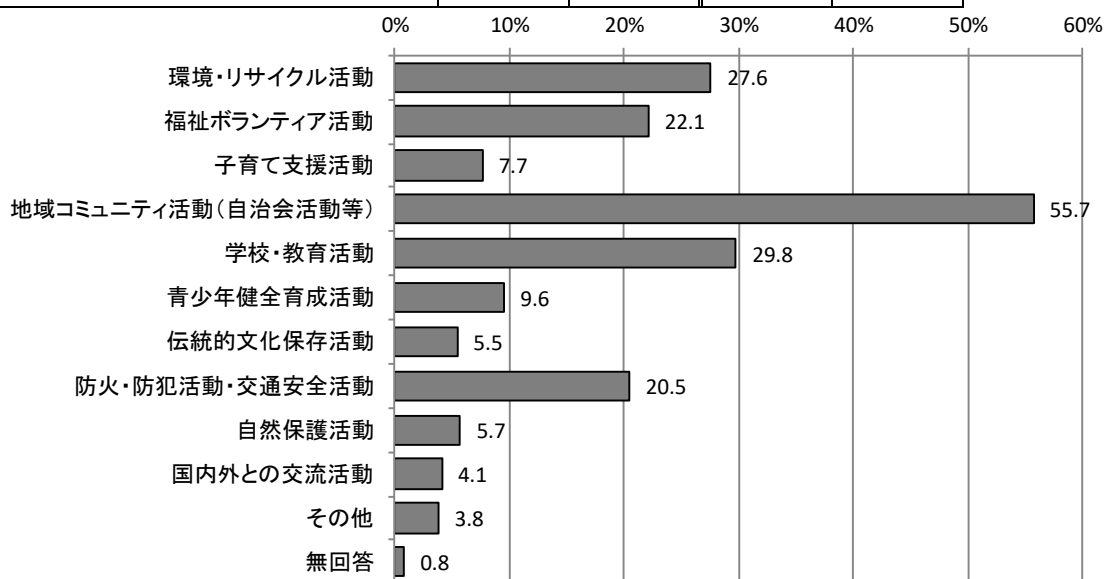
	ある	ない	無回答	総数
総数	26.9%	64.1%	9.0%	1,360
性別				
男性	25.6%	66.3%	8.0%	585
女性	28.2%	62.9%	8.9%	687
答えたくない	23.1%	61.5%	15.4%	13
無回答	25.3%	58.7%	16.0%	75
年齢階級				
18歳～19歳	33.3%	61.5%	5.1%	39
20歳～24歳	16.9%	78.9%	4.2%	71
25歳～29歳	16.3%	77.9%	5.8%	86
30歳～34歳	20.8%	74.3%	5.0%	101
35歳～39歳	23.3%	73.8%	2.9%	103
40歳～44歳	17.3%	73.5%	9.2%	98
45歳～49歳	21.4%	71.4%	7.1%	112
50歳～54歳	25.3%	71.7%	3.0%	99
55歳～59歳	28.1%	66.3%	5.6%	89
60歳～64歳	32.5%	55.8%	11.7%	77
65歳～69歳	39.6%	51.8%	8.6%	139
70歳～74歳	35.0%	51.4%	13.6%	140
75歳以上	31.3%	51.0%	17.7%	198
無回答	0.0%	50.0%	50.0%	8
世帯構成				
乳幼児・未就学児	22.7%	72.0%	5.3%	132
小学生・中学生	31.7%	61.3%	7.0%	186
高校生・大学生	27.0%	63.2%	9.8%	174
65歳以上74歳以下の方	32.3%	57.1%	10.6%	331
75歳以上の方	27.2%	60.0%	12.8%	265
1～5の該当者はいない	22.8%	71.3%	5.9%	474
無回答	25.7%	51.4%	22.9%	35
職業				
農林業	33.3%	66.7%	0.0%	6
自営業	34.5%	56.4%	9.1%	55
会社または団体の役員	34.5%	48.3%	17.2%	29
会社または団体職員(正社員)	19.3%	75.3%	5.5%	348
国家公務員または地方公務員	27.1%	65.7%	7.1%	70
派遣社員・パート・アルバイト	24.9%	69.3%	5.8%	257
専業主婦・専業主夫	30.7%	56.8%	12.6%	199
学生・生徒	27.3%	68.2%	4.5%	66
無職	32.4%	55.2%	12.4%	290
その他	33.3%	54.2%	12.5%	24
無回答	25.0%	37.5%	37.5%	16
通勤・通学先				
自宅	44.0%	50.0%	6.0%	50
狭山市内	25.6%	65.8%	8.5%	281
狭山市以外の埼玉県内	20.1%	76.9%	3.0%	268
東京都(23区内)	22.3%	70.8%	6.9%	130
東京都(23区外)	20.3%	68.9%	10.8%	74
その他	26.1%	69.6%	4.3%	23
無回答	31.0%	62.1%	6.9%	29
居住地区				
入間川地区	24.0%	67.4%	8.5%	433
入曽地区	28.3%	64.0%	7.6%	314
堀兼地区	39.7%	50.0%	10.3%	126
奥富地区	20.3%	69.5%	10.2%	59
柏原地区	31.7%	58.4%	9.9%	101
水富地区	25.3%	66.5%	8.2%	182
新狭山地区	25.0%	70.8%	4.2%	48
狭山台地区	22.4%	64.7%	12.9%	85
無回答	16.7%	50.0%	33.3%	12
住居形態				
持家一戸建て	29.4%	61.5%	9.2%	906
賃貸一戸建て	41.4%	48.3%	10.3%	29
持家分譲マンション	26.2%	64.4%	9.4%	149
民間賃貸マンション・アパート	18.4%	78.4%	3.2%	125
公団(UR)賃貸住宅	0.0%	92.3%	7.7%	13
県営住宅・市営住宅	14.3%	78.6%	7.1%	14
社宅・公務員宿舎	9.7%	83.9%	6.5%	31
同居・間借り・住み込み	25.4%	67.2%	7.5%	67
その他	27.3%	54.5%	18.2%	11
無回答	6.7%	46.7%	46.7%	15
居住年数				
5年未満	15.7%	78.0%	6.3%	127
5年～9年	15.1%	80.2%	4.7%	106
10年～19年	22.4%	69.6%	7.9%	214
20年～29年	28.8%	64.1%	7.1%	281
30年以上	32.3%	57.1%	10.6%	623
無回答	0.0%	33.3%	66.7%	9

※問 18 で“「ある」”を選択された方にお聞きします。

問 18-1 参加した（参加している）活動は、次のうちどれですか。次の中からあてはまる番号
すべてに○印をおつけください。（複数回答可）

回答者が参加した（参加している）活動としては、「地域コミュニティ活動（自治会活動等）」が
55.7%で最も多く、ついで「学校・教育活動」（29.8%）、「環境・リサイクル活動」（27.6%）の順で
ある。

項目	今回調査		前回調査	
	件数	割合	件数	割合
環境・リサイクル活動	101	27.6%	129	29.9%
福祉ボランティア活動	81	22.1%	116	26.9%
子育て支援活動	28	7.7%	47	10.9%
地域コミュニティ活動（自治会活動等）	204	55.7%	280	65.0%
学校・教育活動	109	29.8%	138	32.0%
青少年健全育成活動	35	9.6%	37	8.6%
伝統的文化保存活動	20	5.5%	27	6.3%
防火・防犯活動・交通安全活動	75	20.5%	117	27.1%
自然保護活動	21	5.7%	30	7.0%
国内外との交流活動	15	4.1%	20	4.6%
その他	14	3.8%	24	5.6%
無回答	3	0.8%	0	0.0%
合計	366	-	431	-



n=366

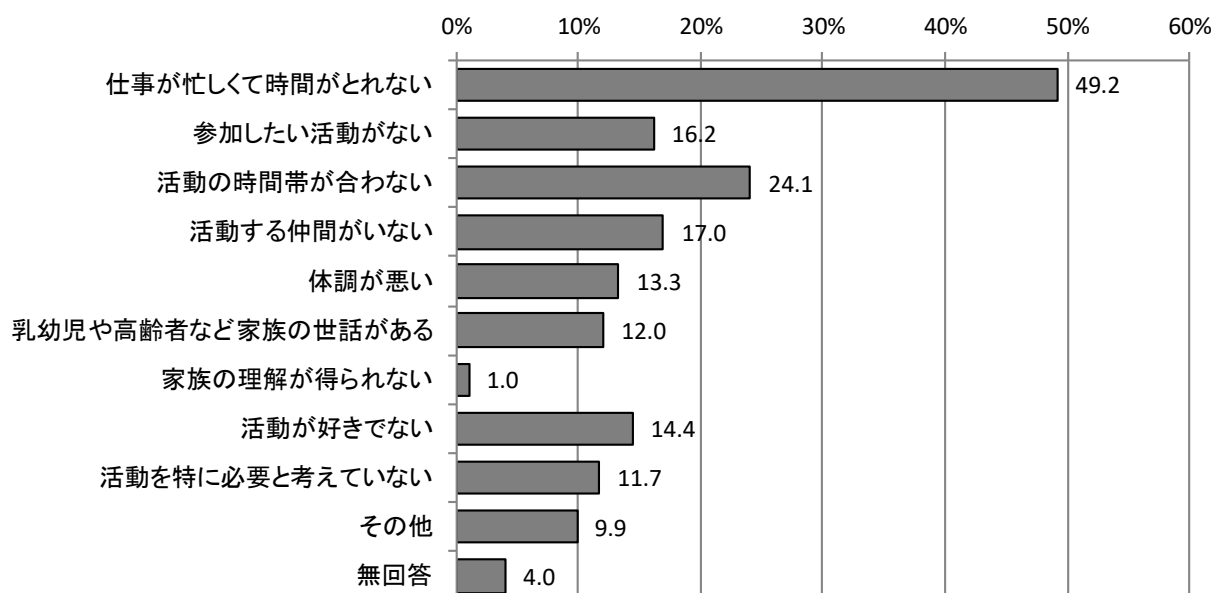
【その他】防災、防犯ボランティア、応急手当普及員、体育指導員、敬老活動 等

※問 18 で“「ない」”を選択された方にお聞きします。

問 18-2 活動に参加しなかった（参加しない）理由は、次のうちどれですか。次の中から**最大3つまで選び**、あてはまる番号に○印をおつけください。

回答者が活動に参加しなかった理由としては、「仕事が忙しくて時間がとれない」が 49.2% で最も多く、ついで「活動の時間帯が合わない」(24.1%)、「活動する仲間がいない」(17.0%) の順である。

項目	今回調査		前回調査	
	件数	割合	件数	割合
仕事が忙しくて時間がとれない	429	49.2%	453	47.6%
参加したい活動がない	141	16.2%	195	20.5%
活動の時間帯が合わない	210	24.1%	243	25.6%
活動する仲間がいない	148	17.0%	212	22.3%
体調が悪い	116	13.3%	170	17.9%
乳幼児や高齢者など家族の世話がある	105	12.0%	106	11.1%
家族の理解が得られない	9	1.0%	16	1.7%
活動が好きでない	126	14.4%	134	14.1%
活動を特に必要と考えていない	102	11.7%	97	10.2%
その他	86	9.9%	112	11.8%
無回答	35	4.0%	18	1.9%
合計	872	-	951	-



n=872

【その他】情報が無い(いつ、どこで、どんなことをやっているのか)、自分がやりたいことがない、子育てで時間が取れない 等

■クロス集計

【性別】：男女とも「仕事が忙しくて時間が取れない」が最も多い。
 【年齢階級別】：74歳以下の各階級では「仕事が忙しくて時間が取れない」、「75歳以上」では「体調が悪い」がそれぞれ最も多い。「体調が悪い」については、60歳以上の各階級で増加傾向が見られる。

	仕事が忙しくて時間が取れない	参加したい活動がない	活動の時間帯が合わない	活動する仲間がない	体調が悪い	乳幼児や高齢者など 家族の世話がある	家族の理解が得られない	活動が好きでない	活動を特に必要と考えていない	その他	無回答	総数		
総数	49.2%	16.2%	24.1%	17.0%	13.3%	12.0%	1.0%	14.4%	11.7%	9.9%	4.0%	872		
性別	男性	53.9%	17.5%	26.8%	20.6%	11.6%	6.2%	0.0%	16.0%	14.9%	7.5%	388		
	女性	46.1%	14.1%	21.8%	14.6%	14.1%	18.1%	2.1%	12.7%	9.3%	11.6%	432		
	答えたくない	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	37.5%	0.0%	8		
	無回答	38.6%	22.7%	27.3%	11.4%	20.5%	6.8%	0.0%	20.5%	6.8%	9.1%	44		
年齢階級	18歳～19歳	33.3%	25.0%	33.3%	12.5%	4.2%	0.0%	12.5%	16.7%	8.3%	0.0%	24		
	20歳～24歳	50.0%	19.6%	28.6%	26.8%	3.6%	0.0%	0.0%	7.1%	12.5%	14.3%	56		
	25歳～29歳	64.2%	10.4%	29.9%	9.0%	1.5%	10.4%	0.0%	3.0%	11.9%	11.9%	67		
	30歳～34歳	65.3%	13.3%	22.7%	17.3%	2.7%	20.0%	0.0%	16.0%	14.7%	13.3%	75		
	35歳～39歳	56.6%	11.8%	15.8%	13.2%	9.2%	30.3%	1.3%	18.4%	13.2%	9.2%	76		
	40歳～44歳	55.6%	13.9%	23.6%	11.1%	12.5%	18.1%	1.4%	15.3%	9.7%	6.9%	4.2%	72	
	45歳～49歳	66.3%	18.8%	26.3%	22.5%	12.5%	7.5%	0.0%	21.3%	7.5%	6.3%	2.5%	80	
	50歳～54歳	57.7%	5.6%	16.9%	8.5%	9.9%	11.3%	1.4%	21.1%	15.5%	8.5%	0.0%	71	
	55歳～59歳	49.2%	15.3%	30.5%	18.6%	11.9%	10.2%	1.7%	11.9%	3.4%	10.2%	1.7%	59	
	60歳～64歳	44.2%	11.6%	23.3%	25.6%	20.9%	9.3%	2.3%	16.3%	7.0%	7.0%	7.0%	43	
	65歳～69歳	43.1%	25.0%	33.3%	22.2%	16.7%	15.3%	1.4%	6.9%	9.7%	6.9%	5.6%	72	
	70歳～74歳	25.0%	20.8%	15.3%	13.9%	23.6%	6.9%	2.8%	20.8%	18.1%	8.3%	9.7%	72	
	75歳以上	23.8%	20.8%	21.8%	18.8%	30.7%	6.9%	1.0%	13.9%	12.9%	14.9%	8.9%	101	
	無回答	75.0%	25.0%	50.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4	
世帯構成	乳幼児・未就学児	58.9%	5.3%	17.9%	8.4%	6.3%	53.7%	0.0%	9.5%	7.4%	7.4%	95		
	小学生・中学生	54.4%	14.9%	16.7%	7.0%	7.9%	22.8%	2.6%	10.5%	7.0%	6.1%	4.4%	114	
	高校生・大学生	60.9%	13.6%	23.6%	17.3%	9.1%	7.3%	1.8%	17.3%	10.0%	1.8%	1.8%	110	
	65歳以上74歳以下の方	45.5%	20.1%	24.9%	20.1%	18.0%	8.5%	0.5%	14.8%	10.1%	6.9%	5.3%	189	
	75歳以上の方	35.8%	14.5%	25.2%	18.2%	18.9%	12.6%	1.9%	18.2%	16.4%	15.7%	3.8%	159	
1～5の該当者はいない	52.7%	17.5%	28.1%	18.6%	13.0%	4.4%	0.6%	12.7%	13.0%	10.7%	3.8%	338		
無回答	55.6%	11.1%	38.9%	16.7%	11.1%	5.6%	0.0%	16.7%	11.1%	16.7%	0.0%	18		
職業	農林業	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	4		
	自営業	71.0%	6.5%	19.4%	16.1%	6.5%	19.4%	0.0%	9.7%	16.1%	6.5%	31		
	会社または団体の役員	71.4%	0.0%	21.4%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	21.4%	0.0%	14	
	会社員または団体職員(正社員)	72.5%	11.5%	28.3%	15.3%	3.1%	6.1%	0.0%	14.1%	10.7%	9.5%	2.7%	262	
	国家公務員または地方公務員	76.1%	17.4%	23.9%	10.9%	6.5%	13.0%	0.0%	15.2%	15.2%	6.5%	2.2%	46	
	派遣社員・パート・アルバイト	58.4%	18.0%	28.7%	19.1%	14.0%	14.0%	1.7%	13.5%	9.6%	8.4%	1.1%	178	
	専業主婦・専業主夫	15.9%	15.0%	15.0%	16.8%	17.7%	31.0%	3.5%	18.6%	8.8%	11.5%	5.3%	113	
	学生・生徒	31.1%	24.4%	37.8%	26.7%	2.2%	0.0%	0.0%	13.3%	15.6%	13.3%	2.2%	45	
	無職	14.4%	21.3%	18.1%	20.0%	34.4%	9.4%	1.3%	15.0%	15.6%	10.6%	7.5%	160	
	その他	53.8%	23.1%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%	23.1%	7.7%	23.1%	13	
	無回答	50.0%	50.0%	66.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	6	
	通勤・通学先	自宅	64.9%	14.7%	27.0%	16.4%	6.7%	9.1%	0.5%	13.7%	11.3%	9.3%	2.9%	593
		狭山市内	60.0%	8.0%	12.0%	8.0%	8.0%	12.0%	0.0%	4.0%	16.0%	4.0%	16.0%	25
		狭山市以外の埼玉県内	72.4%	17.8%	30.8%	19.5%	7.6%	12.4%	1.6%	14.6%	8.6%	7.0%	0.0%	185
東京都(23区内)		62.1%	12.6%	27.7%	15.5%	6.3%	7.3%	0.0%	13.1%	10.7%	9.2%	3.9%	206	
東京都(23区外)		63.0%	14.1%	21.7%	18.5%	3.3%	6.5%	0.0%	13.0%	14.1%	14.1%	1.1%	92	
その他		68.6%	9.8%	31.4%	9.8%	5.9%	9.8%	0.0%	19.6%	9.8%	13.7%	2.0%	51	
無回答		56.3%	37.5%	31.3%	18.8%	0.0%	6.3%	0.0%	12.5%	18.8%	0.0%	6.3%	16	
総数	33.3%	11.1%	11.1%	11.1%	27.8%	5.6%	0.0%	11.1%	22.2%	11.1%	11.1%	18		
居住地	入間川地区	49.2%	16.2%	24.1%	17.0%	13.3%	12.0%	1.0%	14.4%	11.7%	9.9%	4.0%	872	
	入管地区	52.7%	16.1%	20.9%	19.5%	13.7%	9.9%	0.7%	13.7%	12.0%	9.2%	3.8%	292	
	堀兼地区	46.3%	11.9%	22.9%	16.4%	15.4%	10.0%	0.5%	18.4%	11.9%	10.9%	5.0%	201	
	奥富地区	49.2%	20.6%	28.6%	6.3%	9.5%	14.3%	3.2%	14.3%	19.0%	1.6%	1.6%	63	
	柏原地区	56.1%	17.1%	24.4%	12.2%	9.8%	12.2%	0.0%	4.9%	12.2%	4.9%	4.9%	41	
	水富地区	47.5%	15.3%	28.8%	22.0%	11.9%	18.6%	1.7%	16.9%	11.9%	5.1%	3.4%	59	
	新狭山地区	46.3%	18.2%	27.3%	11.6%	14.0%	15.7%	0.8%	9.1%	5.8%	14.9%	5.0%	121	
	狭山台地区	38.2%	23.5%	26.5%	23.5%	14.7%	8.8%	2.9%	14.7%	20.6%	14.7%	5.9%	34	
	無回答	54.5%	16.4%	25.5%	21.8%	10.9%	14.5%	1.8%	21.8%	9.1%	12.7%	1.8%	55	
	持家一戸建て	16.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	6	
	賃貸一戸建て	48.7%	17.1%	23.5%	15.6%	14.0%	13.6%	1.1%	14.9%	11.1%	10.4%	3.8%	557	
持家分譲マンション	14.3%	7.1%	28.6%	21.4%	14.3%	7.1%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	14		
民間賃貸マンション・アパート	42.7%	18.8%	21.9%	25.0%	12.5%	9.4%	1.0%	14.6%	10.4%	8.3%	6.3%	96		
公団(UR)賃貸住宅	57.1%	11.2%	28.6%	18.4%	10.2%	7.1%	1.0%	14.3%	14.3%	12.2%	3.1%	98		
県営住宅・市営住宅	58.3%	8.3%	16.7%	25.0%	25.0%	8.3%	0.0%	16.7%	8.3%	8.3%	8.3%	12		
社宅・公務員宿舎	45.5%	18.2%	9.1%	9.1%	36.4%	18.2%	9.1%	9.1%	18.2%	9.1%	0.0%	11		
同居・間借り・住み込み	69.2%	23.1%	23.1%	19.2%	0.0%	7.7%	0.0%	7.7%	23.1%	0.0%	0.0%	26		
その他	42.2%	8.9%	26.7%	11.1%	15.6%	11.1%	0.0%	13.3%	11.1%	11.1%	4.4%	45		
無回答	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	6		
5年未満	85.7%	14.3%	42.9%	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7		
5年～9年	56.6%	17.2%	15.2%	16.2%	8.1%	17.2%	0.0%	10.1%	14.1%	9.1%	1.0%	99		
10年～19年	56.5%	9.4%	30.6%	16.5%	12.9%	22.4%	0.0%	15.3%	11.8%	9.4%	2.4%	85		
20年～29年	51.0%	16.1%	22.8%	18.8%	8.1%	10.1%	0.7%	14.1%	8.7%	12.1%	3.4%	149		
30年以上	47.8%	13.9%	25.0%	17.2%	11.1%	5.0%	1.7%	13.3%	11.1%	10.0%	6.1%	180		
無回答	44.9%	18.5%	24.7%	16.6%	18.0%	12.6%	1.4%	16.3%	12.6%	9.3%	4.5%	356		
総数	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3		

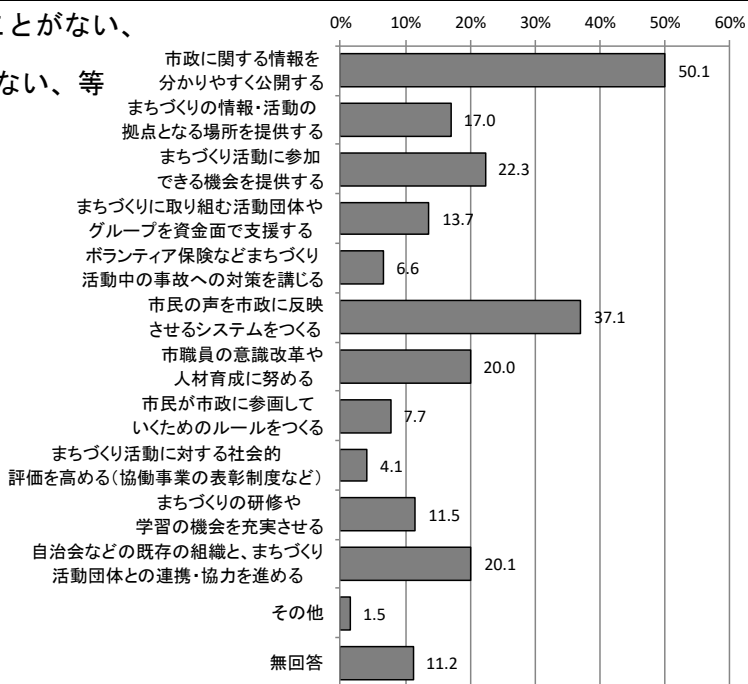
問 19 あなたは、協働によるまちづくりを進めるために、行政はどのような取組をすべきだと思いますか。次の中から最大3つまで選び、あてはまる番号に○印をおつけください。

回答者が、協働によるまちづくりを進めるために行政が取組をすべきだと思うものとしては、「市政に関する情報を分かりやすく公開する」が50.1%で最も多く、ついで「市民の声を市政に反映させるシステムをつくる」(37.1%)、「まちづくり活動に参加できる機会を提供する」(22.3%)の順である。

項目	今回調査		前回調査	
	件数	割合	件数	割合
市政に関する情報を分かりやすく公開する	681	50.1%	656	43.2%
まちづくりの情報・活動の拠点となる場所を提供する	231	17.0%	244	16.1%
まちづくり活動に参加できる機会を提供する	303	22.3%	428	28.2%
まちづくりに取り組む活動団体やグループを資金面で支援する	186	13.7%	206	13.6%
ボランティア保険などまちづくり活動中の事故への対策を講じる	90	6.6%	102	6.7%
市民の声を市政に反映させるシステムをつくる	504	37.1%	567	37.3%
市職員の意識改革や人材育成に努める	272	20.0%	331	21.8%
市民が市政に参画していくためのルールをつくる	105	7.7%	123	8.1%
まちづくり活動に対する社会的評価を高める(協働事業の表彰制度など)	56	4.1%	73	4.8%
まちづくりの研修や学習の機会を充実させる	157	11.5%	203	13.4%
自治会などの既存の組織と、まちづくり活動団体との連携・協力を進める	274	20.1%	364	23.9%
その他	20	1.5%	30	2.0%
無回答	152	11.2%	145	9.5%
合計	1,360	-	1,520	-

【その他】興味がない、考えたことがない、

「協働」が何かわからない、等

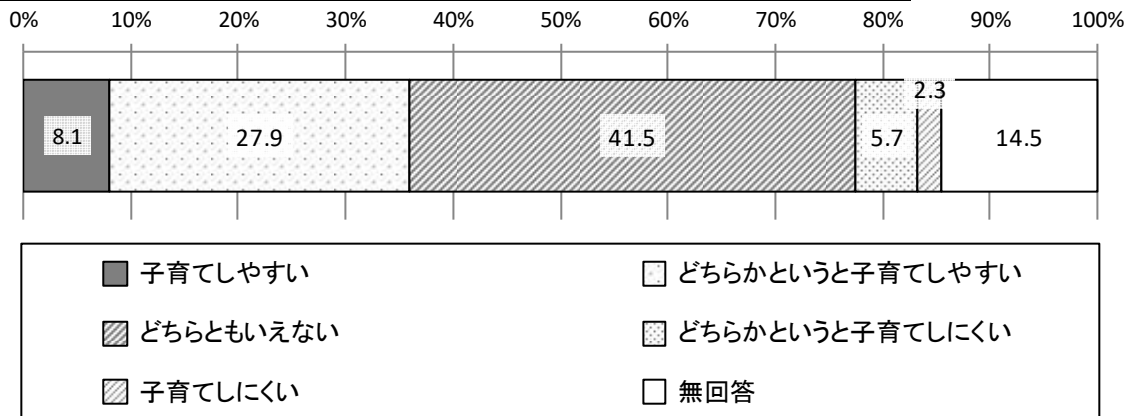


n=1,360

問 20 あなたは、狭山市が「子育てしやすいまち」だと思いますか。あてはまる番号 1つ に○印をおつけください。

回答者が狭山市を「子育てしやすいまち」だと思うかについては、「どちらともいえない」が41.5%で最も多く、ついで「どちらかという子育てしやすい」(27.9%)の順である。

項目	今回調査		前回調査	
	件数	割合	件数	割合
子育てしやすい	110	8.1%	99	6.5%
どちらかという子育てしやすい	379	27.9%	398	26.2%
どちらともいえない	565	41.5%	670	44.1%
どちらかという子育てしにくい	78	5.7%	93	6.1%
子育てしにくい	31	2.3%	40	2.6%
無回答	197	14.5%	220	14.5%
合計	1,360	-	1,520	-



n=1,360

■クロス集計

- 【性別】：子育てしやすいと感じている人は、男女とも35%を超えており、女性の方がその割合がやや高い。
- 【年齢階級別】：子育てしやすいと感じている人は、44歳以下の各階級及び「50歳～54歳」で40%を超えており、「35歳～39歳」で最も高い。
- 【世帯構成別】：子育てしやすいと感じている人は、「乳幼児・未就学児」がいる世帯で66.0%、「小学生・中学生」がいる世帯で60.7%となっている。
- 【居住地区別】：子育てしやすいと感じている人は、水富、新狭山、入間川の各地区で割合がやや高く、入曽地区でやや低くなっている。

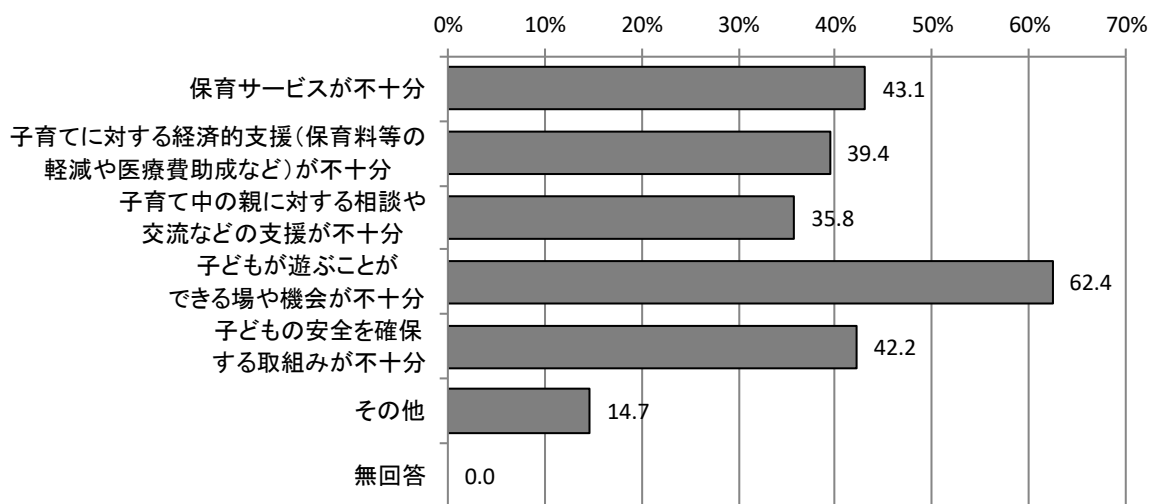
	子育てしやすい	どちらかという子育てしやすい	どちらともいえない	どちらかという子育てしにくい	子育てしにくい	無回答	総数
総数	8.1%	27.9%	41.5%	5.7%	2.3%	14.5%	1,360
性別							
男性	8.7%	26.8%	45.6%	4.4%	1.9%	12.5%	585
女性	8.3%	30.0%	38.4%	6.0%	2.5%	14.8%	687
答えたくない	0.0%	23.1%	15.4%	38.5%	7.7%	15.4%	13
無回答	2.7%	17.3%	42.7%	8.0%	2.7%	26.7%	75
年齢階級							
18歳～19歳	12.8%	33.3%	41.0%	7.7%	0.0%	5.1%	39
20歳～24歳	5.6%	42.3%	45.1%	0.0%	1.4%	5.6%	71
25歳～29歳	7.0%	33.7%	38.4%	7.0%	5.8%	8.1%	86
30歳～34歳	14.9%	26.7%	42.6%	8.9%	1.0%	5.9%	101
35歳～39歳	15.5%	39.8%	25.2%	7.8%	6.8%	4.9%	103
40歳～44歳	9.2%	33.7%	35.7%	8.2%	4.1%	9.2%	98
45歳～49歳	8.9%	27.7%	50.9%	3.6%	2.7%	6.3%	112
50歳～54歳	7.1%	33.3%	49.5%	4.0%	1.0%	5.1%	99
55歳～59歳	6.7%	25.8%	53.9%	6.7%	1.1%	5.8%	89
60歳～64歳	2.6%	28.6%	41.6%	6.5%	5.2%	15.8%	77
65歳～69歳	5.8%	25.2%	41.0%	8.6%	1.4%	18.0%	139
70歳～74歳	7.1%	20.0%	48.6%	1.4%	0.0%	22.9%	140
75歳以上	6.1%	17.2%	33.3%	5.1%	1.0%	37.4%	198
無回答	0.0%	0.0%	37.5%	12.5%	0.0%	50.0%	8
世帯構成							
乳幼児・未就学児	20.5%	45.5%	14.4%	10.6%	4.5%	4.5%	132
小学生・中学生	17.2%	43.5%	22.0%	8.6%	2.2%	6.5%	186
高校生・大学生	8.0%	43.1%	34.5%	5.2%	1.1%	8.0%	174
65歳以上74歳以下の方	6.0%	25.4%	47.4%	3.6%	2.4%	15.1%	331
75歳以上の方	6.4%	20.8%	43.4%	4.5%	1.9%	23.0%	265
1～5の該当者はいない	5.5%	20.3%	52.5%	5.5%	3.0%	13.3%	474
無回答	0.0%	25.7%	31.4%	11.4%	0.0%	31.4%	35
職業							
農林業	0.0%	18.7%	50.0%	0.0%	0.0%	33.3%	6
自営業	10.9%	23.6%	49.1%	3.6%	0.0%	12.7%	55
会社または団体の役員	6.9%	20.7%	44.8%	13.8%	3.4%	10.3%	29
会社員または団体職員(正社員)	7.8%	32.5%	44.3%	5.2%	3.7%	6.6%	348
国家公務員または地方公務員	15.7%	30.0%	38.6%	7.1%	2.9%	5.7%	70
派遣社員・パート・アルバイト	8.2%	30.4%	40.9%	5.1%	2.7%	12.8%	257
専業主婦・専業主夫	8.5%	28.6%	41.2%	6.0%	1.0%	14.6%	199
学生・生徒	10.6%	40.9%	39.4%	3.0%	1.5%	4.5%	66
無職	5.5%	18.3%	39.7%	6.6%	1.7%	28.3%	290
その他	8.3%	25.0%	33.3%	8.3%	0.0%	25.0%	24
無回答	6.3%	25.0%	31.3%	6.3%	0.0%	31.3%	16
通勤・通学先							
総数	8.9%	31.0%	42.5%	5.4%	2.8%	9.5%	855
自宅	6.0%	26.0%	46.0%	6.0%	2.0%	14.0%	50
狭山市内	11.4%	33.5%	34.9%	5.7%	3.6%	11.0%	281
狭山市以外の埼玉県内	8.6%	33.2%	44.8%	3.7%	2.6%	7.1%	268
東京都(23区内)	5.4%	27.7%	50.0%	6.9%	1.5%	8.5%	130
東京都(23区外)	6.8%	24.3%	51.4%	6.8%	2.7%	8.1%	74
その他	13.0%	43.5%	30.4%	0.0%	4.3%	8.7%	23
無回答	10.3%	17.2%	41.4%	10.3%	3.4%	17.2%	29
居住地区							
総数	8.1%	27.9%	41.5%	5.7%	2.3%	14.5%	1,360
入間川地区	8.8%	28.6%	38.3%	5.1%	2.8%	16.4%	433
入曽地区	5.7%	24.2%	46.8%	8.0%	2.9%	12.4%	314
掘巻地区	7.9%	28.6%	34.9%	10.3%	4.0%	14.3%	126
奥富地区	10.2%	25.4%	45.8%	0.0%	0.0%	18.6%	59
柏原地区	8.9%	27.7%	49.5%	0.0%	1.0%	12.9%	101
水富地区	8.8%	33.0%	35.2%	6.6%	1.6%	14.8%	182
新狭山地区	10.4%	31.3%	47.9%	4.2%	0.0%	6.3%	48
狭山台地区	9.4%	28.2%	45.9%	2.4%	1.2%	12.9%	85
無回答	0.0%	8.3%	41.7%	16.7%	0.0%	33.3%	12
住居形態							
持家一戸建て	7.5%	29.8%	40.8%	5.3%	1.8%	14.8%	906
賃貸一戸建て	6.9%	13.8%	51.7%	10.3%	3.4%	13.8%	29
持家分譲マンション	8.7%	28.2%	36.9%	7.4%	2.0%	16.8%	149
民間賃貸マンション・アパート	10.4%	23.2%	48.0%	7.2%	5.6%	5.6%	125
公団(UR)賃貸住宅	15.4%	7.7%	53.8%	0.0%	0.0%	23.1%	13
県営住宅・市営住宅	7.1%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	35.7%	14
社宅・公務員宿舎	19.4%	22.6%	45.2%	3.2%	3.2%	6.5%	31
同居・間借り・住み込み	4.5%	29.9%	50.7%	3.0%	3.0%	9.0%	67
その他	9.1%	27.3%	9.1%	9.1%	9.1%	36.4%	11
無回答	6.7%	6.7%	20.0%	20.0%	0.0%	46.7%	15
居住年数							
5年未満	6.3%	26.0%	43.3%	9.4%	5.5%	9.4%	127
5年～9年	13.2%	30.2%	34.9%	9.4%	3.8%	8.5%	106
10年～19年	9.8%	35.0%	41.1%	2.8%	2.3%	8.9%	214
20年～29年	5.7%	34.2%	40.9%	5.0%	1.8%	12.5%	281
30年以上	8.2%	22.8%	43.2%	5.8%	1.6%	18.5%	623
無回答	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	77.8%	9

※問 20 で“「どちらかという子育てしにくい」または「子育てしにくい」”を選択された方にお聞きします。

問 20-1 そのように考えた理由は、次のうちどれですか。あてはまる番号すべてに○印をおつけください。(複数回答可)

回答者が「子育てしにくいまち」であると考えた理由としては、「子どもが遊ぶことができる場や機会が不十分」が 62.4%で最も多く、ついで「保育サービスが不十分」(43.1%)、「子どもの安全を確保する取組みが不十分」(42.2%)の順である。

項目	今回調査		前回調査	
	件数	割合	件数	割合
保育サービスが不十分	47	43.1%	65	48.9%
子育てに対する経済的支援(保育料等の軽減や医療費助成など)が不十分	43	39.4%	50	37.6%
子育て中の親に対する相談や交流などの支援が不十分	39	35.8%	25	18.8%
子どもが遊ぶことができる場や機会が不十分	68	62.4%	69	51.9%
子どもの安全を確保する取組みが不十分	46	42.2%	74	30.8%
その他	16	14.7%	22	16.5%
無回答	0	0.0%	4	3.0%
合計	109	-	133	-



n=109

【その他】街中に安心して遊べる場所が少ない、保育園の待機児童になっている、一時保育の料金が高い、夜間対応の小児科病院が不十分、交通が不便、学校の統廃合で通学が不便、道路や歩道が狭い 等

■クロス集計

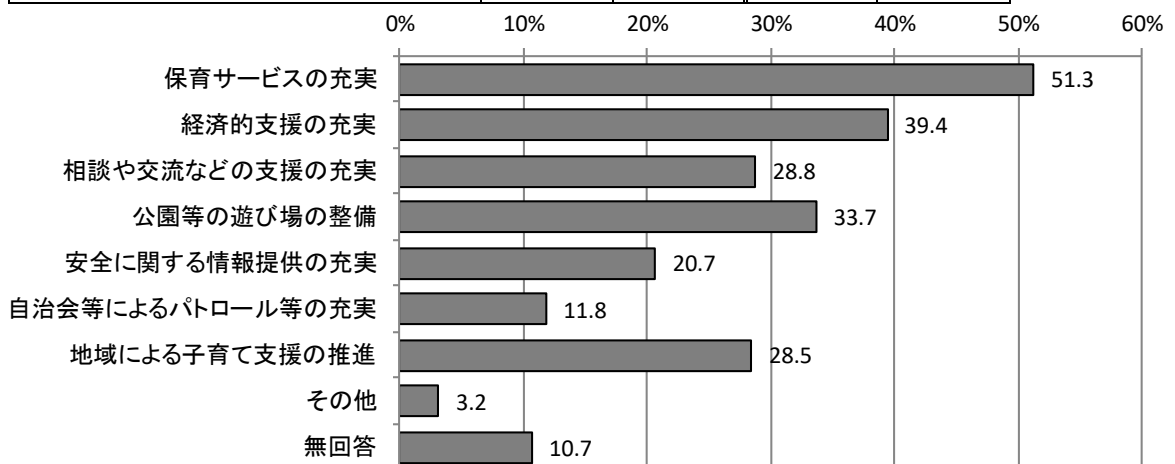
【性別】：男女とも「子どもが遊ぶことができる場や機会が不十分」が最も多い。
 【年齢階級別】：各階級を通じて、「子どもが遊ぶことができる場や機会が不十分」及び「子どもの安全を確保する取組みが不十分」の割合が高い。
 【世帯構成別】：「子供が遊ぶことができる場や機会が不十分」が最も多い。ついで、保育サービスや経済的支援を求める人が多い。
 【居住地区別】：入間川、堀兼及び水富の各地区で「保育サービス」、新狭山地区で「親に対する相談・交流支援」、「子どもの安全確保」が多い他は、「遊び場」を求める人が多い。

	保育サービスが不十分	子育てに軽減対する経済的支援など（保育が育	子育て中の親に対する相談や交流	子どもが遊ぶことができる場や機会が不十分	子どもの安全を確保する取組みが不十分	その他	無回答	総数
総数	43.1%	39.4%	35.8%	62.4%	42.2%	14.7%	0.0%	109
性別	男性	48.6%	32.4%	27.0%	56.8%	35.1%	16.2%	37
	女性	41.4%	41.4%	41.4%	69.0%	44.8%	13.8%	58
回答したくない	答えたくない	50.0%	50.0%	33.3%	50.0%	50.0%	0.0%	6
	無回答	25.0%	50.0%	37.5%	50.0%	50.0%	25.0%	8
年齢階級	18歳～19歳	66.7%	33.3%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	3
	20歳～24歳	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
	25歳～29歳	54.5%	45.5%	54.5%	45.5%	36.4%	27.3%	11
	30歳～34歳	50.0%	50.0%	30.0%	50.0%	60.0%	20.0%	10
	35歳～39歳	60.0%	46.7%	20.0%	73.3%	46.7%	6.7%	15
	40歳～44歳	66.7%	50.0%	41.7%	75.0%	50.0%	8.3%	12
	45歳～49歳	14.3%	57.1%	57.1%	71.4%	42.9%	28.6%	7
	50歳～54歳	40.0%	40.0%	40.0%	60.0%	60.0%	0.0%	5
	55歳～59歳	28.6%	28.6%	28.6%	42.9%	0.0%	42.9%	7
	60歳～64歳	33.3%	11.1%	22.2%	55.6%	44.4%	22.2%	9
	65歳～69歳	28.6%	35.7%	14.3%	71.4%	28.6%	7.1%	14
	70歳～74歳	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	2
	75歳以上	25.0%	25.0%	50.0%	66.7%	66.7%	0.0%	12
世帯構成	無回答	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	1
	乳幼児・未就学児	55.0%	65.0%	35.0%	80.0%	60.0%	5.0%	20
	小学生・中学生	55.0%	40.0%	35.0%	90.0%	45.0%	15.0%	20
	高校生・大学生	18.2%	45.5%	36.4%	72.7%	36.4%	18.2%	11
	65歳以上74歳以下の方	30.0%	35.0%	30.0%	70.0%	40.0%	10.0%	20
	75歳以上の方	47.1%	35.3%	47.1%	52.9%	35.3%	5.9%	17
	1～5の該当者はいない	40.0%	42.5%	37.5%	50.0%	37.5%	20.0%	40
職業	無回答	75.0%	25.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	4
	農林業	-	-	-	-	-	-	0
	自営業	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	2
	会社または団体の役員	40.0%	20.0%	40.0%	60.0%	60.0%	0.0%	5
	会社員または団体職員(正社員)	58.1%	45.2%	32.3%	54.8%	45.2%	16.1%	31
	国家公務員または地方公務員	57.1%	28.6%	42.9%	42.9%	57.1%	28.6%	7
	派遣社員・パート・アルバイト	30.0%	50.0%	35.0%	75.0%	35.0%	15.0%	20
	専業主婦・専業主夫	50.0%	50.0%	28.6%	78.6%	35.7%	21.4%	14
	学生・生徒	33.3%	33.3%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	3
	無職	25.0%	25.0%	33.3%	58.3%	50.0%	12.5%	24
	その他	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2
通勤・通学先	無回答	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	1
	自宅	47.1%	41.4%	38.6%	60.0%	41.4%	14.3%	70
	狭山市内	50.0%	75.0%	50.0%	75.0%	50.0%	25.0%	4
	狭山市以外の埼玉県内	53.8%	42.3%	42.3%	65.4%	42.3%	3.8%	26
	東京都(23区内)	47.1%	41.2%	35.3%	58.8%	41.2%	23.5%	17
	東京都(23区外)	54.5%	27.3%	36.4%	81.8%	54.5%	18.2%	11
	その他	14.3%	42.9%	42.9%	14.3%	14.3%	28.6%	7
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	1
居住地区	無回答	50.0%	50.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	4
	総数	43.1%	39.4%	35.8%	62.4%	42.2%	14.7%	109
	入間川地区	55.9%	44.1%	50.0%	64.7%	41.2%	2.9%	34
	入曽地区	32.4%	32.4%	26.5%	61.8%	44.1%	29.4%	34
	堀兼地区	55.6%	38.9%	33.3%	50.0%	33.3%	5.6%	18
	奥富地区	-	-	-	-	-	-	0
	柏原地区	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	1
	水富地区	40.0%	46.7%	33.3%	73.3%	46.7%	26.7%	15
	新狭山地区	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	2
	狭山台地区	0.0%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%	3
	無回答	50.0%	100.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	2
	待家一戸建て	39.1%	37.5%	26.6%	70.3%	42.2%	15.6%	64
	賃貸一戸建て	50.0%	25.0%	75.0%	100.0%	75.0%	0.0%	4
持家分譲マンション	42.9%	50.0%	50.0%	21.4%	50.0%	14.3%	14	
民間賃貸マンション・アパート	50.0%	43.8%	43.8%	62.5%	43.8%	12.5%	16	
住居形態	公団(UR)賃貸住宅	-	-	-	-	-	-	0
	県営住宅・市営住宅	-	-	-	-	-	-	0
	社宅・公務員宿舎	50.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	2
	同居・間借り・住み込み	25.0%	50.0%	75.0%	50.0%	0.0%	25.0%	4
	その他	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	2
	無回答	100.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	3
	5年未満	57.9%	52.6%	36.8%	63.2%	42.1%	10.5%	19
居住年数	5年～9年	50.0%	50.0%	28.6%	71.4%	57.1%	0.0%	14
	10年～19年	54.5%	27.3%	63.6%	72.7%	27.3%	9.1%	11
	20年～29年	36.8%	36.8%	47.4%	52.6%	36.8%	26.3%	19
	30年以上	34.8%	34.8%	26.1%	60.9%	43.5%	17.4%	46
	無回答	-	-	-	-	-	-	0

問 21 今後、市民の多くが子育てしやすいと感じるために、どのような取組が必要だと思いますか。次の中から**最大3つまで**選び、あてはまる番号に○印をおつけください。

回答者が、子育てしやすいと感じるために必要だと思う取組は、「保育サービスの充実」が51.3%で最も多く、ついで「経済的支援の充実」(39.4%)、「公園等の遊び場の整備」(33.7%)の順である。

項目	今回調査		前回調査	
	件数	割合	件数	割合
保育サービスの充実	697	51.3%	746	49.1%
経済的支援の充実	536	39.4%	694	45.7%
相談や交流などの支援の充実	391	28.8%	351	23.1%
公園等の遊び場の整備	458	33.7%	516	33.9%
安全に関する情報提供の充実	281	20.7%	252	16.6%
自治会等によるパトロール等の充実	161	11.8%	199	13.1%
地域による子育て支援の推進	387	28.5%	3389	25.6%
その他	43	3.2%	50	3.3%
無回答	145	10.7%	210	13.8%
合計	1,360	-	1,520	-



n=1,360

【その他】 公立学校の質の向上、安全な道路・歩道の整備、夜間診療、産婦人科医院、児童館、図書館、保育所・学童保育室の整備、子ども医療費（全額公費助成）の拡充 等

■クロス集計

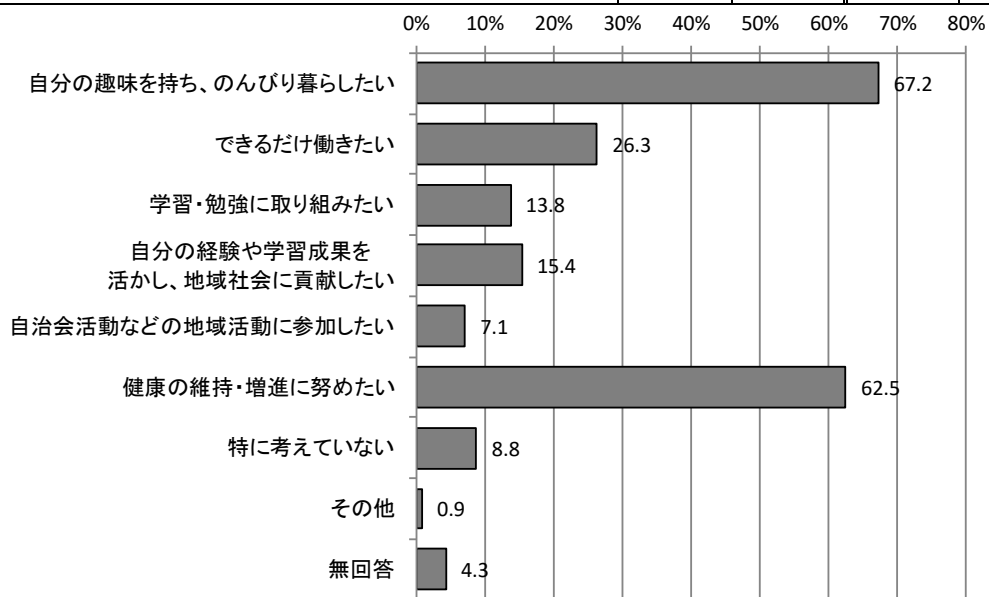
【性別】：男女とも保育サービス及び経済的支援の充実を求める割合が高い。
 【年齢階級別】：すべての階級で保育サービスの充実を求める割合が最も高い。また、44歳以下の各階級では経済的支援の充実を求める割合が2番目に高い。
 【世帯構成別】：「乳幼児・未就学児」のいる世帯では保育サービス、経済的支援、遊び場の順、「小学生・中学生」のいる世帯では経済的支援、遊び場、保育サービスの順、「高校生・大学生」のいる世帯では経済的支援、保育サービス、遊び場の順に割合が高い。

	保育サービスの充実	経済的支援の充実	相談や交流などの支援の充実	公園等の遊び場の整備	安全に関する情報提供の充実	自治会等によるバトロール等の充実	地域による子育て支援の推進	その他	無回答	総数
総数	51.3%	39.4%	28.8%	33.7%	20.7%	11.8%	28.5%	3.2%	10.7%	1,360
性別										
男性	50.8%	40.7%	24.3%	34.7%	18.5%	12.3%	32.0%	3.2%	9.7%	585
女性	51.4%	39.2%	32.9%	32.8%	22.6%	12.2%	26.1%	3.2%	10.2%	687
答えたくない	61.5%	38.5%	15.4%	15.4%	38.5%	0.0%	7.7%	7.7%	23.1%	13
無回答	52.0%	32.0%	28.0%	37.3%	17.3%	6.7%	26.7%	1.3%	20.0%	75
年齢階級										
18歳～19歳	56.4%	46.2%	28.2%	38.5%	20.5%	20.5%	28.2%	2.6%	5.1%	39
20歳～24歳	54.9%	56.3%	23.9%	31.0%	15.5%	19.7%	23.9%	4.2%	7.0%	71
25歳～29歳	64.0%	57.0%	25.6%	33.7%	17.4%	7.0%	23.3%	0.0%	9.3%	86
30歳～34歳	60.4%	56.4%	23.8%	38.6%	18.8%	9.9%	25.7%	4.0%	8.9%	101
35歳～39歳	60.2%	47.6%	23.3%	41.7%	13.6%	12.6%	28.2%	6.8%	3.9%	103
40歳～44歳	59.2%	44.9%	30.6%	41.8%	24.5%	9.2%	24.5%	4.1%	4.1%	98
45歳～49歳	46.4%	34.8%	34.8%	35.7%	31.3%	17.0%	18.8%	6.3%	5.4%	112
50歳～54歳	46.5%	37.4%	27.3%	28.3%	19.2%	11.1%	30.3%	4.0%	7.1%	99
55歳～59歳	46.1%	34.8%	31.5%	32.6%	28.1%	11.2%	33.7%	2.2%	9.0%	89
60歳～64歳	53.2%	37.7%	28.6%	33.8%	23.4%	15.6%	33.8%	2.6%	7.8%	77
65歳～69歳	44.6%	27.3%	31.7%	35.3%	19.4%	6.5%	35.3%	2.2%	11.5%	139
70歳～74歳	45.0%	27.1%	32.1%	30.0%	22.9%	9.3%	33.6%	1.4%	15.0%	140
75歳以上	47.0%	32.3%	29.3%	26.8%	16.7%	13.6%	28.3%	1.5%	22.7%	198
無回答	25.0%	37.5%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	50.0%	8
世帯構成										
乳幼児・未就学児	66.7%	56.1%	21.2%	54.5%	20.5%	10.6%	18.2%	4.5%	3.0%	132
小学生・中学生	41.4%	51.6%	29.6%	47.8%	22.0%	13.4%	26.3%	3.8%	4.3%	186
高校生・大学生	42.0%	47.7%	30.5%	35.1%	20.7%	16.1%	31.0%	1.7%	6.9%	174
65歳以上74歳以下の方	52.3%	35.6%	31.1%	32.9%	23.6%	9.4%	31.4%	1.8%	9.4%	331
75歳以上の方	50.6%	35.8%	28.3%	27.5%	17.4%	13.6%	29.8%	3.0%	14.0%	265
1～5の該当者はいない	54.6%	37.1%	31.4%	28.7%	19.8%	9.9%	27.8%	4.2%	11.4%	474
無回答	31.4%	37.1%	20.0%	17.1%	25.7%	14.3%	28.6%	2.9%	28.6%	35
職業										
農林業	16.7%	16.7%	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	6
自営業	47.3%	43.6%	32.7%	36.4%	14.5%	12.7%	29.1%	3.6%	10.9%	55
会社または団体の役員	55.2%	41.4%	20.7%	34.5%	13.8%	20.7%	17.2%	0.0%	10.3%	29
会社員または団体職員(正社員)	57.8%	48.3%	23.9%	35.9%	21.0%	11.5%	29.0%	4.6%	6.3%	348
国家公務員または地方公務員	65.7%	30.0%	22.9%	37.1%	15.7%	15.7%	31.4%	1.4%	4.3%	70
派遣社員・パート・アルバイト	46.3%	42.0%	32.3%	33.5%	21.0%	11.7%	26.1%	3.1%	10.1%	257
専業主婦・専業主夫	49.2%	33.2%	31.7%	34.2%	28.1%	12.6%	26.6%	3.0%	11.1%	199
学生・生徒	59.1%	47.0%	27.3%	37.9%	18.2%	22.7%	27.3%	4.5%	3.0%	66
無職	46.2%	32.8%	32.4%	28.6%	17.9%	7.9%	30.7%	2.4%	17.6%	290
その他	50.0%	25.0%	16.7%	41.7%	25.0%	4.2%	33.3%	0.0%	20.8%	24
無回答	31.3%	25.0%	25.0%	18.8%	18.8%	12.5%	31.3%	0.0%	31.3%	16
総数	53.8%	43.4%	26.9%	35.6%	19.9%	13.0%	28.1%	3.5%	7.8%	855
通勤・通学先										
自宅	50.0%	36.0%	32.0%	30.0%	18.0%	10.0%	24.0%	4.0%	14.0%	50
狭山市内	51.2%	45.6%	26.7%	34.5%	21.0%	15.3%	28.1%	2.8%	7.5%	281
狭山市以外の埼玉県内	54.9%	45.1%	24.3%	38.4%	19.8%	11.6%	28.0%	3.7%	7.5%	268
東京都(23区内)	56.9%	48.5%	29.2%	33.8%	14.6%	10.0%	32.3%	5.4%	6.9%	130
東京都(23区外)	62.2%	36.5%	32.4%	31.1%	25.7%	12.2%	31.1%	1.4%	6.8%	74
その他	47.8%	34.8%	21.7%	52.2%	17.4%	13.0%	21.7%	0.0%	8.7%	23
無回答	44.8%	20.7%	24.1%	34.5%	24.1%	24.1%	13.8%	6.9%	10.3%	29
居住地										
入間川地区	51.3%	39.4%	28.8%	33.7%	20.7%	11.8%	28.5%	3.2%	10.7%	1,360
人曹地区	50.1%	43.2%	28.4%	34.6%	19.6%	12.2%	25.6%	2.8%	10.9%	433
堀兼地区	50.3%	35.7%	27.7%	35.0%	21.0%	9.9%	33.1%	4.1%	10.8%	314
奥富地区	46.8%	37.3%	27.8%	31.0%	26.2%	15.1%	27.8%	4.8%	10.3%	126
柏原地区	50.8%	35.6%	23.7%	28.8%	25.4%	11.9%	32.2%	3.4%	15.3%	59
水富地区	58.4%	38.6%	29.7%	29.7%	15.8%	9.9%	30.7%	3.0%	8.9%	101
新狭山地区	52.7%	44.5%	27.5%	37.4%	21.4%	12.6%	20.3%	3.3%	9.3%	182
狭山台地区	56.3%	35.4%	31.3%	41.7%	16.7%	14.6%	41.7%	0.0%	4.2%	48
無回答	56.5%	32.9%	41.2%	24.7%	20.0%	12.9%	32.9%	1.2%	11.8%	85
居住形態										
持家一戸建て	25.0%	33.3%	16.7%	25.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	33.3%	12
賃貸一戸建て	49.7%	36.3%	29.4%	35.0%	21.7%	11.6%	29.9%	2.6%	10.8%	906
持家分譲マンション	55.2%	48.3%	27.6%	37.9%	13.8%	10.3%	37.9%	3.4%	10.3%	29
民間賃貸マンション・アパート	51.0%	40.3%	28.2%	31.5%	22.1%	12.1%	25.5%	5.4%	10.7%	149
公団(UR)賃貸住宅	59.2%	54.4%	26.4%	32.8%	20.0%	13.6%	20.8%	4.0%	6.4%	125
県営住宅・市営住宅	53.8%	23.1%	38.5%	15.4%	23.1%	30.8%	0.0%	15.4%	13	
社宅・公務員宿舎	28.6%	35.7%	14.3%	21.4%	35.7%	21.4%	14.3%	0.0%	28.6%	14
同居・間借り・住み込み	61.3%	35.5%	35.5%	38.7%	16.1%	6.5%	38.7%	0.0%	3.2%	31
その他	58.2%	56.7%	28.4%	25.4%	11.9%	11.9%	23.9%	6.0%	7.5%	67
無回答	63.6%	27.3%	27.3%	36.4%	0.0%	18.2%	27.3%	9.1%	18.2%	11
居住年数										
5年未満	33.3%	33.3%	13.3%	26.7%	6.7%	0.0%	26.7%	0.0%	40.0%	15
5年～9年	58.3%	45.7%	21.3%	37.0%	15.7%	9.4%	23.6%	4.7%	8.7%	127
10年～19年	56.6%	43.4%	24.5%	40.6%	16.0%	14.2%	16.0%	3.8%	10.4%	106
20年～29年	45.3%	41.6%	27.6%	37.4%	22.9%	15.0%	29.0%	6.5%	7.9%	214
30年以上	49.1%	45.2%	30.6%	33.1%	22.4%	10.3%	26.7%	1.8%	10.7%	281
無回答	52.0%	34.3%	31.0%	31.0%	21.2%	11.6%	32.3%	2.2%	11.4%	623
無回答	44.4%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	55.6%	9

問 22 あなたは、ご自身の老後の過ごし方についてどう思いますか。あてはまる番号すべてに○印をおつけください。(複数回答可)

回答者が、自身の老後の過ごし方をどのようにしたいと思っているかについては、「自分の趣味を持ち、のんびり暮らしたい」が67.2%で最も多く、ついで「健康の維持・増進に努めたい」(62.5%)、「できるだけ働きたい」(26.3%)の順である。

項目	今回調査		前回調査	
	件数	割合	件数	割合
自分の趣味を持ち、のんびり暮らしたい	914	67.2%	971	63.9%
できるだけ働きたい	358	26.3%	422	27.8%
学習・勉強に取り組みたい	187	13.8%	262	17.2%
自分の経験や学習成果を活かし、地域社会に貢献したい	209	15.4%	317	20.9%
自治会活動などの地域活動に参加したい	97	7.1%	168	11.1%
健康の維持・増進に努めたい	850	62.5%	976	64.2%
特に考えていない	120	8.8%	105	6.9%
その他	12	0.9%	29	1.9%
無回答	59	4.3%	53	3.5%
合計	1,360	-	1,520	-



n=1,360

【その他】旅行や遠出、身近な人たちのお手伝い、友人作り 等

■クロス集計

【性別】：男女とも、「自分の趣味を持ち、のんびり暮らしたい」、「健康の維持・増進に努めたい」、「できるだけ働きたい」の順に割合が高い。

【年齢階級別】：54歳以下の各階級では「自分の趣味を持ち、のんびり暮らしたい」、55歳以上の各階級では「健康の維持・増進に努めたい」がそれぞれ最も多い。

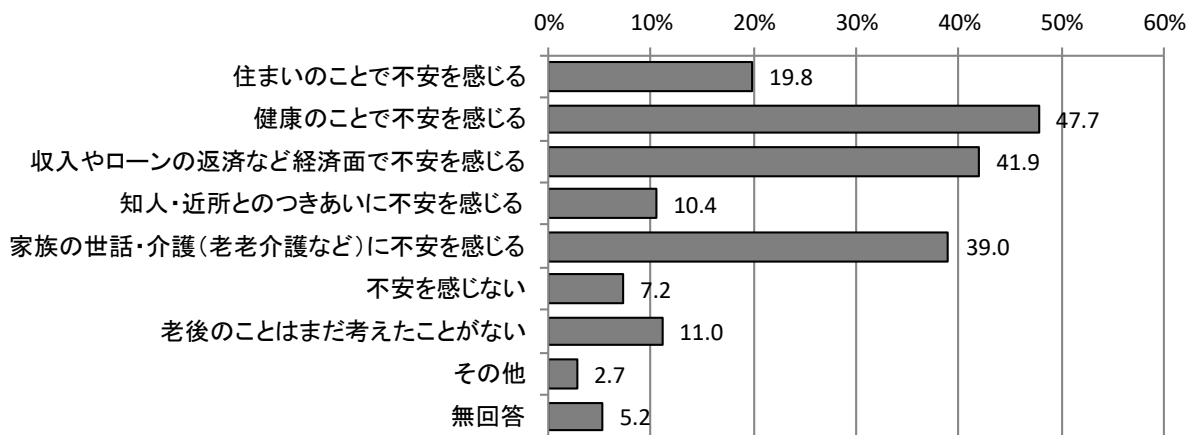
【世帯構成別】：前期高齢者、後期高齢者ともに、「健康の維持・増進に努めたい」、「自分の趣味を持ち、のんびり暮らしたい」、「できるだけ働きたい」の順に割合が高い。

	自分の趣味を持ち、のんびり暮らしたい	できるだけ働きたい	学習・勉強に取り組みたい	地域の経験や学習成果を活かし、地域社会に貢献したい	自治会活動などの地域活動に参加したい	健康の維持・増進に努めたい	特に考えていない	その他	無回答	総数	
総数	67.2%	26.3%	13.8%	15.4%	7.1%	62.5%	8.8%	0.9%	4.3%	1,360	
性別	男性	69.2%	28.9%	15.0%	17.8%	6.7%	61.2%	7.7%	1.0%	585	
	女性	66.4%	23.7%	12.4%	13.2%	7.6%	63.2%	9.6%	0.9%	687	
	答えたくない	69.2%	0.0%	7.7%	7.7%	7.7%	46.2%	15.4%	0.0%	13	
	無回答	58.7%	34.7%	17.3%	17.3%	6.7%	69.3%	9.3%	0.0%	75	
年齢階級	18歳～19歳	69.2%	28.2%	10.3%	5.1%	2.6%	35.9%	7.7%	0.0%	39	
	20歳～24歳	74.6%	19.7%	12.7%	14.1%	7.0%	46.5%	14.1%	0.0%	71	
	25歳～29歳	75.6%	19.8%	12.8%	9.3%	4.7%	46.5%	9.3%	0.0%	86	
	30歳～34歳	74.3%	21.8%	10.9%	10.9%	7.9%	56.4%	6.9%	0.0%	101	
	35歳～39歳	68.9%	29.1%	7.8%	10.7%	4.9%	44.7%	13.6%	1.0%	103	
	40歳～44歳	80.6%	27.6%	13.3%	18.4%	6.1%	57.1%	11.2%	1.0%	98	
	45歳～49歳	70.5%	35.7%	15.2%	13.4%	5.4%	58.9%	4.5%	0.9%	2.7%	112
	50歳～54歳	65.7%	40.4%	14.1%	16.2%	9.1%	54.5%	6.1%	1.0%	4.0%	99
	55歳～59歳	64.0%	42.7%	15.7%	20.2%	5.6%	70.8%	7.9%	1.1%	1.1%	89
	60歳～64歳	63.6%	31.2%	14.3%	18.2%	5.2%	70.1%	7.8%	1.3%	2.6%	77
	65歳～69歳	63.3%	28.1%	19.4%	18.0%	6.5%	78.4%	5.0%	0.0%	5.8%	139
	70歳～74歳	61.4%	20.0%	15.7%	20.7%	8.6%	77.1%	10.0%	1.4%	5.0%	140
	75歳以上	59.1%	13.6%	13.1%	16.2%	11.6%	74.7%	10.6%	2.0%	7.6%	198
	無回答	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	50.0%	8
世帯構成	乳幼児・未就学児	68.2%	29.5%	9.1%	13.6%	9.1%	51.5%	9.1%	0.0%	3.0%	132
	小学生・中学生	76.9%	30.6%	12.4%	19.9%	5.4%	59.7%	5.9%	0.0%	1.1%	186
	高校生・大学生	75.3%	29.9%	10.9%	16.1%	10.3%	56.3%	7.5%	0.0%	4.6%	174
	65歳以上74歳以下の方	66.2%	23.3%	14.5%	16.6%	8.2%	70.4%	7.9%	0.9%	5.1%	331
	75歳以上の方	61.9%	20.0%	16.6%	19.2%	9.4%	67.5%	10.2%	1.5%	5.3%	265
	1～5の該当者はいない	67.1%	30.0%	13.1%	12.0%	3.6%	59.7%	11.6%	1.3%	3.4%	474
	無回答	62.9%	20.0%	11.4%	20.0%	14.3%	62.9%	5.7%	2.9%	14.3%	35
職業	農林業	66.7%	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	6
	自営業	52.7%	54.5%	18.2%	23.6%	5.5%	56.4%	1.8%	3.6%	5.5%	55
	会社または団体の役員	75.9%	20.7%	27.6%	13.8%	6.9%	65.5%	3.4%	0.0%	6.9%	29
	会社員または団体職員(正社員)	72.4%	29.6%	13.2%	15.2%	5.7%	58.0%	9.5%	0.6%	2.0%	348
	国家公務員または地方公務員	70.0%	40.0%	18.6%	14.3%	7.1%	51.4%	1.4%	0.0%	2.9%	70
	派遣社員・パート・アルバイト	67.7%	44.0%	13.2%	12.8%	4.7%	59.1%	7.0%	0.4%	3.9%	257
	専業主婦・専業主夫	65.8%	14.1%	13.1%	13.1%	9.0%	68.3%	11.1%	1.0%	4.5%	199
	学生・生徒	72.7%	21.2%	9.1%	10.6%	4.5%	47.0%	7.6%	0.0%	3.0%	66
	無職	61.7%	8.6%	14.1%	17.9%	9.3%	73.4%	12.8%	1.7%	5.5%	290
	その他	66.7%	37.5%	0.0%	12.5%	8.3%	70.8%	8.3%	0.0%	12.5%	24
	無回答	62.5%	6.3%	12.5%	37.5%	25.0%	62.5%	0.0%	0.0%	25.0%	16
総数	69.5%	35.6%	13.8%	14.6%	5.6%	57.4%	7.1%	0.6%	3.5%	855	
通勤・通学先	自宅	56.0%	42.0%	14.0%	22.0%	6.0%	62.0%	6.0%	2.0%	4.0%	50
	狭山市内	70.5%	36.3%	13.5%	13.9%	6.8%	59.4%	9.3%	0.7%	3.2%	281
	狭山市以外の埼玉県内	72.0%	34.7%	12.3%	14.2%	5.2%	54.5%	6.7%	0.7%	3.0%	268
	東京都(23区内)	68.5%	34.6%	13.1%	12.3%	3.1%	56.9%	6.2%	0.0%	3.1%	130
	東京都(23区外)	68.9%	28.4%	17.6%	20.3%	4.1%	62.2%	5.4%	0.0%	5.4%	74
	その他	69.6%	47.8%	17.4%	13.0%	8.7%	47.8%	4.3%	0.0%	4.3%	23
	無回答	65.5%	37.9%	20.7%	10.3%	10.3%	55.2%	3.4%	0.0%	6.9%	29
総数	67.2%	26.3%	13.8%	15.4%	7.1%	62.5%	8.8%	0.9%	4.3%	1,360	
居住地区	入間川地区	68.1%	24.7%	14.1%	15.2%	7.6%	61.0%	8.5%	1.4%	3.9%	433
	入曽地区	69.1%	28.7%	14.0%	15.6%	8.9%	62.4%	7.3%	0.3%	2.5%	314
	堀兼地区	61.1%	27.8%	17.5%	15.9%	6.3%	64.3%	8.7%	0.8%	5.6%	126
	奥宮地区	72.9%	18.6%	10.2%	10.2%	6.8%	54.2%	10.2%	0.0%	10.2%	59
	柏原地区	69.3%	27.7%	11.9%	9.9%	7.9%	65.3%	9.9%	2.0%	1.0%	101
	水富地区	64.3%	29.7%	11.5%	18.7%	5.5%	70.3%	8.8%	0.5%	4.9%	182
	新狭山地区	60.4%	20.8%	22.9%	29.2%	2.1%	52.1%	16.7%	2.1%	0.0%	48
	狭山台地区	69.4%	25.9%	11.8%	10.6%	4.7%	61.2%	10.6%	0.0%	8.2%	85
	無回答	58.3%	8.3%	0.0%	8.3%	8.3%	50.0%	0.0%	0.0%	33.3%	12
	持家一戸建て	69.6%	25.6%	13.8%	15.3%	7.3%	65.8%	7.7%	0.6%	3.5%	906
	賃貸一戸建て	41.4%	44.8%	6.9%	34.5%	3.4%	55.2%	10.3%	3.4%	3.4%	29
住居形態	持家分譲マンション	60.4%	28.2%	12.8%	18.1%	6.0%	60.4%	8.7%	2.7%	6.7%	149
	民間賃貸マンション・アパート	66.6%	29.6%	15.2%	9.6%	7.2%	53.6%	16.0%	0.8%	2.4%	125
	公団(UR)賃貸住宅	61.5%	30.8%	7.7%	0.0%	15.4%	38.5%	15.4%	0.0%	7.7%	13
	県営住宅・市営住宅	42.9%	42.9%	14.3%	14.3%	7.1%	71.4%	21.4%	0.0%	0.0%	14
	社宅・公務員宿舎	77.4%	25.8%	16.1%	16.1%	6.5%	48.4%	0.0%	0.0%	6.5%	31
	同居・間借り・住み込み	70.1%	16.4%	17.9%	16.4%	9.0%	55.2%	13.4%	1.5%	4.5%	67
	その他	72.7%	36.4%	9.1%	18.2%	0.0%	54.5%	0.0%	0.0%	9.1%	11
	無回答	40.0%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%	53.3%	0.0%	0.0%	40.0%	15
居住年数	5年未満	68.5%	27.6%	17.3%	12.6%	7.1%	50.4%	11.8%	0.0%	3.1%	127
	5年～9年	68.9%	30.2%	11.3%	14.2%	4.7%	50.9%	12.3%	0.9%	4.7%	106
	10年～19年	71.5%	32.7%	13.1%	12.1%	5.1%	56.5%	5.1%	0.9%	3.3%	214
	20年～29年	70.1%	28.8%	12.8%	16.0%	7.8%	64.4%	7.5%	0.4%	3.2%	281
	30年以上	64.2%	22.5%	14.1%	16.9%	8.0%	68.5%	9.6%	1.3%	4.7%	623
	無回答	44.4%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	55.6%	9

問 23 あなたは、ご自身の老後の生活に不安を感じますか。次の中から最大3つまで選び、あてはまる番号に○印をおつけください。

回答者が老後の生活に不安を感じる理由としては、「健康のことで不安を感じる」が47.7%で最も多く、ついで「収入やローンの返済など経済面で不安を感じる」(41.9%)、「家族の世話・介護(老老介護など)に不安を感じる」(39.0%)の順である。

項目	今回調査		前回調査	
	件数	割合	件数	割合
住まいのことで不安を感じる	269	19.8%	245	16.1%
健康のことで不安を感じる	649	47.7%	770	50.7%
収入やローンの返済など経済面で不安を感じる	570	41.9%	600	39.5%
知人・近所とのつきあいに不安を感じる	142	10.4%	170	11.2%
家族の世話・介護(老老介護など)に不安を感じる	530	39.0%	643	42.3%
不安を感じない	98	7.2%	109	7.2%
老後のことはまだ考えたことがない	150	11.0%	153	10.1%
その他	37	2.7%	48	3.2%
無回答	71	5.2%	80	5.3%
合計	1,360	-	1,520	-



n=1,360

【その他】運転免許の返納、交通の不便さ、買い物の不便さ、年金支給、市の財政破綻 等

■クロス集計

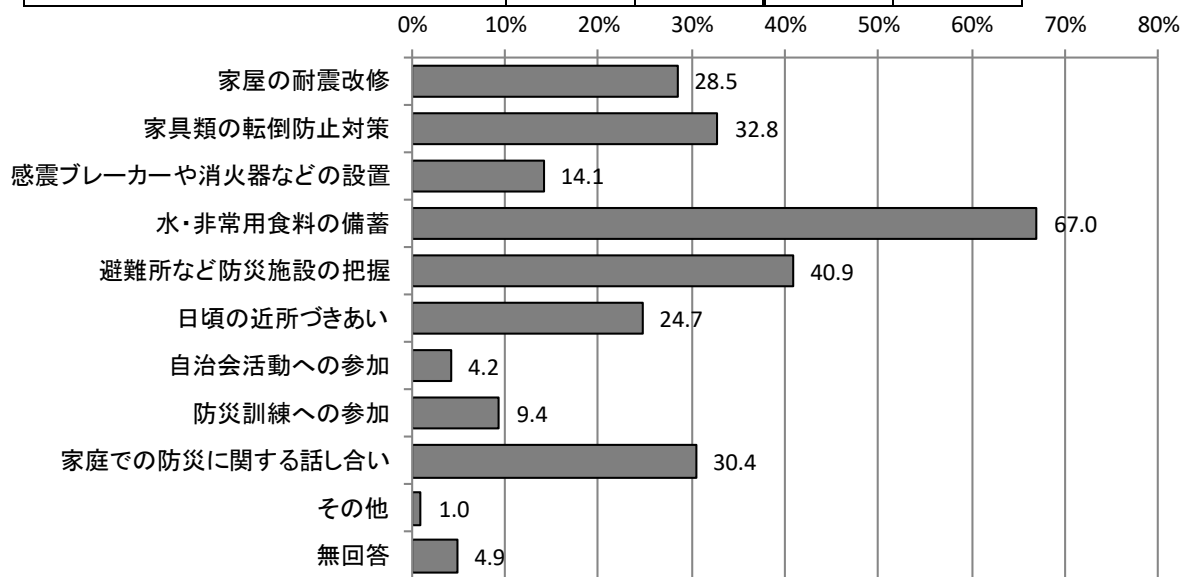
【性別】：男女とも、健康、経済面、介護の順に割合が高い。
 【年齢階級別】：44歳以下の各階級では経済面が、45歳以上の各階級で健康面が、それぞれあげられる傾向がある。
 【世帯構成別】：前期高齢者または後期高齢者のいる世帯では、健康、介護及び経済面に対する不安の割合が高い。

	住まいのことで不安を感じる	健康のことで不安を感じる	収入やローンの返済など経済面で不安を感じる	知人・近所とのつきあいに不安を感じる	家族の世話・介護（老老介護など）に不安を感じる	不安を感じない	老後のことはまだ考えたことがない	その他	無回答	総数
総数	19.8%	47.7%	41.9%	10.4%	39.0%	7.2%	11.0%	2.7%	5.2%	1,360
性別										
男性	19.3%	44.4%	40.5%	9.6%	38.3%	8.4%	12.1%	2.6%	5.8%	585
女性	20.2%	48.0%	45.1%	10.8%	39.4%	6.6%	10.6%	2.6%	5.1%	687
答えたくない	7.7%	53.8%	38.5%	7.7%	23.1%	0.0%	15.4%	7.7%	15.4%	13
無回答	21.3%	69.3%	24.0%	14.7%	42.7%	5.3%	5.3%	4.0%	9.3%	75
年齢階級										
18歳～19歳	20.5%	20.5%	35.9%	17.9%	30.8%	10.3%	28.2%	2.6%	5.1%	39
20歳～24歳	15.5%	32.4%	53.5%	9.9%	28.2%	4.2%	32.4%	7.0%	1.4%	71
25歳～29歳	16.3%	31.4%	60.5%	7.0%	34.9%	5.8%	22.1%	3.5%	4.7%	86
30歳～34歳	24.8%	32.7%	59.4%	10.9%	37.6%	4.0%	17.8%	1.0%	5.0%	101
35歳～39歳	27.2%	29.1%	64.1%	12.6%	37.9%	6.8%	10.7%	1.0%	1.9%	103
40歳～44歳	27.6%	45.9%	65.3%	8.2%	50.0%	5.1%	13.3%	3.1%	2.0%	98
45歳～49歳	25.0%	50.0%	46.4%	9.8%	40.2%	4.5%	12.5%	0.9%	2.7%	112
50歳～54歳	19.2%	43.4%	55.6%	8.1%	48.5%	4.0%	9.1%	0.0%	3.0%	99
55歳～59歳	18.0%	56.2%	40.4%	13.5%	48.3%	5.6%	5.6%	5.6%	2.2%	89
60歳～64歳	18.2%	62.3%	53.2%	13.0%	37.7%	3.9%	2.6%	2.6%	3.9%	77
65歳～69歳	18.0%	59.0%	26.6%	11.5%	33.8%	10.8%	4.3%	2.2%	5.0%	139
70歳～74歳	15.7%	57.9%	15.0%	9.3%	41.4%	8.6%	6.4%	4.3%	10.0%	140
75歳以上	16.2%	60.6%	17.2%	9.6%	35.4%	13.1%	4.5%	3.0%	9.6%	198
無回答	0.0%	37.5%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	50.0%	8
世帯構成										
乳幼児・未就学児	23.5%	33.3%	68.2%	10.6%	38.6%	5.3%	9.8%	1.5%	3.8%	132
小学生・中学生	20.4%	41.4%	60.2%	9.7%	47.3%	7.0%	11.8%	1.1%	1.6%	186
高校生・大学生	17.8%	44.3%	51.1%	7.5%	40.2%	5.2%	14.9%	2.3%	4.6%	174
65歳以上74歳以下の方	19.6%	48.0%	36.3%	8.8%	43.2%	7.9%	9.7%	2.4%	6.0%	331
75歳以上の方	18.5%	52.1%	28.7%	9.8%	52.1%	6.8%	11.7%	3.4%	7.2%	265
1～5の該当者はいない	21.7%	50.8%	43.2%	12.9%	32.5%	7.4%	11.8%	3.0%	3.4%	474
無回答	8.6%	51.4%	31.4%	11.4%	22.9%	11.4%	2.9%	5.7%	22.9%	35
職業										
農林業	16.7%	83.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	6
自営業	23.6%	45.5%	45.5%	5.5%	41.8%	14.5%	9.1%	5.5%	3.6%	55
会社または団体の役員	13.8%	51.7%	51.7%	3.4%	37.9%	6.9%	6.9%	3.4%	6.9%	29
会社員または団体職員（正社員）	21.3%	42.2%	54.0%	10.9%	45.4%	4.9%	14.1%	1.7%	2.3%	348
国家公務員または地方公務員	18.6%	34.3%	48.6%	11.4%	32.9%	8.6%	18.6%	1.4%	2.9%	70
派遣社員・パート・アルバイト	24.9%	47.5%	54.5%	9.7%	38.5%	3.5%	10.9%	1.9%	3.9%	257
専業主婦・専業主夫	17.6%	51.8%	31.2%	10.6%	38.2%	10.1%	6.5%	2.0%	6.5%	199
学生・生徒	19.7%	21.2%	43.9%	12.1%	28.8%	9.1%	28.8%	4.5%	3.0%	66
無職	16.9%	59.0%	22.4%	12.1%	35.9%	9.7%	6.2%	3.8%	8.6%	290
その他	12.5%	62.5%	33.3%	4.2%	50.0%	0.0%	12.5%	4.2%	8.3%	24
無回答	0.0%	50.0%	12.5%	12.5%	31.3%	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%	16
総数	21.6%	42.9%	51.6%	9.8%	40.4%	5.6%	13.9%	2.3%	3.4%	855
通勤・通学先										
自宅	22.0%	42.0%	34.0%	8.0%	38.0%	12.0%	18.0%	4.0%	4.0%	50
狭山市内	22.1%	43.8%	53.4%	10.3%	39.9%	4.3%	13.5%	1.8%	4.3%	281
狭山市以外の埼玉県内	23.5%	43.7%	53.0%	9.7%	41.0%	7.1%	14.2%	2.6%	2.2%	268
東京都(23区内)	16.9%	38.5%	56.2%	8.5%	38.5%	5.4%	11.5%	1.5%	3.1%	130
東京都(23区外)	20.3%	39.2%	52.7%	14.9%	45.9%	1.4%	13.5%	4.1%	4.1%	74
その他	26.1%	39.1%	47.8%	8.7%	47.8%	8.7%	13.0%	0.0%	4.3%	23
無回答	20.7%	62.1%	31.0%	3.4%	31.0%	3.4%	20.7%	3.4%	3.4%	29
総数	19.8%	47.7%	41.9%	10.4%	39.0%	7.2%	11.0%	2.7%	5.2%	1,360
居住地										
入間川地区	19.2%	43.6%	44.3%	11.8%	37.4%	8.5%	11.3%	2.5%	5.1%	433
入管地区	21.0%	52.5%	38.9%	10.5%	40.1%	6.1%	10.5%	1.9%	3.2%	314
堀兼地区	18.3%	53.2%	46.0%	7.9%	33.3%	2.4%	9.5%	4.8%	7.9%	126
奥富地区	16.9%	42.4%	35.6%	6.8%	45.8%	5.1%	13.6%	1.7%	11.9%	59
柏原地区	19.8%	47.5%	31.7%	5.9%	39.6%	7.9%	16.8%	2.0%	3.0%	101
水富地区	22.0%	50.0%	46.7%	12.1%	47.3%	9.3%	6.0%	4.4%	4.4%	182
新狭山地区	18.8%	43.8%	43.8%	18.8%	37.5%	6.3%	12.5%	0.0%	2.1%	48
狭山台地区	16.5%	44.7%	41.2%	8.2%	31.8%	9.4%	16.5%	2.4%	7.1%	85
無回答	33.3%	41.7%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%	33.3%	12
住居形態										
持家一戸建て	16.2%	49.1%	39.7%	10.7%	42.4%	8.1%	10.3%	3.0%	4.6%	906
賃貸一戸建て	51.7%	44.8%	55.2%	10.3%	27.6%	6.9%	6.9%	3.4%	3.4%	29
持家分譲マンション	16.1%	49.7%	38.9%	12.1%	36.2%	8.7%	8.1%	1.3%	8.1%	149
民間賃貸マンション・アパート	40.0%	40.8%	52.8%	8.8%	25.6%	4.0%	16.0%	2.4%	1.6%	125
公団(UR)賃貸住宅	38.5%	46.2%	38.5%	23.1%	30.8%	0.0%	15.4%	0.0%	7.7%	13
県営住宅・市営住宅	28.6%	64.3%	42.9%	14.3%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14
社宅・公務員宿舎	19.4%	25.8%	48.4%	9.7%	16.1%	6.5%	25.8%	0.0%	6.5%	31
同居・間借り・住み込み	19.4%	49.3%	50.7%	7.5%	46.3%	4.5%	14.9%	6.0%	4.5%	67
その他	45.5%	54.5%	45.5%	0.0%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	11
無回答	0.0%	26.7%	33.3%	0.0%	20.0%	0.0%	6.7%	0.0%	46.7%	15
居住年数										
5年未満	26.0%	39.4%	54.3%	7.9%	26.8%	5.5%	13.4%	1.6%	2.4%	127
5年～9年	26.4%	36.8%	54.7%	13.2%	31.1%	10.4%	13.2%	0.9%	4.7%	106
10年～19年	23.8%	41.6%	50.5%	13.6%	39.3%	4.7%	14.5%	2.8%	3.3%	214
20年～29年	12.8%	45.9%	45.6%	11.7%	43.1%	5.7%	13.5%	2.5%	3.6%	281
30年以上	19.1%	54.4%	32.9%	9.0%	41.1%	8.7%	8.0%	3.4%	6.6%	623
無回答	22.2%	33.3%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	9

問 24 大地震などの災害に備えて、市民が自ら行うこととして、どのようなことが重要であると思いますか。次の中から最大3つまで選び、あてはまる番号に○印をおつけください。

回答者が、大地震などの災害に備えて、市民が自ら行うこととして重要であると思うこととしては、「水・非常用食料の備蓄」が67.0%で最も多く、ついで「避難所など防災施設の把握」(40.9%)、「家具類の転倒防止対策」(32.8%)の順である。

項目	今回調査		前回調査	
	件数	割合	件数	割合
家屋の耐震改修	387	28.5%	—	—
家具類の転倒防止対策	446	32.8%	713	46.8%
感震ブレーカーや消火器などの設置	192	14.1%	210	13.8%
水・非常用食料の備蓄	911	67.0%	989	65.1%
避難所など防災施設の把握	556	40.9%	679	44.7%
日頃の近所づきあい	336	24.7%	478	31.4%
自治会活動への参加	57	4.2%	115	7.6%
防災訓練への参加	128	9.4%	189	12.4%
家庭での防災に関する話し合い	414	30.4%	512	33.7%
その他	14	1.0%	16	1.1%
無回答	66	4.9%	70	4.6%
合計	1,360	—	1,520	—



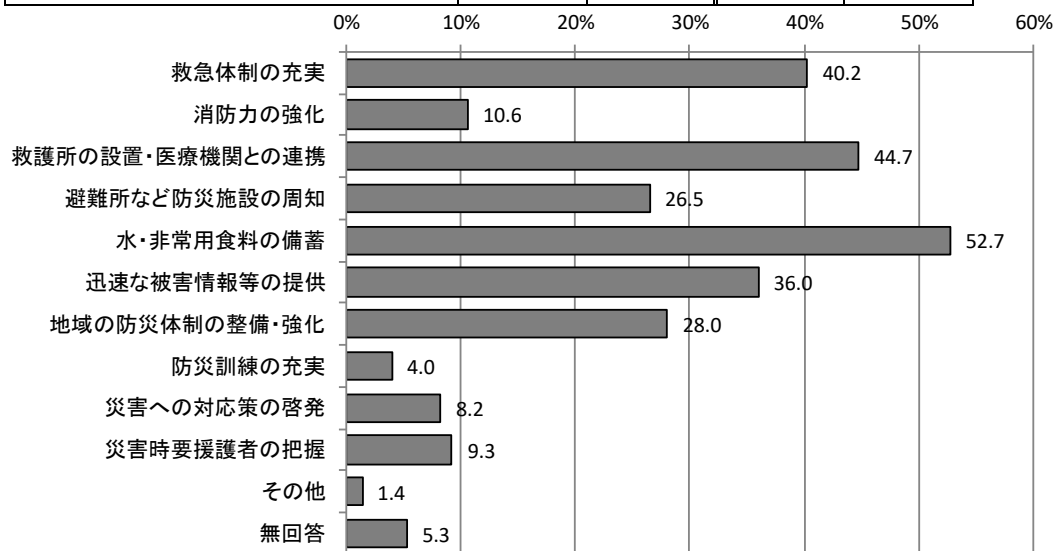
n=1,360

【その他】災害に関する情報収集、自宅周辺の安全性の確認 等

問 25 大地震などの災害に備えて、行政が行うこととして、どのようなことが重要であると思いますか。次の中から最大3つまで選び、あてはまる番号に○印をおつけください。

回答者が大地震などの災害に備えて、行政が行うこととして重要であると思うこととしては、「水・非常用食料の備蓄」が52.7%で最も多く、ついで「救護所の設置・医療機関との連携」(44.7%)、「救急体制の充実」(40.2%)の順である。

項目	今回調査		前回調査	
	件数	割合	件数	割合
救急体制の充実	547	40.2%	712	46.8%
消防力の強化	144	10.6%	197	13.0%
救護所の設置・医療機関との連携	608	44.7%	653	43.0%
避難所など防災施設の周知	360	26.5%	425	28.0%
水・非常用食料の備蓄	717	52.7%	745	49.0%
迅速な被害情報等の提供	489	36.0%	440	28.9%
地域の防災体制の整備・強化	381	28.0%	465	30.6%
防災訓練の充実	54	4.0%	86	5.7%
災害への対応策の啓発	112	8.2%	138	9.1%
災害時要援護者の把握	126	9.3%	171	11.3%
その他	19	1.4%	25	1.6%
無回答	72	5.3%	81	5.3%
合計	1,360	-	1,520	-



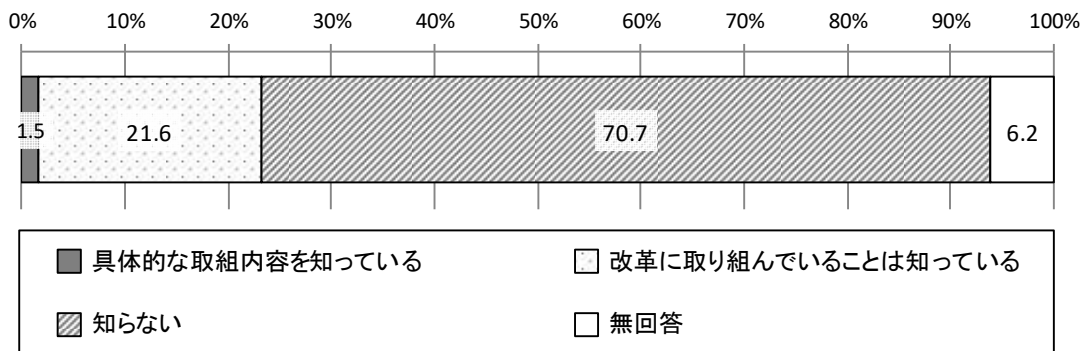
n=1,360

【その他】衛生対策、道路啓開、通信確保、電力確保、防災士等専門職員の確保、非常食・ダンボールベッド等の防災施設、資機材の確保、災害廃棄物対策 等

問 26 あなたは、狭山市の行財政改革*の取組を知っていますか。あてはまる番号 1つ に○印をおつけください。

回答者の狭山市の行財政改革の取組に対する認知度としては、「知らない」が 70.7%で最も多く、ついで「改革に取り組んでいることは知っている」(21.6%)の順である。

項目	件数	割合	件数	割合
具体的な取組内容を知っている	21	1.5%	14	0.9%
改革に取り組んでいることは知っている	294	21.6%	388	25.5%
知らない	961	70.7%	1,035	68.1%
無回答	84	6.2%	83	5.5%
合計	1,360	-	1,520	-



n=1,360

■クロス集計

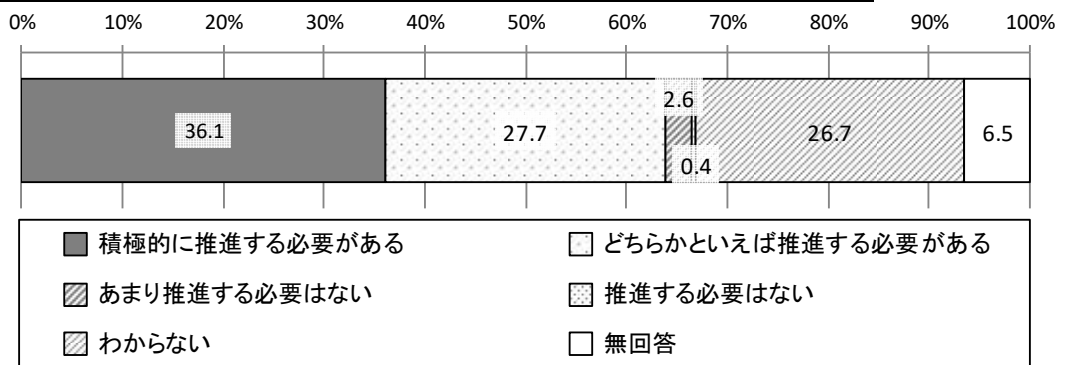
【性別】：改革に取り組んでいることに対する認知度としては、男性の方がやや高い。
 【年齢階級別】：具体的な取組内容の認知度は総じて低いが、改革に取り組んでいることに対する認知度としては、40歳代及び55歳以上の各階級において20%を超え、70歳以上の各階級で30%を超える。

	具体的な取組内容を知っている	改革に取り組んでいることは知っていない	知らない	無回答	総数	
総数	1.5%	21.6%	70.7%	6.2%	1,360	
性別	男性	2.2%	22.9%	69.2%	5.6%	585
	女性	1.0%	20.8%	71.8%	6.4%	687
	答えたくない	0.0%	15.4%	69.2%	15.4%	13
	無回答	1.3%	20.0%	72.0%	6.7%	75
	18歳～19歳	2.6%	5.1%	84.6%	7.7%	39
年齢階級	20歳～24歳	1.4%	8.5%	88.7%	1.4%	71
	25歳～29歳	0.0%	12.8%	81.4%	5.8%	86
	30歳～34歳	2.0%	13.9%	77.2%	6.9%	101
	35歳～39歳	0.0%	7.8%	87.4%	4.9%	103
	40歳～44歳	0.0%	26.5%	67.3%	6.1%	98
	45歳～49歳	1.8%	18.8%	75.0%	4.5%	112
	50歳～54歳	0.0%	17.2%	78.8%	4.0%	99
	55歳～59歳	2.2%	23.6%	73.0%	1.1%	89
	60歳～64歳	3.9%	20.8%	72.7%	2.6%	77
	65歳～69歳	2.9%	23.7%	67.6%	5.8%	139
	70歳～74歳	2.1%	35.7%	55.7%	6.4%	140
	75歳以上	1.5%	34.3%	52.0%	12.1%	198
	世帯構成	無回答	0.0%	12.5%	37.5%	50.0%
乳幼児・未就学児		0.8%	14.4%	78.0%	6.8%	132
小学生・中学生		1.6%	19.9%	74.2%	4.3%	186
高校生・大学生		2.3%	15.5%	75.9%	6.3%	174
65歳以上74歳以下の方		1.8%	26.6%	64.0%	7.6%	331
75歳以上の方		1.9%	29.8%	61.1%	7.2%	265
1～5の該当者はいない		0.8%	18.1%	77.2%	3.8%	474
無回答		2.9%	25.7%	54.3%	17.1%	35
職業	農林業	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	6
	自営業	1.8%	18.2%	70.9%	9.1%	55
	会社または団体の役員	6.9%	27.6%	58.6%	6.9%	29
	会社員または団体職員(正社員)	0.9%	14.1%	81.6%	3.4%	348
	国家公務員または地方公務員	5.7%	28.6%	60.0%	5.7%	70
	派遣社員・パート・アルバイト	0.8%	19.1%	74.3%	5.8%	257
	専業主婦・専業主夫	0.5%	29.1%	64.8%	5.5%	199
	学生・生徒	1.5%	7.6%	86.4%	4.5%	66
	無職	2.1%	28.6%	61.4%	7.9%	290
	その他	4.2%	16.7%	66.7%	12.5%	24
	無回答	0.0%	43.8%	25.0%	31.3%	16
総数	1.6%	17.1%	76.0%	5.3%	855	
通勤・通学先	自宅	0.0%	24.0%	66.0%	10.0%	50
	狭山市内	1.4%	20.6%	73.0%	5.0%	281
	狭山市以外の埼玉県内	2.2%	14.9%	78.7%	4.1%	268
	東京都(23区内)	2.3%	11.5%	81.5%	4.6%	130
	東京都(23区外)	1.4%	17.6%	75.7%	5.4%	74
	その他	0.0%	8.7%	87.0%	4.3%	23
	無回答	0.0%	20.7%	65.5%	13.8%	29
総数	1.5%	21.6%	70.7%	6.2%	1,360	
居住地区	入間川地区	2.3%	17.8%	73.0%	6.9%	433
	入曽地区	1.9%	23.2%	71.3%	3.5%	314
	堀兼地区	0.8%	24.6%	66.7%	7.9%	126
	奥富地区	0.0%	20.3%	67.8%	11.9%	59
	柏原地区	1.0%	26.7%	69.3%	3.0%	101
	水富地区	1.1%	23.6%	68.1%	7.1%	182
	新狭山地区	2.1%	14.6%	83.3%	0.0%	48
	狭山台地区	0.0%	25.9%	67.1%	7.1%	85
	無回答	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	12
	住居形態	持家一戸建て	1.4%	24.1%	69.0%	5.5%
賃貸一戸建て		0.0%	13.8%	79.3%	6.9%	29
持家分譲マンション		2.0%	23.5%	65.8%	8.7%	149
民間賃貸マンション・アパート		2.4%	11.2%	82.4%	4.0%	125
公団(UK)賃貸住宅		0.0%	0.0%	92.3%	7.7%	13
県営住宅・市営住宅		0.0%	21.4%	64.3%	14.3%	14
社宅・公務員宿舎		0.0%	12.9%	83.9%	3.2%	31
同居・間借り・住み込み		3.0%	17.9%	76.1%	3.0%	67
その他		0.0%	27.3%	63.6%	9.1%	11
居住年数	無回答	0.0%	6.7%	46.7%	46.7%	15
	5年未満	0.8%	10.2%	85.0%	3.9%	127
	5年～9年	2.8%	12.3%	79.2%	5.7%	106
	10年～19年	0.5%	15.9%	78.5%	5.1%	214
	20年～29年	2.1%	17.8%	74.7%	5.3%	281
	30年以上	1.6%	29.5%	62.3%	6.6%	623
無回答	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	9	

問 27 あなたは、今後の狭山市の行財政改革の取組の方向性について、どのように思いますか。
 あてはまる番号 1 つに○印をおつけください。

回答者の今後の狭山市の行財政改革の取組の方向性についてどのように思っているかとしては、「積極的に推進する必要がある」が 36.1%で最も多く、ついで「どちらかといえば推進する必要がある」(27.7%)、「わからない」(26.7%)の順である。

項目	今回調査		前回調査	
	件数	割合	件数	割合
積極的に推進する必要がある	491	36.1%	622	40.9%
どちらかといえば推進する必要がある	377	27.7%	439	28.9%
あまり推進する必要はない	35	2.6%	32	2.1%
推進する必要はない	6	0.4%	7	0.5%
わからない	363	26.7%	329	21.6%
無回答	88	6.5%	92	6.1%
合計	1,360	-	1,520	-



n=1,360

■クロス集計

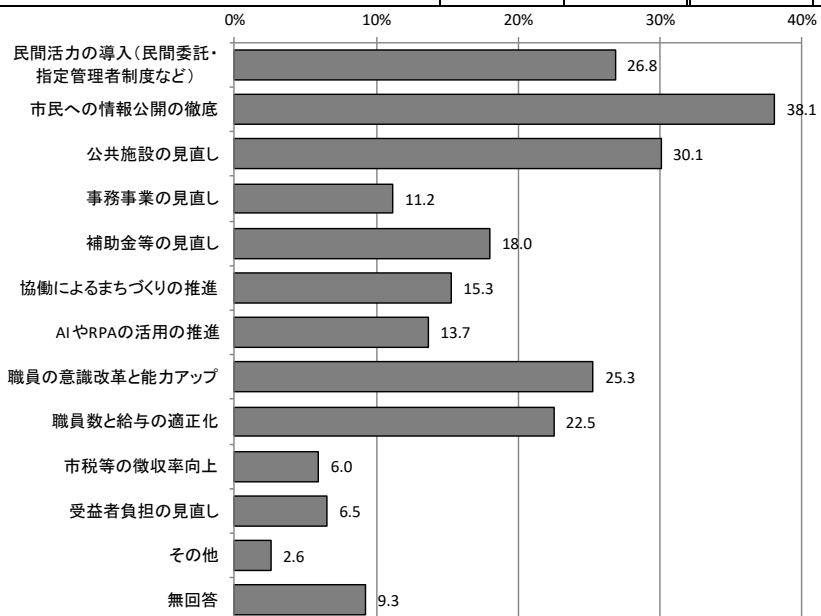
【性別】：改革推進の必要性に対する認識度は、男性の方が高い。
 【年齢階級別】：改革推進の必要性に対する認識度は、40歳以上の各階級で60%を超える。一方、49歳以下の各階級では、階級が若くなるほど「わからない」とする回答群の割合が高まる。

	積極的に推進する必要がある	どちらかといえは必要がある	あまり推進する必要はない	推進する必要はない	わからない	無回答	総数
総数	36.1%	27.7%	2.6%	0.4%	26.7%	6.5%	1,360
性別							
男性	40.9%	27.7%	2.9%	0.9%	22.1%	5.6%	585
女性	31.0%	29.0%	1.9%	0.1%	31.1%	6.8%	687
答えたくない	23.1%	7.7%	15.4%	0.0%	38.5%	13.4%	13
無回答	48.0%	20.0%	4.0%	0.0%	20.0%	8.0%	75
年齢階級							
18歳～19歳	23.1%	20.5%	2.6%	0.0%	46.2%	7.7%	39
20歳～24歳	25.4%	23.9%	2.8%	0.0%	45.1%	2.8%	71
25歳～29歳	26.7%	23.3%	2.3%	0.0%	41.9%	5.8%	86
30歳～34歳	18.8%	34.7%	3.0%	1.0%	35.6%	6.9%	101
35歳～39歳	30.1%	28.2%	1.9%	0.0%	35.9%	3.9%	103
40歳～44歳	35.7%	29.6%	4.1%	0.0%	24.5%	6.1%	98
45歳～49歳	38.4%	26.8%	5.4%	0.9%	24.1%	4.5%	112
50歳～54歳	32.3%	32.3%	1.0%	1.0%	30.3%	3.0%	99
55歳～59歳	32.6%	46.1%	2.2%	0.0%	16.9%	2.2%	89
60歳～64歳	40.3%	26.0%	2.6%	0.0%	26.0%	5.2%	77
65歳～69歳	47.5%	19.4%	2.9%	1.4%	22.3%	6.5%	139
70歳～74歳	49.3%	29.3%	0.0%	0.7%	15.0%	5.7%	140
75歳以上	42.9%	23.7%	3.0%	0.0%	17.2%	13.1%	198
無回答	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	8
世帯構成							
乳幼児・未就学児	27.3%	29.5%	1.5%	0.0%	34.8%	6.8%	132
小学生・中学生	34.4%	31.7%	2.7%	0.5%	26.3%	4.3%	186
高校生・大学生	33.3%	27.6%	1.7%	0.0%	30.5%	6.9%	174
65歳以上74歳以下の方	42.6%	25.1%	2.7%	0.9%	22.1%	6.6%	331
75歳以上の方	42.3%	26.0%	2.6%	0.0%	21.5%	7.5%	265
1～5の該当者はいない	34.6%	28.7%	3.0%	0.4%	28.9%	4.4%	474
無回答	25.7%	22.9%	0.0%	0.0%	28.6%	22.9%	35
職業							
農林業	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	6
自営業	45.5%	14.5%	1.8%	1.8%	27.3%	9.1%	55
会社または団体の役員	24.1%	34.5%	10.3%	0.0%	24.1%	6.9%	29
会社員または団体職員(正社員)	35.3%	25.3%	3.2%	0.6%	31.9%	3.7%	348
国家公務員または地方公務員	30.0%	37.1%	2.9%	1.4%	24.3%	4.3%	70
派遣社員・パート・アルバイト	31.9%	30.0%	0.8%	0.0%	31.5%	5.8%	257
専業主婦・専業主夫	36.7%	35.2%	0.5%	0.5%	21.6%	5.5%	199
学生・生徒	27.3%	22.7%	3.0%	0.0%	42.4%	4.5%	66
無職	43.1%	24.8%	3.8%	0.3%	19.0%	9.0%	290
その他	41.7%	29.2%	4.2%	0.0%	12.5%	12.5%	24
無回答	31.3%	12.5%	0.0%	0.0%	18.8%	37.5%	16
通勤・通学先							
総数	33.7%	27.3%	2.7%	0.5%	30.6%	5.3%	855
自宅	38.0%	18.0%	8.0%	2.0%	24.0%	10.0%	50
狭山市内	33.8%	26.0%	2.5%	0.4%	32.7%	4.6%	281
狭山市以外の埼玉県内	30.2%	32.1%	1.9%	0.0%	32.1%	3.7%	268
東京都(23区内)	36.9%	26.2%	2.3%	0.8%	27.7%	6.2%	130
東京都(23区外)	32.4%	25.7%	4.1%	1.4%	31.1%	5.4%	74
その他	47.8%	21.7%	0.0%	0.0%	26.1%	4.3%	23
無回答	34.5%	24.1%	3.4%	0.0%	24.1%	13.8%	29
居住地							
総数	36.1%	27.7%	2.6%	0.4%	26.7%	6.5%	1,360
入間川地区	30.7%	30.9%	2.8%	0.5%	28.6%	6.5%	433
入管地区	41.4%	26.8%	2.2%	0.3%	25.2%	4.1%	314
堀兼地区	40.5%	23.8%	4.0%	0.8%	23.0%	7.9%	126
奥富地区	27.1%	20.3%	0.0%	0.0%	37.3%	15.3%	59
柏原地区	44.6%	23.8%	4.0%	0.0%	26.7%	1.0%	101
水富地区	34.6%	28.6%	2.2%	1.1%	24.7%	8.8%	182
新狭山地区	41.7%	33.3%	2.1%	0.0%	22.9%	0.0%	48
狭山台地区	34.1%	27.1%	2.4%	0.0%	28.2%	8.2%	85
無回答	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	12
住居形態							
持家一戸建て	38.1%	28.0%	2.3%	0.6%	25.1%	6.0%	906
賃貸一戸建て	41.4%	24.1%	0.0%	0.0%	24.1%	10.3%	29
持家分譲マンション	37.6%	24.8%	5.4%	0.7%	22.8%	8.7%	149
民間賃貸マンション・アパート	29.6%	29.6%	2.4%	0.0%	36.0%	2.4%	125
公団(UR)賃貸住宅	15.4%	15.4%	0.0%	0.0%	61.5%	7.7%	13
県営住宅・市営住宅	14.3%	35.7%	0.0%	0.0%	28.6%	21.4%	14
社宅・公務員宿舎	25.8%	35.5%	0.0%	0.0%	35.5%	3.2%	31
同居・間借り・住み込み	32.8%	25.4%	3.0%	0.0%	35.8%	3.0%	67
その他	45.5%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	11
無回答	13.3%	13.3%	6.7%	0.0%	20.0%	46.7%	15
居住年数							
5年未満	27.6%	24.4%	1.6%	0.8%	39.4%	6.3%	127
5年～9年	25.5%	34.9%	1.9%	0.9%	31.1%	5.7%	106
10年～19年	30.4%	28.5%	2.8%	0.0%	33.6%	4.7%	214
20年～29年	35.2%	27.8%	2.8%	0.0%	29.5%	4.6%	281
30年以上	42.1%	27.3%	2.7%	0.6%	19.9%	7.4%	623
無回答	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	55.6%	9

問 28 狭山市の行財政改革を進めるうえで、今後、特に必要と思われることは何ですか。次の中から最大3つまでを選び、あてはまる番号に○印をおつけください。

回答者は狭山市の行財政改革を進めるうえで、今後必要と思うことは、「市民への情報公開の徹底」が38.1%で最も多く、ついで「公共施設の見直し」(30.1%)、「民間活力の導入(民間委託・指定管理者制度など)」(26.8%)の順である。

項目	今回調査		前回調査	
	件数	割合	件数	割合
民間活力の導入(民間委託・指定管理者制度など)	365	26.8%	471	31.0%
市民への情報公開の徹底	518	38.1%	561	36.9%
公共施設の見直し	409	30.1%	478	31.4%
事務事業の見直し	152	11.2%	146	9.6%
補助金等の見直し	245	18.0%	250	16.4%
協働によるまちづくりの推進	208	15.3%	246	16.2%
AI や RPA の活用の推進	186	13.7%	127	8.4%
職員の意識改革と能力アップ	344	25.3%	467	30.7%
職員数と給与の適正化	306	22.5%	435	28.6%
市税等の徴収率向上	81	6.0%	88	5.8%
受益者負担の見直し	89	6.5%	102	6.7%
その他	35	2.6%	28	1.8%
無回答	126	9.3%	139	9.1%
合計	1,360	-	1,520	-



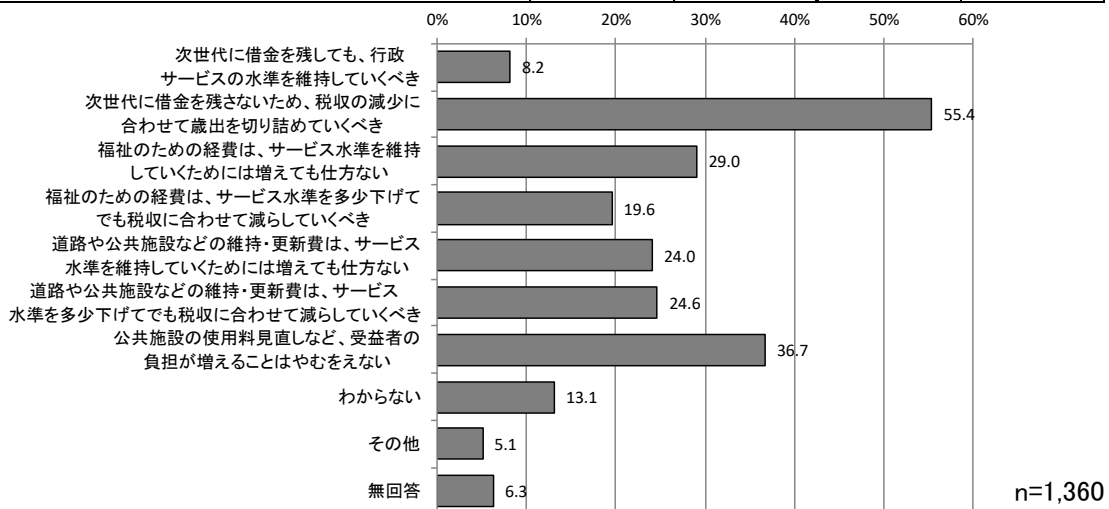
n=1,360

【その他】空き家・空き地対策、自動車工場跡地対策、職員削減、議員の活動が見えない、電子自治体化、企業誘致、公共事業の見直し、職員の待遇改善 等

問 29 現在、狭山市では人口減少と少子高齢化が進行しており、税収の減少、少子高齢化対策経費の増加により、今後の財政に関しては厳しい状況が続くと思われます。あなたは、今後の市政をどの方向にかじ取りしていくべきだと思いますか。次の中から最大4つまで選び、あてはまる番号に○印をおつけください。

回答者が考える今後の狭山市政のかじ取りの方向としては、「次世代に借金を残さないため、税収の減少に合わせて歳出を切り詰めていくべき」が55.4%で最も多く、ついで「公共施設の使用料見直しなど、受益者の負担が増えることはやむをえない」(36.7%)、「福祉のための経費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない」(29.0%)の順である。

項目	今回調査		前回調査	
	件数	割合	件数	割合
次世代に借金を残しても、行政サービスの水準を維持していくべき	111	8.2%	76	5.0%
次世代に借金を残さないため、税収の減少に合わせて歳出を切り詰めていくべき	753	55.4%	1,014	66.7%
福祉のための経費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない	395	29.0%	391	25.7%
福祉のための経費は、サービス水準を多少下げても税収に合わせて減らしていくべき	266	19.6%	388	25.5%
道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない	327	24.0%	237	15.6%
道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を多少下げても税収に合わせて減らしていくべき	335	24.6%	578	38.0%
公共施設の使用料見直しなど、受益者の負担が増えることはやむをえない	499	36.7%	548	36.1%
わからない	178	13.1%	166	10.9%
その他	69	5.1%	85	5.6%
無回答	85	6.3%	96	6.3%
合計	1,360	-	1,520	-



【その他】人件費削減、保育士等の待遇改善、市長や職員の身を切る努力、議員のボランティア化・定数削減、人口増加策、企業誘致・起業促進による税収増、受益者負担・市民税の増収 等

■クロス集計

【性別】：男女とも、「次世代に借金を残さないため、税金の減少に合わせて歳出を切り詰めていくべき」、「公共施設の使用料見直しなど、受益者の負担が増えることはやむをえない」とする回答群が高い。

【年齢階級別】：すべての階級で「次世代に借金を残さないため、税金の減少に合わせて歳出を切り詰めていくべき」が最も多い。これに、「公共施設の使用料見直しなど、受益者の負担が増えることはやむをえない」が続くが、「60歳～64歳」では「福祉のための経費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない」が続いている。

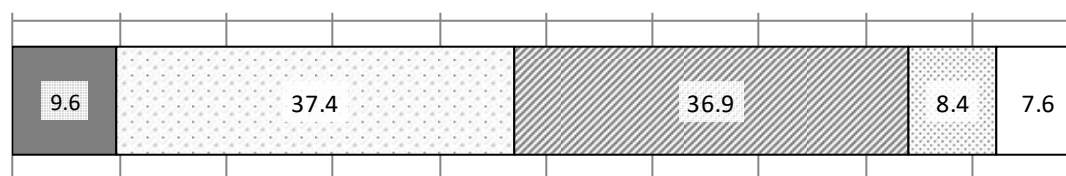
	次世代に借金を残さないため、行政サービス水準を維持していくべき	次世代に借金を残さないため、税金の減少に合わせて歳出を切り詰めていくべき	福祉のための経費は、サービス水準を維持していくべき	福祉のための経費は、サービス水準を増やしても仕方ない	道路や公共施設などの維持・更新費には、増やしても仕方ない	道路や公共施設などを多少下げても合わせて減らしていくべき	道路や公共施設などを多少下げても合わせて減らしていくべき	公共施設の使用料見直しなど、受益者の負担が増えることはやむをえない	わからない	その他	無回答	総数	
総数	8.2%	55.4%	29.0%	19.6%	24.0%	24.6%	36.7%	13.1%	5.1%	6.3%	1,360		
性別	男性	10.3%	60.2%	29.9%	25.1%	28.7%	27.0%	40.7%	10.4%	4.6%	585		
	女性	6.3%	51.7%	27.9%	14.8%	19.7%	23.1%	33.9%	15.7%	7.3%	687		
	答えたくない	23.1%	38.5%	23.1%	15.4%	0.0%	23.1%	15.4%	0.0%	15.4%	13		
	無回答	6.7%	54.7%	33.3%	20.0%	32.0%	20.0%	34.7%	12.0%	4.0%	75		
年齢階級	18歳～19歳	12.8%	46.2%	15.4%	25.6%	33.3%	20.5%	10.3%	2.6%	10.3%	39		
	20歳～24歳	7.0%	46.5%	23.9%	16.9%	16.9%	23.9%	22.5%	5.6%	1.4%	71		
	25歳～29歳	8.1%	46.5%	24.4%	10.5%	22.1%	14.0%	18.6%	20.9%	3.5%	86		
	30歳～34歳	9.9%	56.4%	25.7%	13.9%	31.7%	20.8%	37.6%	11.9%	5.0%	101		
	35歳～39歳	4.9%	55.3%	25.2%	18.4%	18.4%	25.2%	30.1%	11.7%	6.8%	103		
	40歳～44歳	9.2%	56.1%	30.6%	22.4%	22.4%	25.5%	33.7%	13.3%	10.2%	61		
	45歳～49歳	8.9%	51.8%	31.3%	16.1%	27.7%	25.9%	32.1%	10.7%	3.6%	112		
	50歳～54歳	6.1%	65.7%	28.3%	20.2%	15.2%	34.3%	41.4%	8.1%	3.0%	99		
	55歳～59歳	13.5%	53.9%	25.8%	14.6%	18.0%	25.8%	34.8%	10.1%	7.9%	89		
	60歳～64歳	13.0%	53.2%	37.7%	15.6%	26.0%	27.3%	31.2%	9.1%	6.5%	77		
	65歳～69歳	6.5%	56.8%	36.0%	19.4%	25.2%	23.0%	44.6%	11.5%	4.3%	139		
	70歳～74歳	5.0%	67.9%	25.7%	27.1%	22.1%	30.0%	48.6%	12.1%	3.6%	140		
	75歳以上	8.1%	54.0%	34.3%	23.2%	31.3%	24.7%	47.5%	16.2%	4.5%	198		
世帯構成	無回答	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	8		
	乳幼児・未就学児	7.6%	54.5%	28.0%	16.7%	22.7%	25.0%	30.3%	6.1%	6.8%	132		
	小学生・中学生	5.4%	64.5%	25.3%	18.8%	20.4%	27.4%	30.6%	9.1%	5.9%	186		
	高校生・大学生	8.6%	55.7%	25.3%	21.3%	25.9%	21.8%	38.5%	11.5%	3.4%	174		
	65歳以上74歳以下の方	5.1%	61.3%	28.1%	21.1%	23.6%	24.5%	44.4%	13.3%	6.9%	331		
	75歳以上の方	9.1%	54.0%	34.7%	16.6%	28.7%	21.9%	41.9%	14.3%	4.9%	265		
	1～5の該当者はいない	10.1%	52.1%	28.7%	20.3%	23.4%	25.1%	34.4%	13.9%	4.0%	474		
	無回答	11.4%	42.9%	17.1%	17.1%	8.6%	25.7%	25.7%	22.9%	5.7%	17.1%	35	
	農林業	16.7%	50.0%	50.0%	0.0%	16.7%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	6	
	自営業	12.7%	56.4%	38.2%	16.4%	27.3%	34.5%	36.4%	7.3%	10.9%	5.5%	55	
職業	会社または団体の役員	6.9%	48.3%	24.1%	17.2%	31.0%	20.7%	27.6%	13.8%	0.0%	13.8%	29	
	会社員または団体職員(正社員)	8.6%	59.5%	27.9%	17.2%	20.1%	27.3%	32.5%	10.3%	5.5%	3.7%	348	
	国家公務員または地方公務員	11.4%	60.0%	24.3%	28.6%	34.3%	21.4%	45.7%	7.1%	5.7%	5.7%	70	
	派遣社員・パート・アルバイト	7.4%	52.1%	29.6%	17.5%	21.8%	24.1%	29.2%	18.3%	4.3%	5.4%	257	
	専業主婦・専業主夫	7.0%	56.3%	27.6%	13.6%	23.6%	21.6%	40.7%	12.1%	4.0%	8.0%	199	
	学生・生徒	10.6%	43.9%	21.2%	25.8%	28.8%	18.2%	28.8%	13.6%	4.5%	6.1%	66	
	無職	6.2%	55.9%	33.1%	24.5%	26.6%	24.1%	45.5%	15.2%	5.9%	6.6%	290	
	その他	12.5%	50.0%	29.2%	37.5%	25.0%	37.5%	50.0%	12.5%	4.2%	8.3%	24	
	無回答	12.5%	43.8%	12.5%	18.8%	18.8%	18.8%	25.0%	12.5%	0.0%	31.3%	16	
	通勤・通学先	総数	9.0%	55.2%	28.3%	19.3%	23.4%	25.6%	33.0%	12.6%	5.1%	5.3%	855
自宅		6.0%	66.0%	30.0%	18.0%	20.0%	40.0%	44.0%	6.0%	4.0%	8.0%	50	
狹山市内		6.0%	57.7%	29.2%	19.2%	23.8%	26.0%	33.5%	15.3%	3.2%	4.3%	281	
狹山市以外の埼玉県内		13.1%	57.5%	27.6%	19.8%	22.8%	26.9%	26.5%	11.6%	4.5%	5.2%	268	
東京都(23区内)		7.7%	42.3%	24.6%	15.4%	27.7%	16.9%	34.6%	14.6%	7.7%	6.2%	130	
東京都(23区外)		9.5%	52.7%	32.4%	20.3%	16.2%	28.4%	33.8%	9.5%	10.8%	5.4%	74	
その他		13.0%	60.9%	26.1%	26.1%	21.7%	30.4%	39.1%	8.7%	8.7%	4.3%	23	
無回答	6.9%	51.7%	31.0%	27.6%	31.0%	13.8%	55.2%	10.3%	3.4%	6.9%	29		
居住地区	総数	8.2%	55.4%	29.0%	19.6%	24.0%	24.6%	36.7%	13.1%	5.1%	6.3%	1,360	
	入間川地区	11.1%	55.4%	27.7%	21.2%	23.8%	23.6%	34.4%	11.5%	5.8%	6.7%	433	
	入間地区	6.7%	55.4%	29.3%	18.5%	29.6%	21.3%	39.2%	12.7%	5.1%	4.8%	314	
	姫兼地区	8.7%	63.5%	30.2%	19.0%	23.8%	31.0%	38.9%	7.9%	3.2%	6.3%	126	
	奥富地区	3.4%	45.8%	32.2%	11.9%	16.9%	23.7%	28.8%	20.3%	3.4%	13.6%	59	
	柏原地区	7.9%	52.5%	33.7%	15.8%	22.8%	21.8%	36.6%	20.8%	4.0%	2.0%	101	
	水富地区	5.5%	58.2%	26.4%	22.0%	20.9%	28.6%	36.8%	13.2%	4.9%	6.6%	182	
	新狹山地区	6.3%	54.2%	33.3%	25.0%	16.7%	33.3%	41.7%	10.4%	6.3%	2.1%	48	
	狹山台地区	8.2%	52.9%	29.4%	18.8%	23.5%	25.9%	41.2%	16.5%	7.1%	7.1%	85	
	無回答	8.3%	16.7%	25.0%	8.3%	16.7%	8.3%	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%	12	
	住居形態	持家一戸建て	7.5%	56.7%	29.6%	20.0%	24.9%	25.1%	37.9%	12.9%	5.1%	5.8%	906
		賃貸一戸建て	10.3%	41.4%	13.8%	27.6%	24.1%	27.6%	20.7%	13.8%	10.3%	10.3%	29
		持家分譲マンション	5.4%	53.0%	36.2%	20.8%	25.5%	28.2%	38.9%	8.1%	5.4%	7.4%	149
		民間賃貸マンション・アパート	12.0%	55.2%	25.6%	14.4%	24.0%	17.6%	32.0%	12.8%	5.6%	5.6%	125
公団(UR)賃貸住宅		7.7%	53.8%	15.4%	7.7%	15.4%	15.4%	23.1%	53.8%	7.7%	0.0%	13	
県営住宅・市営住宅		14.3%	50.0%	14.3%	21.4%	21.4%	42.9%	21.4%	21.4%	0.0%	7.1%	14	
社宅・公務員宿舎		12.9%	51.6%	22.6%	19.4%	22.6%	35.5%	12.9%	0.0%	9.1%	3.1%	31	
同居・間借り・住み込み		10.4%	55.2%	32.8%	14.9%	16.4%	23.9%	37.3%	14.9%	6.0%	3.0%	67	
その他		9.1%	63.6%	18.2%	54.5%	27.3%	27.3%	72.7%	9.1%	0.0%	0.0%	11	
無回答		13.3%	33.3%	13.3%	6.7%	6.7%	13.3%	13.3%	26.7%	0.0%	33.3%	15	
居住年数	5年未満	8.7%	46.5%	18.1%	24.4%	26.8%	20.5%	29.9%	12.6%	3.1%	7.1%	127	
	5年～9年	7.5%	52.8%	24.5%	8.5%	24.5%	18.9%	38.7%	14.2%	8.5%	6.6%	106	
	10年～19年	9.3%	57.0%	29.9%	19.2%	25.7%	25.7%	34.6%	14.5%	5.6%	5.1%	214	
	20年～29年	9.3%	52.3%	31.3%	19.6%	18.9%	27.8%	28.8%	14.2%	2.8%	4.3%	281	
	30年以上	7.4%	59.1%	30.7%	20.9%	25.2%	25.0%	42.5%	12.2%	5.8%	6.6%	623	
無回答	0.0%	11.1%	33.3%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	9		

問 30 様々な人口増加策を講じているにもかかわらず、狭山市の人口も、日本全体の人口も減少しているなかで、これからの狭山市の人口政策について、あなたは次のうちいずれの考え方が重要だと思いますか。あてはまる番号 1 つに○印をおつけください。

回答者がこれからの狭山市の人口政策として重要であると考えることとしては、「他の政策も考慮しつつ、一定の対策を講じて、人口の減少を抑制するべき」が 37.4%で最も多く、ついで「人口が減少しても住みやすいまちをつくることに努めるべき」(36.9%)の順である。

項目	今回調査		前回調査	
	件数	割合	件数	割合
他の政策よりも、人口を増加させることを優先して財源を集中するべき	131	9.6%	98	6.4%
他の政策も考慮しつつ、一定の対策を講じて、人口の減少を抑制するべき	509	37.4%	535	35.2%
人口が減少しても住みやすいまちをつくることに努めるべき	502	36.9%	635	41.8%
わからない	114	8.4%	116	7.6%
無回答	104	7.6%	136	8.9%
合計	1,360	-	1,520	-

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■	他の政策よりも、人口を増加させることを優先して財源を集中するべき
□	他の政策も考慮しつつ、一定の対策を講じて、人口の減少を抑制するべき
▨	人口が減少しても住みやすいまちをつくることに努めるべき
▤	わからない
□	無回答

n=1,360

■クロス集計

【性別】：男女とも、「他の政策も考慮しつつ、一定の対策を講じて、人口の減少を抑制するべき」及び「人口が減少しても住みやすいまちをつくることに努めるべき」がほぼ拮抗している。

【年齢階級別】：高い年齢階級で「他の政策も考慮しつつ、一定の対策を講じて、人口の減少を抑制するべき」が、若い年齢階級で「人口が減少しても住みやすいまちをつくることに努めるべき」がそれぞれやや多くなっている。なお、「他の政策よりも、人口を増加させることを優先して財源を集中するべき」とする人は、年齢階級が上がるほどに割合が低くなる。

	他の政策も考慮しつつ、一定の対策を講じて、人口の減少を抑制するべき	他の政策も考慮しつつ、人口の減少を抑制するべき	人口が減少しても住みやすいまちをつくることに努めるべき	わからない	無回答	総数
総数	9.6%	37.4%	36.9%	8.4%	7.6%	1,360
性別						
男性	13.0%	38.1%	36.8%	5.8%	6.3%	585
女性	6.7%	37.3%	37.3%	10.6%	8.2%	687
答えたくない	7.7%	15.4%	38.5%	15.4%	23.1%	13
無回答	10.7%	37.3%	34.7%	6.7%	10.7%	75
年齢階級						
18歳～19歳	17.9%	28.2%	28.2%	17.9%	7.7%	39
20歳～24歳	12.7%	33.8%	38.0%	14.1%	1.4%	71
25歳～29歳	9.3%	39.5%	32.6%	10.5%	8.1%	86
30歳～34歳	14.9%	28.7%	45.5%	5.9%	5.0%	101
35歳～39歳	10.7%	35.0%	36.9%	9.7%	7.8%	103
40歳～44歳	9.2%	33.7%	42.9%	7.1%	7.1%	98
45歳～49歳	12.5%	35.7%	33.9%	12.5%	5.4%	112
50歳～54歳	8.1%	46.5%	31.3%	8.1%	6.1%	99
55歳～59歳	6.7%	39.3%	40.4%	9.0%	4.5%	89
60歳～64歳	9.1%	46.8%	32.5%	2.6%	9.1%	77
65歳～69歳	7.9%	41.0%	38.1%	4.3%	8.6%	139
70歳～74歳	5.7%	42.1%	39.3%	4.3%	8.6%	140
75歳以上	9.1%	34.8%	35.4%	10.1%	10.6%	198
無回答	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	62.5%	8
世帯構成						
乳幼児・未就学児	12.9%	31.8%	38.6%	6.8%	9.8%	132
小学生・中学生	10.8%	38.2%	36.6%	8.6%	5.9%	186
高校生・大学生	10.3%	44.8%	26.4%	10.3%	8.0%	174
65歳以上74歳以下の方	8.5%	45.3%	32.9%	6.0%	7.3%	331
75歳以上の方	8.7%	41.1%	35.1%	7.9%	7.2%	265
1～5の該当者はいない	9.3%	33.8%	40.5%	10.1%	6.3%	474
無回答	20.0%	11.4%	37.1%	5.7%	25.7%	35
職業						
農林業	0.0%	66.7%	16.7%	0.0%	16.7%	6
自営業	9.1%	49.1%	34.5%	0.0%	7.3%	55
会社または団体の役員	13.8%	34.5%	31.0%	10.3%	10.3%	29
会社員または団体職員(正社員)	13.5%	37.6%	35.6%	8.6%	4.6%	348
国家公務員または地方公務員	7.1%	35.7%	47.1%	7.1%	2.9%	70
派遣社員・パート・アルバイト	7.8%	37.4%	37.0%	9.7%	8.2%	257
専業主婦・専業主夫	3.0%	38.7%	39.7%	9.5%	9.0%	199
学生・生徒	18.2%	28.8%	34.8%	13.6%	4.5%	66
無職	10.0%	37.6%	35.5%	7.6%	9.3%	290
その他	8.3%	33.3%	41.7%	0.0%	16.7%	24
無回答	6.3%	18.8%	37.5%	6.3%	31.3%	16
通勤・通学先						
総数	11.1%	37.4%	36.7%	8.4%	6.3%	855
自宅	8.0%	48.0%	30.0%	4.0%	10.0%	50
狹山市内	10.0%	36.3%	36.7%	11.7%	5.3%	281
狹山市以外の埼玉県内	13.4%	32.1%	41.4%	8.2%	4.9%	268
東京都(23区内)	15.4%	41.5%	32.3%	4.6%	6.2%	130
東京都(23区外)	6.8%	45.9%	29.7%	8.1%	9.5%	74
その他	4.3%	43.5%	43.5%	4.3%	4.3%	23
無回答	3.4%	34.5%	37.9%	6.9%	17.2%	29
居住地						
総数	9.6%	37.4%	36.9%	8.4%	7.6%	1,360
入間川地区	11.3%	35.3%	38.1%	7.4%	7.9%	433
入管地区	8.6%	37.3%	38.5%	9.9%	5.7%	314
堀兼地区	3.2%	45.2%	38.9%	4.8%	7.9%	126
奥宮地区	10.2%	32.2%	23.7%	16.9%	16.9%	59
柏原地区	8.9%	40.6%	37.6%	8.9%	4.0%	101
水害地区	9.9%	38.8%	38.5%	7.1%	7.7%	182
新狹山地区	14.6%	33.3%	39.6%	10.4%	2.1%	48
狹山台地区	12.9%	42.4%	24.7%	9.4%	10.6%	85
無回答	0.0%	25.0%	41.7%	0.0%	33.3%	12
持家一戸建て	10.2%	39.5%	34.4%	8.2%	7.7%	906
賃貸一戸建て	13.8%	44.8%	27.6%	10.3%	3.4%	29
持家分譲マンション	10.1%	31.5%	40.9%	9.4%	8.1%	149
民間賃貸マンション・アパート	3.2%	27.2%	52.8%	10.4%	6.4%	125
公団(UR)賃貸住宅	7.7%	46.2%	38.5%	7.7%	0.0%	13
県営住宅・市営住宅	14.3%	42.9%	28.6%	7.1%	7.1%	14
社宅・公務員宿舎	9.7%	32.3%	45.2%	9.7%	3.2%	31
同居・間借り・住み込み	11.9%	43.3%	34.3%	6.0%	4.5%	67
その他	9.1%	36.4%	45.5%	0.0%	9.1%	11
無回答	6.7%	13.3%	26.7%	6.7%	46.7%	15
居住年数						
5年未満	12.6%	26.0%	45.7%	8.7%	7.1%	127
5年～9年	12.3%	35.8%	34.9%	10.4%	6.6%	106
10年～19年	12.1%	36.0%	36.9%	8.4%	6.5%	214
20年～29年	10.3%	35.9%	36.3%	10.3%	7.1%	281
30年以上	7.5%	41.3%	36.1%	7.2%	7.9%	623
無回答	0.0%	33.3%	11.1%	0.0%	55.6%	9

問 31 これからの狭山市のまちづくりについて、何かご意見やご提案（アイデア）、夢をお持ちでしたら、自由にご意見をお書きください。

○回答総数 1,360 件中、自由意見の記述があったものは 475 件であった。自由意見は分割せず、記載順に「1 環境共生」、「2 健康福祉」、「3 都市基盤」、「4 産業経済」、「5 教育文化」、「6 市民生活」及び「7 計画推進」のいずれに関するものかにより分類し、主なものを抄録した。

(抄)

施策分野			回答内容
①	②	③	
1	3	6	ゴミの分別が進んでおり良いことだと思います。以前よりいろいろなサービス、地域産業の宣伝や推進ができていているように感じます。細く入り組んでいる道路の整理を希望します。雨水の管理(処理)や側溝の土砂等についても策を講じてほしいです。
1	3		緑(草・木・花)を増やして欲しい。公園や、休める場所を増やして欲しい。
1	3		現在ある雑木林を保存してほしい。入間川に水遊びの場所をいくつか作ってほしいと思います。
1	3		① 「緑と健康で豊かな文化都市を目指す」のは人口増加によい。 ② 子育ての環境作りに緑の多さはかかせませんし子供の医療の充実を計り補助金の支給も必要と思います。子供が増加することが人口増加になります。 ③ 文化都市でありながら田舎の良さもある狭山市です。入間川、秩父の山並みは素晴らしいです。アピールを。 ④ 四季の花が咲く、街づくりをしてほしいです。 ⑤ 入間川の岸辺(左岸)にトラックを造ってほしいです。
2	3	7	子育て支援とか障害者対策とかずいぶん声を大きくして言ってらっしゃいますが、子供も障害者も関係ない老人がたくさんいるはずで。子供には親がいます。老人に同居者のいない事が多いですね。もう少し、何にもあてはまらない老人の事も考えて。駅前はどこも道路だらけで、ゴーストタウンになりそうです。もう少し利益を生み出す町づくりができなかったのかな？市の職員も議員数も、もう少し減らして経費を節約してはいかがですか？
2	3		東京から狭山に引っ越してきました。子供へのサービスは充実していると思いますが、正直、そこまで必要か？と思う事もあります(0~3才へのサービスは素晴らしいけど、6才以上は…)子供を公園でのびのび遊ばせたい時は、皆市外へ行っています。なので、一番望む事は公園の遊具の充実です。
2	3		保育園、学童の開園時間を長くしてほしい。平日の病院の閉院時間が早いところが多く困る。公園が草ボーボーでマダニやカが心配。よく言えば緑がいっぱい、でも中に入ると薄気味悪く、日中も少し不気味で遊ばせにくい。遊具も古くトゲが刺さりそうで怖い。
2	3		少子高齢化どこでも頭の痛い問題です。若い人達が狭山市駅(特急停車駅)に降りてもらって、駅近くにまず他にない施設を！また交通機関(公共)が便利でなければ面倒だとスルーしてしまうと思う。緑豊かな所もあるので静かに子育てしつつ便利でなければ住みつこうと思わないのでは。前後に本川越、所沢がありますからもっと先を見た計画をしてほしい。狭山市駅周辺はあまり評判が良くないようです。高齢者の足をうばわないでください。これ以上、高齢者の施設を増やさないとダメ。
2	3		子供がほしくてできない家庭が増えていると思うので、不妊治療の助成金の見直しをしてほしいです。有料道路が無料になれば、朝、夕方の道路の渋滞は緩和されるのではないかと。

施策分野			回答内容
①	②	③	
2	3		・働く女性が住みやすい市にすることで人口は増加する可能性があります。(保育時間の延長や学童の年数を増やすなど)・西武新宿線と西武池袋線をつなぐコミュニティバスを作ってほしいです。今あるものは本数も少なく、遠回りなので時間がかかるので利用しません(武蔵藤沢駅⇨入曽駅をつなぐもの)。
2	4	7	保育資格を持っていても、介護の仕事に興味があってもいい、まずは子供の預け先が決まらないと何も動けない。それぞれを探す体制ではなく一緒に進めていける制度(預け先と仕事先(福祉))を考えてほしい。一時保育も"園に確認してください"ではなく、市役所の窓口で、一覧で分かれば仕事先も決めやすい。その方が預かれる子供の人数を増やし、高齢者の方も利用しやすくなると思う。
2	5	3	発達障害について教師や子供達の理解の促進。からかいなどのいじめ予防。教師の不登校について勉強して欲しい。無理矢理登校させるや対応せず放置はやめる。発達の不登校の居場所。今の適応指導教室は発達の子達は難しい。小学生の放課後デイ以外で療育や居場所作り。狭山市での発達障害専門の病院や検査、療育など出来ると良いです。狭山台に教育センターがあり、入曽水野方面からだと遠い。入曽駅付近に発達や不登校など相談出来る場所が欲しい。相談して終わるだけではなく、その後どうしたらよいか？学校などと連携。障害の手当てなど、自分で調べないと教えてくれない。その為後から知り何回も窓口に行くことになる。窓口に行ったときちゃんと他にも色々な手当てが対象にあることを教えてほしい。入曽駅周辺が危ないので早く新しくして欲しい。入曽から北入曽やオコーなど行けるバスが欲しい。PTA 参加が任意だときちんと各家庭に知らせて欲しい。
2	6		①子育てに対する経済的支援に力を入れて頂きたいです。具体的には保育料の軽減です(学童保育を含む)。子供をもっと持ちたいと思っても保育料が高いためあきらめている状態です。また仕事と子育ての両立にも支援頂きたいです。子供が病気になった時など仕事を休まなければならない時、預け先がなく困っています。②大災害が起きた時、行政の初動対応がどの程度なのか不明な為、不安があります。避難所へ避難して下さいと言われても(避難指示が発令の際)、住民全員が各避難所へ入り切れるのか疑問があります。また避難所自体が安全であるとは限らない場所にある為、行政が安全確認出来た場所へ速やかに誘導して頂きたい。
2	6		狭山市民の人口増加に良い町を作るには、子育てに力を入れる事だと思います。今あるのかもしれませんが、各地域に子育て相談会、各地区に気軽に隣のおばさん、おじさんと話し合う場を設けるなどにより、今の老人は元気な人達も大勢いると思います。みんな子育て経験者なので、若い人達と話し合う事で私達老人にも生きがいになります。子育て手伝い地域コミュニティ、健康につながり口コミで狭山市に住みたいと思ってくれる若い人達が増えてくれると思います。
2	7	3	こども医療費(無償)はずばらしいと思います。現行は中学生までですが18歳まで拡大させる。狭山市内の企業に対し、地域の行事に参加できるように指導していただきたい。市役所での受付もすぐに案内していただき、とても素晴らしいと思います。子供達がサッカーや野球など、ボール遊びができる環境、芝のグラウンド等、予約なしで気軽に遊べる場所があるといいと思います。
2	7		待機児童が多すぎると思います。働きたくても子供が保育園に入ることができない。地域型の子供たちが優先的に保育園へ入るのはなぜでしょうか？人口を増やしたいのならファミリー世代に優しいまちづくりが必要なのではないのでしょうか？まずは第一に待機児童を減らしてほしいです。保育園を増やしてほしい。子育てがしやすくなれば人口も増えてくると思います。
2	7		狭山市においても高齢化が進んでいると思うので不妊検査や不妊治療、子育て支援などに力を入れてファミリー層の転入につなげるのがいいと思う。

施策分野			回答内容
①	②	③	
2	7		子どもの育成に関わる保育園や学童保育室等の職員の処遇改善と質の向上を求めます。働く親が安心して子どもを預けられる環境を整えていただきたいです。現在ほとんどの保育園では就学の直前まで午睡時間を設けており午睡を必要としない幼児も午後の2時間横になっていなければならない状況です。職員の休憩時間や事務時間の確保の為に眠くない子どもが無理に午睡をしなければならないことに疑問を感じます。パート職員等を加配できればそのような問題はおこらないのではないかと思います。これからの未来を担って行く子ども達がより良い環境で成長して行ける様に教育環境の改善に力を注いでいただければと思います。
2	7		少子化対策について。高齢者の割合が多いので高齢者の意見が強くなるが、若い人が住みやすい街、住みたくなる街にすれば少子化対策になると思う。
2			夜間救急で対応可能な救急医の育成に力を入れ、高度救命救急センターなどを作り、医療面でもう少し力を入れてほしい。今の状況なら他の県に住み、救急センター等が充実しているところを探す方がありました。
2			子供達が成人になるまで無事に育つように安心して子育てできるようなまちづくり、そして障害者の方も安心してまちを歩けるようなまちづくりをしてほしいと思います。
2			介護認定されていない老人でも、ショートステイのように一時預かりしてもらえる施設を作ってもらえることは無理でしょうか？米寿を迎えた義父と同居していますが、火事の心配、施設への心配など色々あり、夫婦で旅行に出かけることもできません。老人をかかえた家族が、ストレスをためなくて生活できるような事も考えていただけると、狭山市に住んで良かったと思うのではないのでしょうか。
2			狭山市は高齢化率が高い市ですが、高齢になるまで狭山市に住み続けているということは、狭山市は永く住みやすい所なのかもしれません。高齢化率が高いとマイナスなイメージになりやすいですが、逆に永く住み続けられる秘訣が狭山市にはたくさんあると思います。
2			高齢者、若い家族がともに住みやすい環境をより整備していくことが大切になるのではと思います。具体的には健康福祉を基盤に、地域の商業を活性化させる事で、狭山市への人の出入りを多くしていく。その恩恵を子育てにしっかり当てていく事が、将来の狭山市の発展につながるのではと思います。
2			子どもの数が増えるごとに、保育所に入る優先順位が上がったり、子育て支援(お祝い金)の額が増えたり、住宅手当があったりすると、他に移るより狭山市で子育てをしたいなと感じます。
2			身障者及びその家族の者がどんな思いで生活しているかを自分の身に置き換えて真剣に考えていただきたいです。
2			民間学童を増やしてほしい。共働きの家庭は増えるのに学童に入れない家庭も多い。
3	1		西武新宿線がもし何日間動かないや事故等あったときに通勤ができなくなってしまうのではと不安です。埼玉県は鉄道自体が縦移動しにくい構造のため、難しいですが、そこが少しずつ改善していくと狭山市から他の市への移動また狭山市に住みたいと思う方が増えるのではと思います。路上喫煙も多く、今後子育てをしていく上で心配な点も多いです。駅前に東口・西口ともに喫煙スペースがありますが、あまりにオープンスペースな気がします。例えば、町田駅は喫煙スペースに囲いがあり、外に煙がもれないようになっています。受動喫煙のリスクも考えれば植木を置くなど、もっと工夫ができるのではないかと思います。
3	1		1. 公共の交通網を充実させて、人の動きを活発にしたらどうですか？2. 市民一人一人が海洋汚染に関心を持つよう、啓蒙活動を地道にやって、プラスチックごみを出さない様指導してください。
3	1		昨今、各所に空き家が増加しております。私有地ということで、対応が難しいかとは思いますが、近隣の者にとっては不安が大きいので、何らかの対応をお願いしたいと思います。

施策分野			回答内容
①	②	③	
3	1		街灯が少ない所は建物の数によって定められていると聞いたが、暗くてあぶない所には街灯をつけてほしい。公園の桜の木が伸びすぎているが、適当な長さに切った方が良いと思う。
3	1		生まれも育ちも狭山市です。私は川のあるこの町が好きで、サイクリングロードの桜は毎年見えています。今は子供もいて仕事もしているのでゆっくり河川敷に行くことはありませんが、子供がもう少し大きくなったらちょっと良い自転車を買って、サイクリングロードを走って、川の流れをボーッと見ながら本を読んだりして過ごしたいです。草木が多いイメージなので、もう少し寛げる広場があるといいなと思います。
3	2	5	狭山市だけでなく、埼玉県若者は都会に出てしまう。なぜならば若者が楽しめる場所がないからである。また、生きがいが見いだせないからである。県政や市政が、老人や義務教育者や会社中心で、青年層に対するものがなにもひとつないと感じるからである。医療でさえ、市の総合病院の診断を持って都内の大学病院に出向く様では市医療に信頼がない。教育は家庭がしっかりしていれば問題がない。片親家庭にさらなる支援を望む。
3	2	7	子供がまだ小さいので公園や児童館をもっと充実させてほしい。ちゃっぽ(総合子育て支援センター)は駐車場がないので利用しにくい。障害児を連れて行きにくい。狭山市駅が利用しにくい。車がないととにかく不便なのに、駅近くの駐車場が少ない。狭山市駅の近くに図書館や市民交流センターがあるのに、うまく活用できていない。狭山市駅西口は歩いているととても不便を感じ、無駄に遠回りしている気分になる。児童館も駐車スペースが狭く止めににくい。
3	2		ウォーキングやジョギングをしたいが舗装が固く膝を痛めてしまう。富士見地区には広い公園もなく安心して走れる場所もない。安心してウォーキング、ジョギング出来る専用の歩道や緑を作ってほしい。
3	2		①もっと狭山市に人が集って来る様な施設(映画館・アウトレット・テーマパーク…)やテレビで放送される様なイベント企画などして、活気ある街づくりに取り組んで欲しい。学校跡地を住宅にしてしまうなどは最低のこと。②健康寿命を更にのばす様なジム・プール・レッスン・大会企画などなど施設の充実と、そこへ誘導する様な行政の姿勢が欲しい。
3	4	1	狭山市駅西口のコミュニティセンターは、市民会館の近くでも良かったのではないのでしょうか。西口駅の周辺が活性化していません。商業施設を充実させたらと思います。茶の花号の運行経路を見直したらどうでしょう？私の希望としては、柏原ニュータウンから石心会のクリニックを周って病院→駅に行く。ゴミ収集車のことですが、集積所までもっていくのが大変です。何とかならないでしょうかね。
3	4	6	1ホンダ跡地へ西武ライオンズ球場新設、2入間基地のコミュニティー飛行場としての使用、3有料環状道路にかかる橋の無料化、4先端技術を使った農業法人の誘致、5市による売電事業、6航空自衛隊入間基地でのC1輸送機からC2への更新の促進。
3	4	7	1. 入間川の有料橋を無料化し、工業団地に企業誘致を増やし税収を上げる。2. 新富士見橋の交通量・安全面をもっと考えてほしい(信号等、右折信号を増やす)。3. 水富地区、柏原地区等が市中心からとり残されている感が強い(できれば狭山台方面に住みたいです)。4. 七夕通り商店街のさびれ感。5. 広瀬公民館を新しくし、災害時に避難所として利用できる位の場所(広さ、駐車場、子供達の遊び等も)がほしいです。
3	4		現在の狭山市駅周辺特に西口再開発後、公共施設が主となり、駅利用者は単なる通過地点(鉄道利用だけ)となっている。大型商業施設等、魅力のある施設が複数あると活気のある街になるのではないか。いつも七夕祭りのように集客性のある、若い人が集まりやすいショップ等を誘致してはどうかと思っています。人が集まる、集まりやすい何かが必要だと思います。

施策分野			回答内容
①	②	③	
3	4		狭山市駅は、今はきれいで使い易くなっていますが、駅に行くたびに思うことが駅、駅周辺にレストランなどの食事処が無いことが大変残念です。駅で友人とお食事をして思っても残念ながら思う所がありません。昔の狭山市駅は洋服店、レストランもありました。新しい駅になってから、楽しみの無い駅になりとても残念です。現在の本屋さん、100円ショップのところが、食事処(レストラン)であったら良かったと思っています。洋服店、レストランがあるともっと活気ある駅になると思います。
3	4		狭山市は災害に強い立地であり、所々に緑もあるよい市と考えております。しかし交通の便が悪いと感じることは多いです。特に、私の最寄り駅である入曽駅は開発が進まず、駅利用について不満や不便さを感じております。特に、駅前にロータリーを早急に作るべきだと思います。私自身は駅から自宅まで徒歩なのですが、特に雨の日は、送迎の車で危険な思いを何度もしております。更に、駅前にお店や居酒屋などがあることで活気が出て、より住みたい市となるのではないかと思います。
3	4		改札口・駅周辺活気がない。駅前などショッピング、食事するところなく駅についても帰宅へという雰囲気でおもしろみがない。狭山市=狭山茶というイメージなのに茶店。狭山茶商品はどこで販売しているの？(お茶屋さんはいくつあるのに)テレビで見ました(所沢)のお店で食事(お茶使用)をしていて、こういうお店も良いなと思いました。
3	4		福祉施設とバスの本数を増やして欲しい。車が運転できなくてもスムーズに行動が出来るようにしてもらいたいです。商店街が欲しい。
3	4		現在の状況では、ほとんどの人が狭山市は単なる通過地点でしかなく、買い物などでは、川越、所沢、都内に行ってしまう。駅前を整備しても、市民のみの利用が多く、私の知人も働きはじめ、すぐに都心や別の市へ移住する人がほとんどです。このままでは人口減少、高齢者の多い地域になります。まずは今まで通過地点として利用していた人々を狭山市で下車したくなるよう、商店街を活性化させ、商店街の人通りや、お金の流れを作り、若者が働く場所を作ってあげるのはどうでしょうか？(都心に移動した知人らの移動理由は、狭山市では希望職種がないからでした。)
3	4		当方のように、「移住」して来た者からすると特に問題もなく都心にも出られるし不満はないが「狭山市のこれから」を考える意識はうすい。やみくもに人口が増えても所属意識が希薄であれば力にはならない。新参者の目からすると狭山市は自然が豊かで重要な人間基地があり圏央道へのアクセスがよく、まだ土地が余裕で残っている。工業系、工場系が強く、倉庫業というか(ロジスティクス?)向いていると思うので、弱いところを補強するより「強みな何か？」ということをもっと分析してそれを伸ばし人口は自然増でいいと思う。成功している自治体を参考にするのも良い。
3	4		私は入間川河川敷を散歩しているが、行政が先頭に立ち、民間活力も大いに活用し誰もが心から四季を通じて楽しめるような一大遊園地を他に無いような特長を編み出して市全体の活性化を造り出すべきだと思う。狭山市は余りにも特長が無さ過ぎる気がしてならない。
3	4		入曽地区の道路事情は大変悪く、ゆっくり散歩する道も無い状況。まずは身近な所から整備して欲しい。何とか若者が夢や希望を持って住めるよう、働く場所の確保が大切と思う。
3	4		放置されている私有地を活性化させる。商業施設や企業を駅周辺に充実させる。(映画館など)人が集まる街づくりを推進する。なるべく市民が狭山市でお金を使わせるよう商業施設を充実させるべきである。似たようなお店が多いので、都内などにしかないお店も導入するべき。狭山市駅前にできたベーグル屋さんはかなり混雑しているので、いい店には人は集まる。オシャレで、自然豊かな、他にはないまちづくりを目指してほしい。
3	5		東中廃校跡地の利用について①近隣市ではちゃんとした野球場があるが狭山市にはありません。跡地利用として野球場(又は多目的スポーツ)を作ってはどうか?②現在、入間川東小では校舎が古くなっており、大雨が降ると雨漏りすると聞いています。入間川東小と元東中ではそれ程離れてはいないのでそこを利用して小学校を改築しては?

施策分野			回答内容
①	②	③	
3	5		入間川沿いでのイベント(鯉のぼりや灯の川など)毎回こどもたちと楽しみにしています。歩いて行ける場所で、毎月楽しいイベントがある狭山市に住んで良かったと感じます。川沿いに越生のオーパークのような、気軽にテント宿泊や体験のできる場所ができれば、近所のお友達とアウトドアを楽しめるなあと思います。狭山市内に大小たくさん公園がありますが、どこも同じような遊具ブランコ、滑り台では結局飽きてしまい行きません。新しい遊具ができ、またその情報を広く公開してもらえると、他市のお友達も誘うこともできますし、楽しみが増えます。公園で見かけるこどもたち、ただ集合し公園でゲームしているだけだと、もったいないと思います。運動場として遊具のない公園、遊具が楽しい公園、使う年齢層がバラけて各々が邪魔にならず思いきり楽しめる公園整備をお願いします。地域ごと学区が決められていますが、学校を選べる地区を見直してもらいたいです。住所が狭山で入間川東小ですが、一番遠く、新狭山小の方が断然近いです。道を挟んで向かい側のお宅は奥富小、踏切を挟んだ向かい側のお宅は新狭山小と、せっかく幼なじみで育ったお友達とみんなバラバラの学校に行っています。そういった地区では学校を選択制にしてもらいたいです。
3	6	2	・若い人口を増やしていく施策・住宅・入曾方面に多い空き家を整理し、若い世帯が活用しやすい家賃にして住居環境を整える。教育・若い人たちが子供を産み育てる教育的環境づくり(保育所、保育費、子育てサポート等の充実。埼玉では滑川町が積極的な取り組みをしていると聞きます。・高齢社会の取組・和光市、志木市の取組を積極的に取り入れる・ロコモ対策について・70才 80才代前半の人たちの中にも社会的生産能力を持つ人達がいる。潜在している人たちの発掘に努め、地域との協働で地道な活動を重ねられるような施策を。
3	6	2	公園の遊具を充実させてほしい。市営団地を使用していない所は安全のため早めに壊して公園にして欲しい。雑草がひどく見通しが悪い。バスを高齢者は無料にしてあげたい。車の運転をしないとどこかに行かれないので、高齢者の車の運転がこわいと感じるので、よろしくをお願いします。
3	6	7	入曾駅の開発をしたとしても無料駐輪場を新たに作ってほしいです。サピオ稲荷山は、高齢者や若者が身体を動かせる良い場所なので、もっと市民が知れるように情報発信した方がいいと思った。学生や若い人が勉強したり遊んだりする、狭山市駅の交流センターのような空間がもっと増えると嬉しいです。駅はとても活性化されているけれど、少し行くとバスも通っていないで電灯のない部分があるので、電灯の確認をしてほしいです。子供が思いっきり楽しんで走り回れて、高齢者の人もお話しとか運動ができ、障がいを持っていても不便なく過ごせる狭山市であってほしい。
3	6		まず入曾駅前の整備。いつ事故が起きるか…と毎日不安でいる。あと自然が豊かな狭山市が好きなのでそれはいつまでも維持してほしい。不老川にも近い場所に住んでいるのでその対策も急いでほしい。
3	6		人が生まれて死ぬまでに住みやすい場所があれば人は住み発展もしていくものだと。小さい子供が大きな声や音を出しても元気に遊べ、学びたい人がいればいろいろ学べ、気軽に行ける所。ほっとしたい人がいれば、きれいな景色を眺め、お茶を飲みながら出来る場所(時間問わず)。そういった所に送ってもらえたりできる交通(年をとっても行けるように)。助ける事の出来る街、情報が伝わっていく街であればいいと思う。
3	6		土地が余るなら共有農地の開発やリーススペースの充実化とか、災害時の有償ボランティアのための公的なスキルアップ(市民の)を作成してみるとかをした方がいいと思う。もて余している物や人をムダにしないようなまちづくりができるといいと思う。
3	6		狭山市は自然災害が少ない(下水道整備により更に少なくなる)。運動公園を整備、スポーツ施設整備(災害発生時転用)。(県の協力を得て)狭山体育園の買収により、公的避難場所を整備充実する。災害発生時(市町村をこえる災害)に備える。

施策分野			回答内容
①	②	③	
3	7	4	・大宮や所沢へ、早く、安く、できる限り遅い時間まで公共交通機関でアクセスできるようにしてほしい。・静岡県長泉町の三世同居支援補助金のような成功している自治体を真似る。・京王堀之内駅のような、周囲に団地があり、その住民たちが徒歩かつワンストップで完結できる、銀行や郵便局を備えた商業施設を計画的に作る。保育所等もあれば子育て世代の移住も期待できる。
3	7		①若い世代に住んでもらえるように、魅力ある賃貸住宅を提供する(URに協力してもらう)②台風や地震に比較的強いと思うので、それを売りにして住民、企業を狭山市に呼び込む。
3	7		・駅をきれいにしたことは良い取組だと思っている。若い人が住みたい街づくりに力を入れて取り組むことが必要である。・若い世代が住まないと、どんな政策もまったく意味のないものになってしまうと思う。・税金は、もっと有効に使わないと納得感が全くないと感じている。
3	7		狭山市駅周辺の整備に莫大な経費を使用したが、何のメリットもなく周辺はさびれる一方である。入間市の武蔵藤沢の駅周辺の発展を見るに、入曽駅を含めて周辺の状況は40～50年前と少しも変わらない。魅力ある町にすべき。税金の使い方を考え直すことが大事。そうしないと人口も減る一方で、増えるわけがない。住宅地が多くあり、交通の便もそこそこののに、人口が増えないのは、行政が貧弱であるところに原因がある。市は全体で猛反省すべき。そうしないと、この市の発展はこれからのものと思った方がよい。
3	7		狭山市の良いところ(緑の多さ・農作物が取れる・都心へのアクセスの良さ)を生かしながら街づくりをして欲しい。必要ない開発は見直して、適切に財源を使って欲しい。大きな商業施設を作っても、働く人不足なのだから厳しいのでは!?
3	7		日本の人口減少企業(中小会社)右下がりの時代です。市の運営は痛みが伴いますので規模の拡大市町村合併していくことが又住宅地を圧縮し移動して頂く。下水道等の費用(メンテも含めて)増加を減らす。考えるエネルギーに「コスト」がかかっているのですが、答えはないのでは。市町合併を発想の転換し、国・県からの予算を増加させて頂ける方向ではいかがでしょうか。
3			・狭山市役所へ行くのが不便。バスの便増してほしい。保健センターへ行くのも、駅からよく分からない人が多い。市役所へ行くとき年配者は皆さん困っています。車が乗れなく、歩くのも大変と。
3			・入曽駅前は何十年も変わらず…。武蔵藤沢駅は、とっても立派になったのに非常に悲しいです。道路も狭くて歩道があるけどガードレールがなくてこわいです。どうか南小付近の道路の歩道確保にもっと力を入れてほしいです。
3			入曽駅前の道路が狭すぎます。駅前広場をつくってほしい。入間小の広場があるのでそこへ店屋は移して道路をひろげてほしい。
3			道路整備(札幌まで行かなくても昭島など近くに見ならう市政あり)30年以上住んでいるが、道路整備は全くと言っていいほど進んでいない。
3			・入間川の河川敷をもっと有効に活用すると良いと思います・歩道のない場所があるので危険です。
3			20代で狭山市に来て(嫁)60年近く住み、大して変わることはない町に今さら言う事もありません。ただ私には不便を感じるだけです。駅前であんな不便なのか?狭山市駅は利用したくありません。私を書く、この回答がどのくらい役立てられるか?先の事は、わかりません。若い人は元気がありますが、老人は一年一年弱っていきます。坂の多いこの町、ほんとうに老人にやさしい町にしてほしいです。心からお願い致します。まずは病院に行くためにタクシー券がほしいです。
3			狭山市入曽地区に50年以上住んでおりますが西武線入曽駅周辺の混雑、特に駅前ロータリーもなく西武線沿線の中でも開発の遅れを感じる。入曽駅橋上駅舎移転の話もあるようですがぜひとも実行して入曽駅周辺の活性化を望みます。

施策分野			回答内容
①	②	③	
3			公共交通機関が西武鉄道や西武バスだけで、都心や他の地域に行くにも複数の鉄道がないため、川越まで出かけ利用しなければならないことを改善できればと思う（近くに行くにも遠回りしなければだめで自転車や自動車が必要）。
3			1.道路整備の早急なる対応 2.道路交通標示の明確化、信号機、カーブミラーなどの積極的な取組強化、制限速度の標示 3.学童道路の早急な整備。
3			車の免許を返納した時に市内で行き来しやすいように循環バスなどを充実すると良いと思います。他市では返還するメリットがあったりするため。
3			道路整備(拡張、ガードレールの更新等)を充実してほしい。
3			有料道路の無料化を待ち望んでいます。
3			狭山市入間川河川敷について。柏原寄りはきれいに整備されているが、笹井寄りはほったらかし！公園など作ってほしい。ただの広場になっている。それでは治安が悪くなる。
3			私は1月より本市にお世話になっていますが、道路整備等は非常に良い。ただ、既存の道路の拡充ばかりで、幹線道路を継ぐアイデア等が、狭山市全般の道路について云えます。朝夕の渋滞は特にひどい。行政の道路管理の方は、朝 AM6:00～9:00 まで見廻って欲しい。蛇足まで。
3			① 空屋を市が借るか買取り、安く貸し出す(市外からの転入者へ)市営の1戸建借 ② 都心まで57分は、都心からの転入は考えてしまう。西武鉄道へ働きかけ、狭山からの直通便を(朝、夕)30分以内なら、①も兼ね、転入しやすいのでは。
3			産業の繁栄は道路からといいます。住民が住み良い町には人が集まります。入曽駅前 40 年来変わる事なく、特に県道は歩道が狭く車椅子が通れない。市有地の空地など有効利用して収益を上げるべき。茶の花号を小型化して、コースを細分化する事で、利用客が多くなり、市民も便利で乗客も多くなる。
3			田舎でも都会でもなく住みよい方だと思いますが市街化調整区域になるため下水道の予定もない事が納得できません。駅に行くバスもコミュニティバスが増えましたが、西武バスは1日2本しか有りませんので駅に行ったら帰ってくるバスが無くてとても不便です。同じ税金を払っているのにとおもいます。
3			高齢化です。コミュニティバスを増便して出かけやすくする必要が有ると思います。まず、道路を広くして安心して歩ける事が出来れば、医療費も削減出来、買物がてら元気に過ごす事が前向きになると思います。道を広くしてください。歩道、自転車道、車道をお願いします。
3			新狭山駅南口ロータリー内を歩く大人たちに毎朝腹が立ちます。車道を歩いてほしくない。はまずしからゴルフセンターに抜ける踏切にミラーをつけてほしい。子供の頃に比べると、西武線も本数が増えとても便利になりました。ただホンダの車出勤時の渋滞はなかなか減らずなんとかならないものか…と思います。退勤時の道路の横断はどうかと思うことばかり。
3			交通の利便性を考えても良い街だと思います。しかしながら永年の入曽駅周辺の整備の遅れなどどう考えても駅に降りた途端居住をあきらめる若い人が多いと聴きます。地権者との折衝も大変でしょうが「若い人たちが住みたい！」と思う町に改造すべきだと思います。武蔵藤沢駅周辺は大変魅力的になりました。是非入曽駅周辺の整備・改造に向け早急な行動を期待しています。
3			新宿までの鉄道時間短縮で転入率も上がります。川越、所沢が大きくなるのは都心からの転入だと思います。西武鉄道と交渉も必要かと・人口増加は転入率を上げることかと。
3			入曽までバスを増便してほしい。とても不便(水押地区)。又裏道、ガスの増設でアスファルトが凸凹しているので、新設アスファルト舗装をして下さい。小学生、中学生の通学路になっていることもあり危ない。

施策分野			回答内容
①	②	③	
3			西武新宿線の終電が早い。所沢までは遅くまであるのに狭山市はない。すごく不便です。道路も所沢からは整備されているのに、狭山市はされていない所がある。もったいないって思います。
3			人が住むところを決めるのは仕事場への移動しやすさや時間と家賃(土地代)と生活しやすさ(買い物や色々な施設があるか)と家庭を持っている方なら学校など教育や子育てサポート(昔のように親がみてくれない)などの環境を見て決めるのですから働く世代の人が住みたいと思えるまちにしないと向上や仕事場が市内にあるのに人は市外からってどう思います?お金を動かすには人を動かすことが大事なので、小型バスで(狭山市は狭い道が多いので)良いので狭山台に空き家が多いところから新狭山工場地帯へ通えるなど便利なまちを考えて人を呼び込んでほしい。福祉バスだけがあるのはどうなのですか?
3			入曽駅前がよい環境になり、子供達も思いきり遊べる施設などできたらよい。足立区のギャラクシティのような。無料ではなく、少しは料金をとってほしいと思う。160円-200円位なら。市外からも人が来たいと思う魅力のある街になってほしい。山王小学校のまわりも、道が狭く危ない。
3			同じ地方公務員として、様々な課題があることは重々承知しております。しかし、あまりにも狭山市駅周辺と入曽駅周辺では発展の具合が異なることから、格差が生まれ、過疎化が進むと思います。特に、高齢者の買い物や通院等に使用される道路事情について、歩道が狭い、押し車がガタガタするほどの凸凹が散見される等の課題があるように見受けられます。誰もが住みやすい狭山市を目指すため、ぜひ入曽地域にも再開発や都市整備を実施していただきたいと考えております。よろしく願いいたします。
3			・市街化調整区域の見直しを早急に行い、下水道整備を加速させる。
3			高齢化が進み、車の運転を控える人が増える中、路線バスの便数が減っていて不便です。駅などに行きやすいほうが生活しやすいので、民間企業に助成金を出すなどして、最低限30分に1本程度のバス便を確保してほしいです。朝夕に有料橋以外の、どの橋も車が渋滞しています。渋滞緩和の対策をしてほしいです。介護保険も障がい者手帳も使えない程度の「軽度障がい者」は、使える支援やサービスが無く、とても不便です。手帳の有無や年齢にかかわらず、困っている市民に手を差し伸べるサービスを作成、実施、充実させてほしいです。身障者用の駐車場の満車で車を止められないことがよくあります。身障者用の駐車場の普及促進のための助成や健常者のモラル向上など対策をせよと、障害があっても外出しやすくなります。
4	1	3	狭山市を流れる入間川を軸とした自然・環境をアピールし、観光資源への転換を図る。観光都市狭山市の創造:狭山市の魅力洗い出し、アピールすべきところ、新たに作り出すもの等を検討・実施を行い、全国展開、観光都市狭山市の実現○河川環境整備:ごみのない川にする。水を綺麗にする。遊泳の出来る川にする○河川敷の有効活用:スポーツ・公園等だけでなく、週末の商業活動等(例えば河川での市を週末に定期的に実施し、人を集める)花見シーズンや航空祭などは河川での祭りを実施し一大イベントとして観光の目玉にする。
4	2	5	狭山市がロケ地になる等して、ロケ地巡りをする人が観光で来てくれたら嬉しいです。それと、なかなか難しいとは思いますが、健康寿命を伸ばし福祉費を減らして、私たちのような未来の世代にもっと支援をしていただきたいです(給付型奨学金等)。
4	3	7	稲荷山公園周辺に商業施設を誘致すべき、学校、公園、自衛隊等、需要は安定して存在すると思われる。買い物や飲食の環境が整う事で住み易さ向上し、人気のある土地となると思う。墓地の周辺財産等の有効活用、SAPIOの適正な規模による管理について検討されたい。
4	3		人が集まるまち作りをする。入間川を利用してテーマパークのようなものを造り(カヌー・ボート等)観光客を集め、街を活性化させる。

施策分野			回答内容
①	②	③	
4	3		地域の活力は若者であると思います。若者が集まることができる、またこの地域にとどまるための魅力あるまちづくりに取り組むべきだと思います。例えば狭山市駅周辺の飲食店やその他の施設等を更に充実させ、明るく活気ある場所をつくり、他のまちからも狭山市に遊びに来るような魅力を引きだしていくべきだと思います。新しい「まちづくり」に期待しております。皆で力を合わせて頑張っていきましょう。よろしくお願いたします。
4	3		柏原在住です。今はまだ運転に不安はなく車で買い物に行きますが、高齢者ドライバー問題等を考えると早いうちに買い物が必要な場所への転居を考慮しています。柏原の”買い物問題”はどうにかなりませんか？住みやすい場所だけに残念です。
4	5		スポーツ開催に合わせて駅前広場でパブリックビューイング etc.のイベントをし、町を盛り上げていけたらいいと思う(オリンピック、都市対抗で)。
4	7		狭山市の名物の狭山茶や、七夕まつり以外の売りをもっと増やした方がいいのでは？SNSを利用したの宣伝も必要なのでは？
4			会社等を狭山市に増やしていくこと。現に他県や他の市に移り行くことを止める事。小さい店も続けられる市に大いに希望、期待します市民のために動いてくださっている方々には心よりお礼申し上げます。日々本当にご苦労様です。少しずつでも狭山市を大きな花に希望します。
4			活気あるまちづくり、巣立っていく子供たちが友人知人を遊びに連れて帰ってきたいと思う町作りを。何か特徴ある狭山市に←思いつかないので七夕祭りも…少し活気↓ですし。人が人を連れてきて良かった一つ思う町になればいいかな。
4			人口が減ってしまったが、昔の様子が残されている商店街や地域を、映画やドラマ、ミュージックビデオの撮影地として活用できれば、町の活性化にもつながるのではないのでしょうか。
4			仕事があれば狭山市に住み続ける。仕事が無くなれば引っ越す。大手企業や工場の誘致に力を入れて税収を増やす取組に力を入れて欲しい。
4			狭山市内で働ける場所が増えれば、定年後は市内で働きたいと思っています。地域の産業の活性化を望みます。よろしくお願いたします。
4			駅前にファミリーレストランのような飲食店が増えると嬉しいです。あと、文房具を買えるお店がほしいです。本屋さんをもっと広く大きくなると嬉しいです。
4			1.狭山市が持つ特筆すべき「売り物」を把握し、企業誘致対策を増強するべき。現状は衰退傾向に見える。政治の使命ではないか。2.近隣の市町村と連携した町づくりへの取組の発信は出来ないか？川越市の観光資源を活用した“遊び(入間川河川敷利用)”のアピール。秩父市の観光、果樹、食文化、温泉地を活用した周辺宿泊場所の創造 3.1~2 項により狭山市税収を上げる対策が不足しているため強力にテコ入れして欲しい。
4			新狭山駅周辺はいろんな場所へのアクセスも良く、自然もありとても住みやすいが、スーパーが徒歩で行けない、お店が少ないなど、とてももったいないと感じます。狭山には目立った商業施設もないので残念。イオンは2つもいらないし。公園は美しくとても良いが遊具はいまいち。若者に魅力的に見られる工夫が必要では。(子ども用品が充実したお店が入るショッピングモールなど)「お年寄りの街」というのが強く感じる。
4			狭山市駅改札付近に市の特産品のお茶の香りがする様な装置を設置して、他市他県からの来市者にお茶をアピールする事が良いと思う。
5	1		テレビのニュースなどで「お茶」をはじめ入間市はよく報道されます。狭山市も他の地域に勝るものだと思います。たとえば教育の「1 クラス 20 人」又は「教師2人」とかで長い時間が必要ですが、子供の教育には狭山市がよいと、市に転入する家庭もでてくる様に。校庭の花壇に花も植えられないような予算ではだめです。

施策分野			回答内容
①	②	③	
5	2		高齢者が多い中で、子供が少ない分、子供が高齢者と接する機会が、ほかの地域に比べて多いせいか、子供の自立性や精神年齢が高いようにうかがえます。(しっかりした子供が多い)なのに親の経済力や情報不足や意識の低さで学力に反映されていないと感じます。教育に関しての親の無関心は学力の低下に結びつきます。若い世代(子育て世代)に民間やボランティア、行政、保育、幼稚園を含めた子育てサイトが地域別に存在していると心強いと思う。同様に、高齢者、世代別でも縦や横のつながりも、人口が少ないならでは、つながりやすい孤立対策や若い世代も(勉強の悩み、子育ての悩み、生活の悩みの聴き役と案内役の窓口であり)情報発信中心であれば…。子育て世代中心に展開していくと広がりやすいと思います(=地域情報に敏感な層)。
5	2		教育、医療福祉について、子供が高度または専門的な教育を受けられれば、将来に希望が持てると思う。私たち世代は、医療と医療費負担に目処がつくと安心できると思う。
5	7		小中学生の学力保障を市としてバックアップするシステムを構築する。指導者は定年後の小中学校の元教員をボランティアとして大募集し、生保・準生保の児童生徒を対象とする(1日2~3時間、交通費と時給500円)。市内に3~4ヶ所を設置し公共施設を活用していく。都内では多くの事例があるので情報収集していくと良い。
5	7		小学生の子供がテニスを習っており、智光山のテニスコートを利用したいのだが、料金がなくてとても利用できない。もっと効率よくすれば、利用客も増えて市にとっても良いのではないかなと思う。平日などはほとんどが空コートです。子供がいる世帯がもっと利用しやすい料金に改正すべき。市はもっと実情を把握すべき!! 今後に期待しています。
5			学校の生徒数の適正化については、児童生徒の多い少ないがバラバラ。高校までの子育て補助金の拡大。大学在学中の収入によつての給付型奨学金の導入。幼児から学生までの子育てしやすい街づくりをお願いします。
6	2		・地域見守り隊の充実(高齢者一人世帯)・防災放送が屋内にいると聞こえないし聞きづらい。確実に聞こえる様にして欲しい。制度として整っていても機能しているかは別問題。・福祉予算を削らないで逆に充実して欲しい。(健常者は利用しないから分からないが、利用者にとっては切実な問題である)
6	3		外国人が住みやすくなってもらいたい。英語、ローマ字の看板や標識をふやしてください。市内全体的にグローバル化してもらいたい。根岸周辺から入間市駅まで本数は少なくても良いのでバス(マイクロバス)を走らせてもらいたいです。
6	7	4	狭山市は地震や台風等天災について今のところ大きな被害がなくとても助かっている。安心して住めるというのはありがたい。人口減少は生産力ダウン税収ダウンとなる。直産物がなかなかお茶以外ないのが弱点だが、何とか工夫して住みやすいアピールをメディアでしてみたらどうでしょう(お金は多少かかりますがショートCMとか)。
6	7		・災害に強いまちづくりをしてほしい。ゲリラ豪雨の時は不安です。・財政が厳しくなり税負担が増えたら、住民税の安いところへ引越すると子供たちが話すようになりました。公共施設の必要性、使用料など再度見直しをお願いします。インフラを整え安心して生活できるようにするのを優先して、まちづくりを考えてください。
6			入間基地について、飛行機の離着陸訓練の騒音が激しい。
6			比較的、自然災害の少ない埼玉県にあり、自衛隊を擁する狭山市において、独自の支援や防災意識を構築するシステムを期待します。災害時に出勤する飛行機の爆音にも、頼もしさを感じます。と共に、下に居る我々にも何か出来るのではと感じています。
6			災害が多くなってきているのに私の住む若葉台の広報の件でいつも心配しているのは、市の放送の内容が割れてしまって聞きとれない状態です。となりの所沢の方がよく聞き取れている状態です。情報が正確に聞こえないことには、行動するのも遅くなってしまうと思います。一日の一遅も早く防災無線の知らせの点検をせつをお願いします。

施策分野			回答内容
①	②	③	
6			広瀬東や水富地区は土砂災害警戒地域の場所もありますが、台風の時など具体的にどの番地が危険なのかホームページなどで載せてほしいです。災害に強い町、老後も安心の町をめざしてほしい。
6			自衛隊による夜間飛行は必要だと思うが、夜間飛行はこんなに必要なのでしょう？子供を育てるにあたって、飛行機の騒音がひどいため、これでは人口が減少しても仕方ないと思う。新しい世帯は、この事実を知れば入ってこないと思う。飛行にも経費・税金がかかっていると思うので、ここを見直すことができるかと感じている。
6			日頃からの地域の助け合いをし、高齢化する中で若者との交流を持ちもつと近所とのコミュニケーションを取り合うことが良いと考えています。狭山をよくするためにできるだけ市にも貢献できるようにしたいです。
6			子育ても終わり自治会を退会して以降、市からの広報が配布されないので、情報がありませんでした。今年の4月に「狭山市協働によるまちづくり条例」が施行されたのも知りませんでした。任意の団体である自治会に入っていないという事で、行政のサービス(情報提供)に差別があるということを改めて認識しました。
7	1	3	・選挙をネットで投票できるようにしてほしい。・たばこを禁止区域(しかもごみ置き場の前)で吸っている人がいるのでなんとかしてほしい。・路上駐車車がじゃま。
7	1	3	働き世代で子や高齢者も身近ではないと広報もあまり見ません。市税がどのような配分で使われているのかは気になりますが、文字の羅列では頭に入りません。可視化(グラフではなく)に人型、建物など使ってみてはどうでしょうか？ちょっと親しみやすくなるのでは…。近年新築分譲住宅が増えましたが、緑がなくなっていくのは心のゆとりもなくなりそうです。不動産会社へ宅地一部は緑化スペースを設けるよう働きかけて頂きたいです。
7	1	3	市民一人の苦情があるからといって、市政として、その一人のために全体が歪められたりされることなく、その一人の苦情をよく聞き説得し、市民全体の公序良俗のための市政判断を行ってほしい。例えば、公園の付近の住民が、公園で騒ぐ子供の声がうるさいという苦情の下、市側の対応として公園の利用を制限するなど、公園が持つ本来の意義を台無しにするような市としての対応をとることなど。
7	2		狭山市は近隣の市町村と比べて、ムダに箱モノを持ったりせず、福祉が充実している方だと思います。しかし、病児保育が祇園保育所のみで、病院内や隣接した場所ではないため、使いづらいので改善してほしい。
7	2		現在住んでいる人たちの現状、思いを把握し、何を必要優先するべきかを適正に判断して頂きたいと考えます。今、住んでいる人たちが住みやすいと思えなければ、状況は悪化していく可能性があります。今後2025年問題からも考えられるように、医療・福祉サービスの向上・子育てしやすい環境を検討していくと共に、小さな問題でも可能なものはすぐに改善していけるよう努めて頂きたいと思います。住民の声を大切に考えて頂けたらと思います。
7	3	2	民間の出来る物は民間へ。幅広い予算より集中的に行い狭山市駅前道路を早く県道126号につなげる。狭山市と東所沢を結びつける交通を整備。駅前には市の建物はいらぬ。子供の為の保育園を作り、川越と所沢に無い物を作り、人口の減少を食い止める。
7	4		勤務地から離れているので、子育て世代にはメリットがないとあえて狭山市に住もうとは思わない。行政サービスや環境等の水準を下げれば、ゆくゆくは人口減少が今よりも進むと思う。逆にそれらの水準が他の市区町村よりも上回っているのであれば、SNS等で住みよさをアピールし人口や企業も増えると思う。さしあたっては企業誘致で税収を上げる。
7	4		企業誘致による税収アップ、人口増を積極的に検討するべきと考える。(法人税減税、安い住宅の提供等アイデアを絞り出してほしい)各種ボランティア団体への補助金の必要性について考えていくべき。

施策分野			回答内容
①	②	③	
7	4		借金をしない事は、基本中の基本です。新しい事業を行うためには、今のやり方を改善して、経費を削減し、そのお金を回すようにするのは、どの企業も行っている事です。税収を上げる為、人や、企業を呼び込む事が大事です。その為には、魅力的な狭山市であってほしい。
7	6		市政経費を減らすべき、市議の数を減らすべき、経費削減するべき、ルール保守の為警察及びOBの方の採用など考えて安全、安心を進めていく。例、交通ルールで歩行者、自転車、子供から大人まで、ルール無視、自分ルールでは事故等も減らない。社会活動(生活)最低ルールの保守！！推進をお願いしたい。
7	6		1.市会議員の方達はどのように活動しているのか。2.市の各地域毎(組、班)の活躍もどうか！1,2とも、殿様気分で何もしていないようで、活躍の様子を大々的に公表すれば誰しも頑張ると思いますけど…
7	6		・今後、ICT や AI を活用して、コストのかからない行政改善を行うことを期待。・コストを掛けずに市民活動を支援するためには、土地・場所・スペースを無償あるいは低廉に貸し付けることが有効。細かいニーズに一つ一つ対応していたのではコストがかかりすぎる。・自治会活動を行って分かったが、自治会活動は必要。でも忙しい人がいる。「自分はあまり参加できないけど、自治会活動は理解する。」という好意的な層を創っていく必要がある。
7			市長さんや市議さん達に。さまざまな研修のために外国や他県、他市区町村に出かけられると思いますが、ただ見学のために行かれるのではなく、市税を使って行かれているはずなので、狭山市のためにこれは必要とか役に立つので市でもやってみたいなどの目的をもって視察していただき、生かして欲しいです。どこかの県や市区町村の方のように、視察後のレポートが皆一緒ではこまります。市民の血税です。実の多い使い方をして下さい。お願いします。
7			市議会の内容をケーブルテレビ、議会だより等で拝見すると、議員の無気力、どうでも良い事、地域代表としての勉強不足、無責任、寝ている者もあり、真剣味に欠ける。また、返答者も伏し目の原稿棒読みで、自分の専門にもかかわらず見識不足や責任感の希薄が否めない。公僕として怠ることなく研鑽努力に励み、向上一路の精進により、泰然と闊達な質疑応答を市民のために是非とも！
7			人口減少高齢化は以前から推測されていることで政治力欠如ではないか。
7			狭山市が行財政改革など、どのような活動をしているのか、もっと周知してもらうために、もっと目につくアピールや仕事をすべき。狭山市や職員が何をどうがんばっているのかを、あまりよく知らない
7			狭山市議の定数を減らしてほしい。今の人数は必要ないと思う。政務活動費は開示してほしい。不透明すぎる。領収書に対して支払いをするようにしてほしい。使われていない分が正当に返金されているとは思わない。厳正に政務活動費は管理してほしい

4. 調 查 票

狭山市のまちづくりについて

みなさまのご意見をお聞かせください

狭山市民意識調査へのご協力のお願い

日頃から市民のみなさまには、市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

狭山市では、平成28年に策定した第4次狭山市総合計画に基づき、令和7年度を目標年度として、「緑と健康で豊かな文化都市」の実現に向け、総合的かつ計画的なまちづくりを進めております。このたび、前期基本計画が令和2年度末で終了することから、令和3年度から始まる後期基本計画の策定に取りかかることといたしました。

この調査は、まちづくりを進めていく上での市民のみなさまの意識を把握するために行うもので、第4次狭山市総合計画後期基本計画を検討する際の基礎資料として活用させていただきます。

この調査票は、令和元年9月1日現在の住民基本台帳から18歳以上の市民3,000名を無作為に抽出し、お送りしております。集計結果は公表させていただく予定ですが、無記名回答方式のため、個人に関わる情報が公表されることはございません。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

令和元年9月 狭山市長 小谷野 剛

ご回答にあたってのお願い

- あて名のご本人がご自分の考えでお答えください。なお、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人のお考えを聞きながらご記入ください。
- **選択する○の数や、次の問への進み方**にご注意ください。
- **10月8日(火)まで**に、下の①または②の方法でご回答をお寄せください。

①郵送で ご回答の場合	この調査票にご回答をご記入いただきましたら、 同封の返信用封筒 に入れ、 切手を貼らず にご投函ください。
②インターネット でご回答の場合	下の QRコード または URLアドレス から、ご回答サイトへお進みください。なお、二重回答を防ぐため、次の コード をご入力ください。 URL: https://jp.surveymonkey.com/r/sayama_unq ○コード： aaaaaa ※英小文字のみ6桁 ※このコードにより、ご回答者が特定されることはございません。

- ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

<ご連絡先> 狭山市役所 総合政策部 政策企画課
電話：04-2953-1111 (内線：7132、7151) / FAX：04-2954-6262
E-mail：kikaku@city.sayama.saitama.jp

問1 あなたの性別をおたずねします。あてはまる番号**1つ**に○印をおつけください。

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 答えたくない |
|-------|-------|-----------|

問2 あなたの年齢をおたずねします。あてはまる番号**1つ**に○印をおつけください。

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 18歳～19歳 | 6. 40歳～44歳 | 11. 65歳～69歳 |
| 2. 20歳～24歳 | 7. 45歳～49歳 | 12. 70歳～74歳 |
| 3. 25歳～29歳 | 8. 50歳～54歳 | 13. 75歳以上 |
| 4. 30歳～34歳 | 9. 55歳～59歳 | |
| 5. 35歳～39歳 | 10. 60歳～64歳 | |

問3 一緒にお住まいのご家族で、下記に該当する方はいらっしゃいますか。あてはまる番号**すべて**に○印をおつけください。（複数回答可）

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 乳幼児・未就学児 | 4. 65歳以上74歳以下の方 |
| 2. 小学生・中学生 | 5. 75歳以上の方 |
| 3. 高校生・大学生 | 6. 1～5の該当者はいない |

問4 あなたのご職業をおたずねします。あてはまる番号**1つ**に○印をおつけください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 農林業 | 6. 派遣社員・パート・アルバイト |
| 2. 自営業 | 7. 専業主婦・専業主夫 ⇒問6へ |
| 3. 会社または団体の役員 | 8. 学生・生徒 |
| 4. 会社員または団体職員（正社員） | 9. 無職 ⇒問6へ |
| 5. 国家公務員または地方公務員 | 10. その他
(具体的に：) |

問5 あなたの勤務先・通学先をおたずねします。あてはまる番号**1つ**に○印をおつけください。

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 自宅 | 4. 東京都（23区内） |
| 2. 狭山市内 | 5. 東京都（23区外） |
| 3. 狭山市以外の埼玉県内
(具体的に：) | 6. その他
(具体的に：) |

問6 あなたは、現在どちらの地区にお住まいですか。あてはまる番号**1つ**に○印をおつけください。

- | | |
|----------|--|
| 1. 入間川地区 | (沢、狭山、入間川、入間川1～4丁目、鶉ノ木、稻荷山1・2丁目、
祇園、中央1～4丁目、富士見1・2丁目) |
| 2. 入曽地区 | (北入曽、南入曽、水野) |
| 3. 堀兼地区 | (堀兼、上赤坂、中新田、青柳、加佐志、東三ツ木) |
| 4. 奥富地区 | (上奥富、下奥富、柏原新田) |
| 5. 柏原地区 | (柏原) |
| 6. 水富地区 | (上広瀬、広瀬台1～3丁目、下広瀬、広瀬1～3丁目、広瀬東1～4丁目、
つつじ野、根岸、根岸1・2丁目、笹井、笹井1～3丁目) |
| 7. 新狭山地区 | (新狭山1～3丁目) |
| 8. 狭山台地区 | (狭山台1～4丁目) |

問7 あなたの現在のお住まいはどれですか。あてはまる番号**1つ**に○印をおつけください。

1. 持家一戸建て	6. 県営住宅・市営住宅
2. 賃貸一戸建て	7. 社宅・公務員宿舎
3. 持家分譲マンション	8. 同居・間借り・住み込み
4. 民間賃貸マンション・アパート	9. その他
5. 公団（UR）賃貸住宅	（具体的に： _____）

II

居留意向について

問8 あなたは、狭山市に住んで何年になりますか。あてはまる番号**1つ**に○印をおつけください。

1. 5年未満	3. 10年～19年	5. 30年以上
2. 5年～9年	4. 20年～29年	

問9 あなたが、狭山市に住み始めた理由は何ですか。次の中から**最大3つまで選び**、番号に○印をおつけください。

1. 狭山市で生まれたから	10. 行政サービスが充実していたから
2. まちに愛着があったから	11. 市の発展に期待できたから
3. 買い物が便利だったから	12. 友達や知り合いがいたから
4. 交通の便が良かったから	13. 仕事や学校の事情
5. 生活環境が良かったから	14. 家庭の事情
6. 教育環境が良かったから	15. 探していた条件に合った物件(住宅)が見つかったから
7. 医療体制が充実していたから	16. 狭山市民と結婚したから
8. 福祉サービスが充実していたから	17. その他
9. 自然や公園が多かったから	（具体的に： _____）

問10 あなたは狭山市に住み続けたいですか。あてはまる番号**1つ**に○印をおつけください。

1. ずっと住み続けたい	⇒問10-1へ	4. ぜひ市外に移りたい	⇒問10-2へ
2. できれば住み続けたい	⇒問10-1へ	5. わからない	⇒問11へ
3. できれば市外に移りたい	⇒問10-2へ		

※問10で“1または2”を選択された方にお聞きします。

問10-1 その理由は何ですか。次の中から**最大3つまで選び**、番号に○印をおつけください。

1. まちに愛着があるから	9. 行政サービスが充実しているから
2. 買い物が便利だから	10. 市の発展に期待できるから
3. 交通の便が良いから	11. 友達や知り合いがいるから
4. 生活環境が良いから	12. 仕事や学校の事情
5. 教育環境が良いから	13. 家庭の事情
6. 医療体制が充実しているから	14. その他
7. 福祉サービスが充実しているから	（具体的に： _____）
8. 自然や公園が多いから	

⇒問11へ

※問10で“3または4”を選択された方にお聞きします。

問10-2 その理由は何ですか。次の中から最大3つまで選び、番号に○印をおつけください。

1. まちに愛着を持ってないから	9. 行政サービスが不十分だから
2. 買い物が不便だから	10. 市の発展に期待できないから
3. 交通の便が悪いから	11. 友達や知り合いが少ないから
4. 生活環境が悪いから	12. 仕事や学校の事情
5. 教育環境が悪いから	13. 家庭の事情
6. 医療体制が不十分だから	14. その他
7. 福祉サービスが不十分だから	(具体的に：)
8. 自然や公園が少ないから	

⇒問11へ

III

市の取組に対する評価と今後への期待について

問11 以下の66項目について、満足度と充実希望度をお答えください。

回答例にならって、これまで進めてきた狭山市のまちづくりに関する取組についての「満足度」と、これからの取組を進めていく上での「充実希望度」のそれぞれについて、今のお気持ちに最も近い番号を1つずつ選んで回答欄に○印をおつけください。

		満足度						充実希望度				
		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	力を入れるべき	やや力を入れるべき	どちらともいえない	それほど力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい
環境共生	1. 環境保全の体制の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	2. 地球環境の保全	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	3. 環境に対する意識の向上	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	4. 緑地の保全と活用	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	5. 環境汚染対策の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	6. 環境の美化と生活環境の保全	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	7. ごみの減量化とリサイクルの推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	8. 廃棄物の適正な処理	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
健康福祉	9. 地域で安心して暮らせる地域福祉の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	10. 健康づくりの推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	11. 保健予防の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	12. 地域医療体制の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5

		満足度						充実希望度				
		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	力を入れるべき	やや力を入れるべき	どちらともいえない	それほど力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい
健康福祉	13. 高齢者の生活の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	14. 地域包括ケア*の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	15. 介護サービスの充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	16. 障害者の自立支援の促進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	17. 障害者の社会参加の促進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	18. 仕事と子育ての両立支援	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	19. 子育て支援の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	20. ひとり親家庭などの自立支援の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	21. 児童虐待防止対策の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	22. 社会保障制度の円滑な運用	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
都市基盤	23. 都市機能の向上	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	24. 道路ネットワークの構築	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	25. 公共交通の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	26. 良好で安全な住環境の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	27. 安全で快適な道路環境の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	28. 総合的な雨水対策の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	29. 公園整備・都市緑化の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	30. 市街地周辺・市街化調整区域の土地利用	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	31. 水道の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	32. 公共下水道の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
産業経済	33. 新たな企業・事業者の育成	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	34. 地域産業の支援の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	35. 地域商業の活性化	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	36. 工業の活性化	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	37. 農業の活性化	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	38. 狭山の地域資源を活用した観光の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	39. 雇用の促進と勤労者福祉の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5

*「地域包括ケア」とは、介護を必要とする状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、介護・医療・予防・住まい・生活支援などを、地域で一体的に提供していく包括的な支援の仕組みのことです。

		満足度						充実希望度				
		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない	力を入れるべき	やや力を入れるべき	どちらともいえない	それほど力を入れなくてもよい	力を入れなくてもよい
教育文化	40. 生涯学習の促進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	41. 生涯スポーツの促進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	42. 学校教育の内容と支援の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	43. 学校教育環境の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	44. 家庭や地域との連携	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	45. 青少年の健全育成	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	46. 人権尊重意識の高揚	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	47. 平和意識の高揚	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	48. 創造性豊かな市民文化の振興	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
市民生活	49. 国際交流の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	50. 地域コミュニティの活性化	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	51. 男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	52. 安全・安心な消費生活の実現	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	53. ICTを活用した地域活性化の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	54. 住宅などの適正な管理	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	55. 総合的な危機管理防災体制の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	56. 消防・救急体制の充実	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	57. 地域との連携による交通安全対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
計画推進	58. 地域との連携による防犯対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	59. 基地周辺環境の整備の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	60. 協働の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	61. 積極的な情報発信と情報活用の促進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	62. 効率的・効果的な行政運営の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	63. 健全な財政運営の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	64. 公共施設等の計画的な管理と統合・廃止	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
65. 機能的で活力のある組織運営の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	
66. まち・ひと・しごと創生総合戦略※の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	

※「まち・ひと・しごと創生総合戦略」とは、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、平成27年度に「狭山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、少子高齢化、人口減少、東京圏への過度の人口集中に対応するとともに、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある社会を維持していくための具体的な施策に、総合かつ計画的に取り組んでいます。

問12 左記の表中の66項目のうち、狭山市の取組として特に充実している、進んでいると思うものを最大3つまで選び、充実している、進んでいると思う順に回答欄にその番号を記入してください。

〈回答例〉

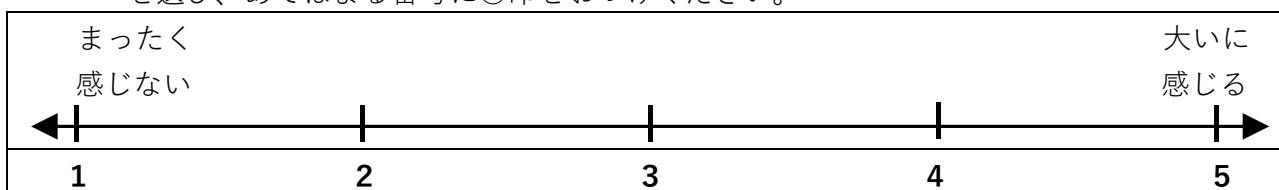
第1位	第2位	第3位
12	40	18

	第1位	第2位	第3位
回答欄			

問13 左記の表中の66項目のうち、狭山市の取組として特に不足している、遅れていると思うものを最大3つまで選び、不足している、遅れていると思う順に回答欄にその番号を記入してください。

	第1位	第2位	第3位
回答欄			

問14 あなたは、現在の生活について幸せだと感じますか？ あなたの実感に最も近いもの1つを選び、あてはまる番号に○印をおつけください。



問15 あなたが感じている「幸せ」について、次の6つの分野のうち、どの分野が強く関わっていると思いますか。あなたの「幸せ」への関わりが強いと感じるものから順に、その順位(1～6位)を、記入欄に直接記入してください。

分野	概要	記入欄
I 環境共生	ご自身やご家族がお住まいの地域の自然環境や衛生環境などが、美しく快適に保たれている	位
II 健康福祉	社会保障や福祉施策等の「暮らしの支え」が充実し、ご自身やご家族の健康が保たれている	位
III 都市基盤	ご自身やご家族がお住まいの道路や公園、河川や上下水道などの生活基盤が整い適正に管理されている	位
IV 産業経済	ご自身やご家族の仕事、そこから得られる所得が、充実し安定している	位
V 教育文化	学校教育や生涯学習が充実し、ご自身やご家族の将来の自己実現に希望が持てる	位
VI 市民生活	「人と人とのつながり」が充実し、ご自身やご家族がお住まいの地域の安全安心が保たれている	位

狭山市では、今年4月に「狭山市協働によるまちづくり条例」を施行し、「協働によるまちづくり」をさらに推進しています。

問16 あなたは、「協働」とはどのようなものだとお考えですか。今のお考えに一番近いと思うものを1つ選び、あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 市民、市民団体及び事業者が、目的を共有しそれぞれの役割を認め合いながら連携して取り組み、行政は情報提供などの支援を行うこと
2. 市民、市民団体、事業者及び行政が、目的を共有しそれぞれの役割を認め合いながら連携して取り組むこと
3. 市民、市民団体及び事業者の意見をよく聞き、行政が主導して取り組むこと
4. その他（具体的に： _____)
5. わからない

問17 協働により取り組むことが重要だと思うことを、次の中から最大3つまで選び、あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 地域コミュニティ（自治会活動の推進、地域行事の開催、助け合い等）
2. 文化、芸術、スポーツ（活動団体の支援、催し物の開催等）
3. 環境の保全（自然環境の保全、河川の浄化、リサイクル等）
4. 地域福祉（高齢者や障害者の見守り、支援等）
5. 災害対策（防災体制の整備、被災者への支援等）
6. 地域安全（交通安全活動、防犯活動等）
7. 青少年健全育成（健全育成活動の推進、有害環境の浄化等）
8. その他
（具体的に： _____)

問18 あなたは、これまでに市民活動（ボランティア団体、NPO等の活動）・地域活動に参加した（参加している）ことがありますか。あてはまる番号 **1つ**に○印をおつけください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. ある ⇒問18-1へ | 2. ない ⇒問18-2へ |
|---------------|---------------|

※問18で“1”を選択された方にお聞きします。

問18-1 参加した（参加している）活動は、次のうちどれですか。次の中からあてはまる番号 すべてに○印をおつけください。（複数回答可）

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 環境・リサイクル活動 | 7. 伝統的文化保存活動 |
| 2. 福祉ボランティア活動 | 8. 防火・防犯活動・交通安全活動 |
| 3. 子育て支援活動 | 9. 自然保護活動 |
| 4. 地域コミュニティ活動（自治会活動等） | 10. 国内外との交流活動 |
| 5. 学校・教育活動 | 11. その他 |
| 6. 青少年健全育成活動 | （具体的に： _____) |

⇒問19へ

※問18で“2”を選択された方にお聞きします。

問18-2 活動に参加しなかった(参加しない)理由は、次のうちどれですか。次の中から最大3つまで選び、あてはまる番号に○印をおつけください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 仕事が忙しくて時間がとれない | 7. 家族の理解が得られない |
| 2. 参加したい活動がない | 8. 活動が好きでない |
| 3. 活動の時間帯が合わない | 9. 活動を特に必要と考えていない |
| 4. 活動する仲間がない | 10. その他 |
| 5. 体調が悪い | (具体的に：) |
| 6. 乳幼児や高齢者など家族の世話がある | |

⇒問19へ

問19 あなたは、協働によるまちづくりを進めるために、行政はどのような取組をすべきだと思いますか。次の中から最大3つまで選び、あてはまる番号に○印をおつけください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 市政に関する情報を分かりやすく公開する |
| 2. まちづくりの情報・活動の拠点となる場所を提供する |
| 3. まちづくり活動に参加できる機会を提供する |
| 4. まちづくりに取り組む活動団体やグループを資金面で支援する |
| 5. ボランティア保険などまちづくり活動中の事故への対策を講じる |
| 6. 市民の声を市政に反映させるシステムをつくる |
| 7. 市職員の意識改革や人材育成に努める |
| 8. 市民が市政に参画していくためのルールをつくる |
| 9. まちづくり活動に対する社会的評価を高める(協働事業の表彰制度など) |
| 10. まちづくりの研修や学習の機会を充実させる |
| 11. 自治会などの既存の組織と、まちづくり活動団体との連携・協力を進める |
| 12. その他(具体的に：) |

V

子育て支援について

問20 あなたは、狭山市が「子育てしやすいまち」だと思いますか。あてはまる番号1つに○印をおつけください。

- | |
|---------------------------|
| 1. 子育てしやすい ⇒問21へ |
| 2. どちらかという子育てしやすい ⇒問21へ |
| 3. どちらともいえない ⇒問21へ |
| 4. どちらかという子育てしにくい ⇒問20-1へ |
| 5. 子育てしにくい ⇒問20-1へ |

※問20で“4または5”を選択された方にお聞きします。

問20-1 そのように考えた理由は、次のうちどれですか。あてはまる番号すべてに○印をおつけください。(複数回答可)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 保育サービスが不十分 |
| 2. 子育てに対する経済的支援(保育料等の軽減や医療費助成など)が不十分 |
| 3. 子育て中の親に対する相談や交流などの支援が不十分 |
| 4. 子どもが遊ぶことができる場や機会が不十分 |
| 5. 子どもの安全を確保する取組みが不十分 |
| 6. その他(具体的に：) |

⇒問21へ

問2 1 今後、市民の多くが子育てしやすいと感じるために、どのような取組が必要だと思いますか。次の中から**最大3つまで**選び、あてはまる番号に○印をおつけください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 保育サービスの充実 | 6. 自治会等によるパトロール等の充実 |
| 2. 経済的支援の充実 | 7. 地域による子育て支援の推進 |
| 3. 相談や交流などの支援の充実 | 8. その他 |
| 4. 公園等の遊び場の整備 | (具体的に：) |
| 5. 安全に関する情報提供の充実 | |

VI 老後の生活について

問2 2 あなたは、ご自身の老後の過ごし方についてどう思いますか。あてはまる番号すべてに○印をおつけください。(複数回答可)

- | |
|------------------------------|
| 1. 自分の趣味を持ち、のんびり暮らしたい |
| 2. できるだけ働きたい |
| 3. 学習・勉強に取り組みたい |
| 4. 自分の経験や学習成果を活かし、地域社会に貢献したい |
| 5. 自治会活動などの地域活動に参加したい |
| 6. 健康の維持・増進に努めたい |
| 7. 特に考えていない |
| 8. その他 (具体的に：) |

問2 3 あなたは、ご自身の老後の生活に不安を感じますか。次の中から**最大3つまで**選び、あてはまる番号に○印をおつけください。

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. 住まいのことで不安を感じる | 6. 不安を感じない |
| 2. 健康のことで不安を感じる | 7. 老後のことはまだ考えたことがない |
| 3. 収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる | 8. その他 |
| | (具体的に：) |
| 4. 知人・近所とのつきあいに不安を感じる | |
| 5. 家族の世話・介護(老老介護など)に不安を感じる | |

VII 安全・安心なまちづくりについて

問2 4 大地震などの災害に備えて、市民が自ら行うこととして、どのようなことが重要であると思いますか。次の中から**最大3つまで**選び、あてはまる番号に○印をおつけください。

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. 家屋の耐震改修 | 7. 自治会活動への参加 |
| 2. 家具類の転倒防止対策 | 8. 防災訓練への参加 |
| 3. 感震ブレーカー [*] や消火器などの設置 | 9. 家庭での防災に関する話し合い |
| 4. 水・非常用食料の備蓄 | 10. その他 |
| 5. 避難所など防災施設の把握 | (具体的に：) |
| 6. 日頃の近所づきあい | |

^{*}「感震ブレーカー」とは、地震の揺れに伴う通電火災を防ぐために、一定の規模以上の地震を感知すると自動的にブレーカーを落として、電気を止める装置のことです。

問25 大地震などの災害に備えて、行政が行うこととして、どのようなことが重要であると思いますか。次の中から**最大3つまで**選び、あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 救急体制の充実	7. 地域の防災体制の整備・強化
2. 消防力の強化	8. 防災訓練の充実
3. 救護所の設置・医療機関との連携	9. 災害への対応策の啓発
4. 避難所など防災施設の周知	10. 災害時要援護者の把握
5. 水・非常用食料の備蓄	11. その他
6. 迅速な被害情報等の提供	(具体的に：)

VIII 行財政改革について

問26 あなたは、狭山市の行財政改革^{*}の取組を知っていますか。あてはまる番号**1つ**に○印をおつけください。

1. 具体的な取組内容を知っている
2. 改革に取り組んでいることは知っている
3. 知らない

^{*}「**行財政改革**」とは、「最小の経費で最大の効果を上げ、住民の求める公共サービスが適切に提供されるよう、行財政運営を見直し、改善していくこと」です。狭山市においては、事務事業の見直し、民間活力の導入、公共施設の再編整備、協働の推進などを実施し、無駄をなくしつつ事業の選択と集中を図っています。しかし、これにより市民生活においては、利用者の少ない公共サービスの停止や施設使用料の増額などの影響が生じることも考えられます。

問27 あなたは、今後の狭山市の行財政改革の取組の方向性について、どのように思いますか。あてはまる番号**1つ**に○印をおつけください。

1. 積極的に推進する必要がある
2. どちらかといえば推進する必要がある
3. あまり推進する必要はない
4. 推進する必要はない
5. わからない

問28 狭山市の行財政改革を進めるうえで、今後、特に必要と思われることは何ですか。次の中から**最大3つまで**選び、あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 民間活力の導入 (民間委託・指定管理者制度など)	7. AIやRPA [*] の活用の推進
2. 市民への情報公開の徹底	8. 職員の意識改革と能力アップ
3. 公共施設の見直し	9. 職員数と給与の適正化
4. 事務事業の見直し	10. 市税等の徴収率向上
5. 補助金等の見直し	11. 受益者負担の見直し
6. 協働によるまちづくりの推進	12. その他
	(具体的に：)

^{*}「**AI**」とは、「人工知能」とも呼ばれ、人間が持っている認識や推論などの能力をコンピューターでも可能にするための技術の総称です。また、「**RPA**」とは、主に事務などの定型的なデスクワークを、ルールエンジンや人工知能などの技術を備えたソフトウェアのロボットが代行、自動化するしくみのことです。

IX

市政の方向性について

問29 現在、狭山市では人口減少と少子高齢化が進行しており、税収の減少、少子高齢化対策経費の増加により、今後の財政に関しては厳しい状況が続くと思われます。あなたは、今後の市政をどの方向にかじ取りしていくべきだと思いますか。次の中から**最大4つまで**選び、あてはまる番号に○印をおつけください。

1. 次世代に借金を残しても、行政サービスの水準を維持していくべき
2. 次世代に借金を残さないため、税収の減少に合わせて歳出を切り詰めていくべき
3. 福祉のための経費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない
4. 福祉のための経費は、サービス水準を多少下げてでも税収に合わせて減らしていくべき
5. 道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない
6. 道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を多少下げてでも税収に合わせて減らしていくべき
7. 公共施設の使用料見直しなど、受益者の負担が増えることはやむをえない
8. わからない
9. その他
(具体的に： _____)

問30 様々な人口増加策を講じているにもかかわらず、狭山市の人口も、日本全体の人口も減少しているなかで、これからの狭山市の人口政策について、あなたは次のうちいずれの考え方が重要だと思いますか。あてはまる番号**1つ**に○印をおつけください。

1. 他の政策よりも、人口を増加させることを優先して財源を集中するべき
2. 他の政策も考慮しつつ、一定の対策を講じて、人口の減少を抑制するべき
3. 人口が減少しても住みやすいまちをつくることに努めるべき
4. わからない

X

狭山市のまちづくりに関するご意見について

問31 これからの狭山市のまちづくりについて、何かご意見やご提案（アイデア）、夢をお持ちでしたら、自由にご意見をお書きください。

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

調査票は、**10月8日（火）まで**に、ご投函ください。

狭山市民意識調査報告書

令和2年3月

発行：狭山市

編集：総合政策部政策企画課

〒350-1380

狭山市入間川1-23-5

電話：04-2953-1111（代）

Eメール：kikaku@city.sayama.saitama.jp

古紙再生紙を使用しています。